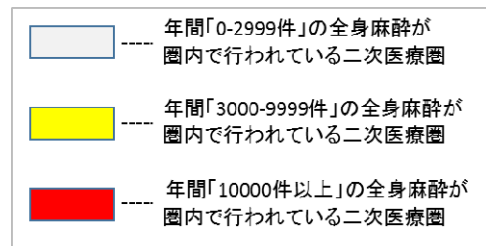
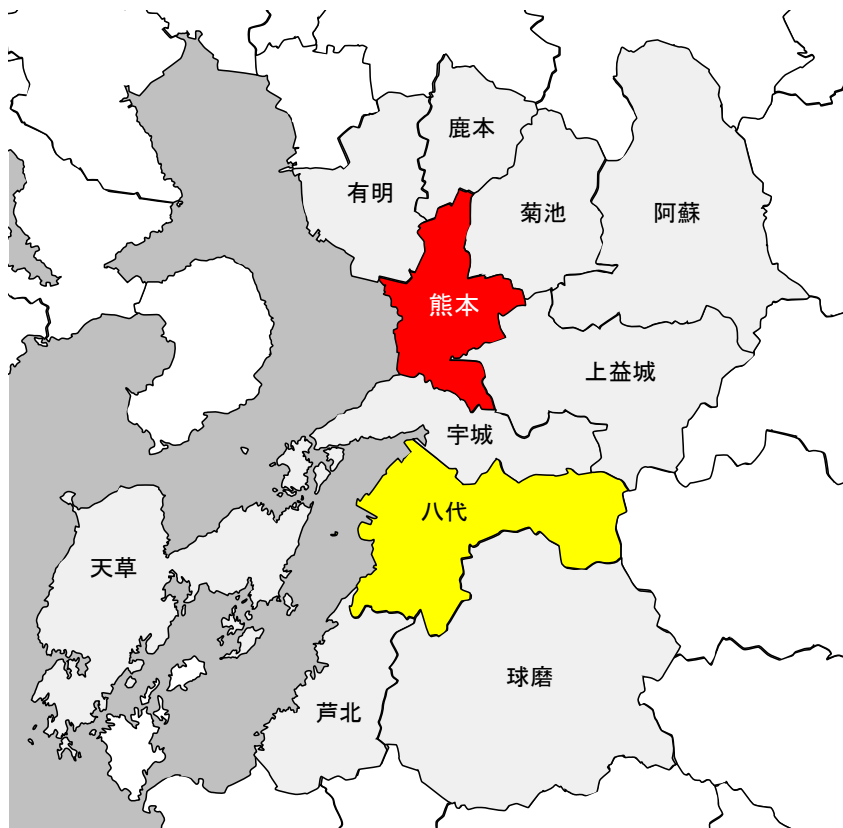


43. 熊本県



目次

熊本県	43	-	3
1. 熊本医療圏	43	-	9
2. 宇城医療圏	43	-	15
3. 有明医療圏	43	-	21
4. 鹿本医療圏	43	-	27
5. 菊池医療圏	43	-	33
6. 阿蘇医療圏	43	-	39
7. 上益城医療圏	43	-	45
8. 八代医療圏	43	-	51
9. 芦北医療圏	43	-	57
10. 球磨医療圏	43	-	63
11. 天草医療圏	43	-	69

熊本県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は73,623人(-4%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は873人(21%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は280人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は26%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

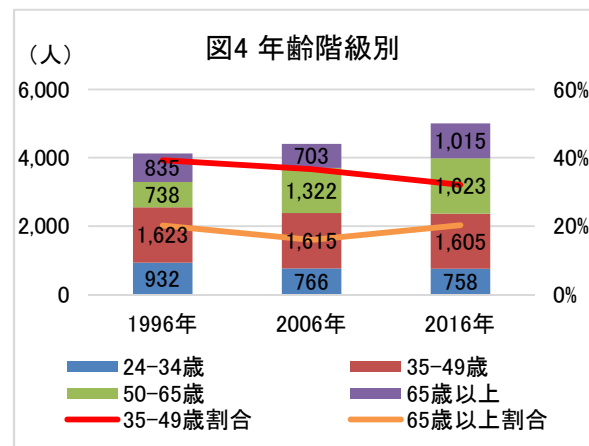
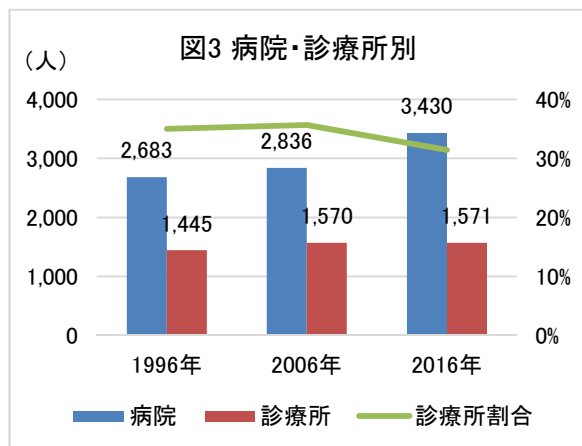
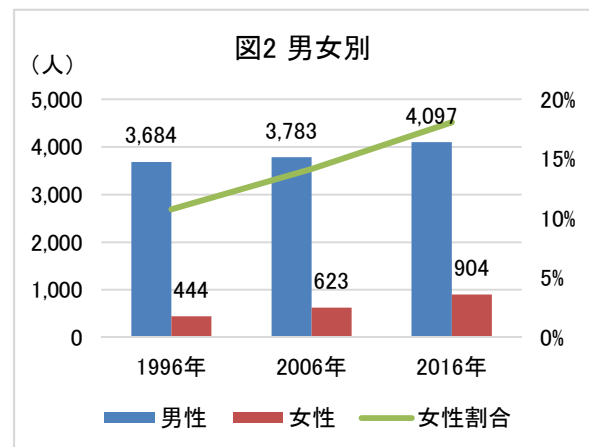
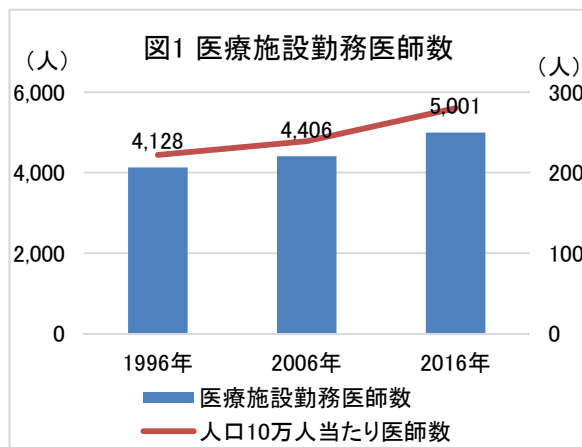
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて413人(11%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に460人(104%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて747人(28%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に126人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は18人(-1%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて180人(22%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年20%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

熊本県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,859,793	1,842,233	1,786,170	-73,623	-4%	-17,560	-1%	-56,063	-3%	
総医師数	4,322	4,637	5,230	908	21%	315	7%	593	13%	
人口10万対	232.4	251.7	292.8	60.4	26%	19.3	8%	41.1	16%	
医療施設勤務医師数	4,128	4,406	5,001	873	21%	278	7%	595	14%	
人口10万対	222.0	239.2	280.0	58.0	26%	17.2	8%	40.8	17%	
男性医師数	3,684	3,783	4,097	413	11%	99	3%	314	8%	
人口10万対	198.1	205.3	229.4	31.3	16%	7.3	4%	24.0	12%	
女性医師数	444	623	904	460	104%	179	40%	281	45%	
人口10万対	23.9	33.8	50.6	26.7	112%	9.9	42%	16.8	50%	
病院勤務医師数	2,683	2,836	3,430	747	28%	153	6%	594	21%	
人口10万対	144.3	153.9	192.0	47.8	33%	9.7	7%	38.1	25%	
診療所勤務医師数	1,445	1,570	1,571	126	9%	125	9%	1	0%	
人口10万対	77.7	85.2	88.0	10.3	13%	7.5	10%	2.7	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.5	49.9	51.8	3.3	7%	1.4	3%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	932	766	758	-174	-19%	-166	-18%	-8	-1%
	35-49歳	1,623	1,615	1,605	-18	-1%	-8	0%	-10	-1%
	50-64歳	738	1,322	1,623	885	120%	584	79%	301	23%
	65歳以上	835	703	1,015	180	22%	-132	-16%	312	44%
	75歳以上(再掲)	236	353	322	86	36%	117	50%	-31	-9%
男性	24-34歳	753	517	502	-251	-33%	-236	-31%	-15	-3%
	35-49歳	1,450	1,379	1,211	-239	-16%	-71	-5%	-168	-12%
	50-64歳	701	1,215	1,437	736	105%	514	73%	222	18%
	65歳以上	780	672	947	167	21%	-108	-14%	275	41%
	75歳以上(再掲)	210	331	310	100	48%	121	58%	-21	-6%
女性	24-34歳	179	249	256	77	43%	70	39%	7	3%
	35-49歳	173	236	394	221	128%	63	36%	158	67%
	50-64歳	37	107	186	149	403%	70	189%	79	74%
	65歳以上	55	31	68	13	24%	-24	-44%	37	119%
	75歳以上(再掲)	26	22	12	-14	-54%	-4	-15%	-10	-45%
病院	24-34歳	900	725	747	-153	-17%	-175	-19%	22	3%
	35-49歳	1,153	1,206	1,297	144	12%	53	5%	91	8%
	50-64歳	335	634	932	597	178%	299	89%	298	47%
	65歳以上	295	271	454	159	54%	-24	-8%	183	68%
	75歳以上(再掲)	110	118	143	33	30%	8	7%	25	21%
診療所	24-34歳	32	41	11	-21	-66%	9	28%	-30	-73%
	35-49歳	470	409	308	-162	-34%	-61	-13%	-101	-25%
	50-64歳	403	688	691	288	71%	285	71%	3	0%
	65歳以上	540	432	561	21	4%	-108	-20%	129	30%
	75歳以上(再掲)	126	235	179	53	42%	109	87%	-56	-24%
	85歳以上(再掲)	29	28	55	26	90%	-1	-3%	27	96%

熊本県

＜医師数の推移＞

熊本県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、整形外科、泌尿器科、救急科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、小児外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	4,128	222.0	55	4,406	239.2	54	5,001	280.0	54	873	21%	58.0	26%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,810	97.3	57	1,834	99.6	57	2,014	112.8	57	204	11%	15.4	16%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	230	12.4	53	217	11.8	51	260	14.6	52	30	13%	2.2	18%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	228	12.3	61	273	14.8	61	335	18.8	62	107	47%	6.5	53%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	483	26.0	56	384	20.8	54	388	21.7	54	-95	-20%	-4.2	-16%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	16	0.9	57	15	0.8	55	15	0.8	53	-1	-6%	-0.0	-2%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	28	1.5	49	36	2.0	50	41	2.3	49	13	46%	0.8	52%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	80	4.3	49	83	4.5	48	99	5.5	49	19	24%	1.2	29%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	321	17.3	59	350	19.0	59	384	21.5	59	63	20%	4.2	25%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	13	0.7	47	15	0.8	45	23	1.3	45	10	77%	0.6	84%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	112	6.0	52	124	6.7	52	151	8.5	54	39	35%	2.4	40%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	148	8.0	48	158	8.6	47	195	10.9	51	47	32%	3.0	37%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	121	6.5	48	120	6.5	49	115	6.4	47	-6	-5%	-0.1	-1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	96	5.2	55	111	6.0	55	135	7.6	58	39	41%	2.4	46%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	175	9.4	49	171	9.3	50	172	9.6	48	-3	-2%	0.2	2%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	27	1.5	60	38	2.1	55	40	2.2	52	13	48%	0.8	54%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	94	5.1	56	99	5.4	55	123	6.9	55	29	31%	1.8	36%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	92	4.9	53	109	5.9	53	151	8.5	53	59	64%	3.5	71%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				18	1.0	47	65	3.6	55	47	261%	2.7	272%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				179	9.7	48	208	11.6	48	208	16%	1.9	20%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	54	2.9	47	72	3.9	48	87	4.9	46	33	61%	2.0	68%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

熊本県

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は248,492人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は760人(15%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は375人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

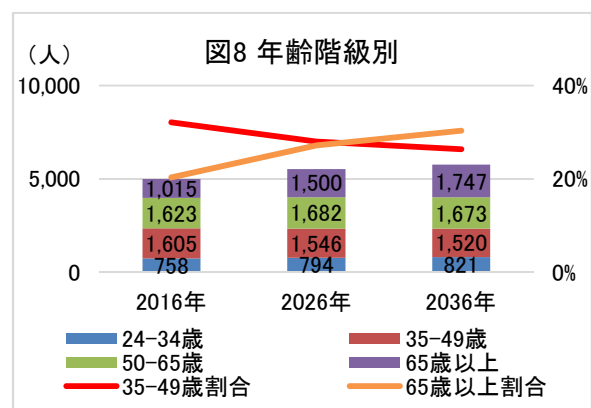
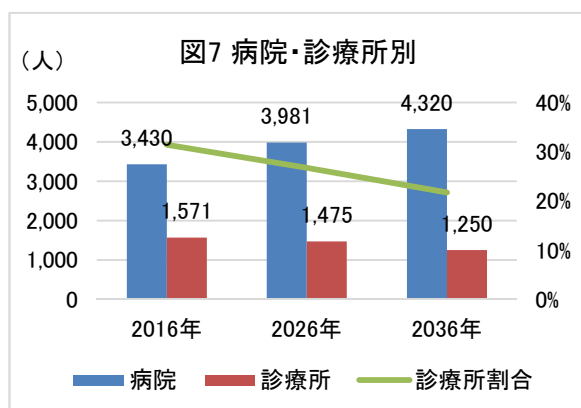
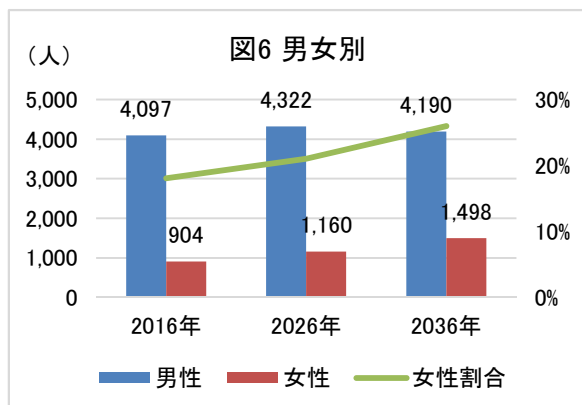
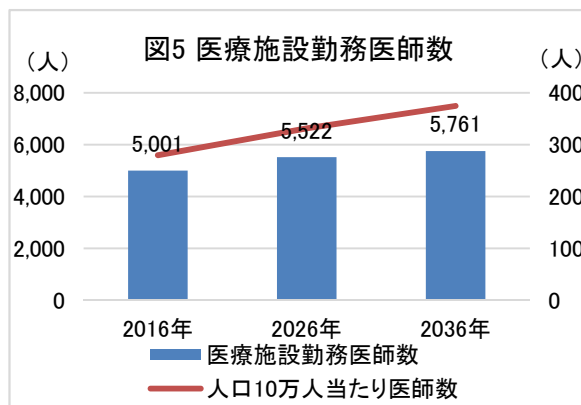
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて93人(2%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に594人(66%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は26%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて890人(26%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に321人(-20%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は85人(-5%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて732人(72%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



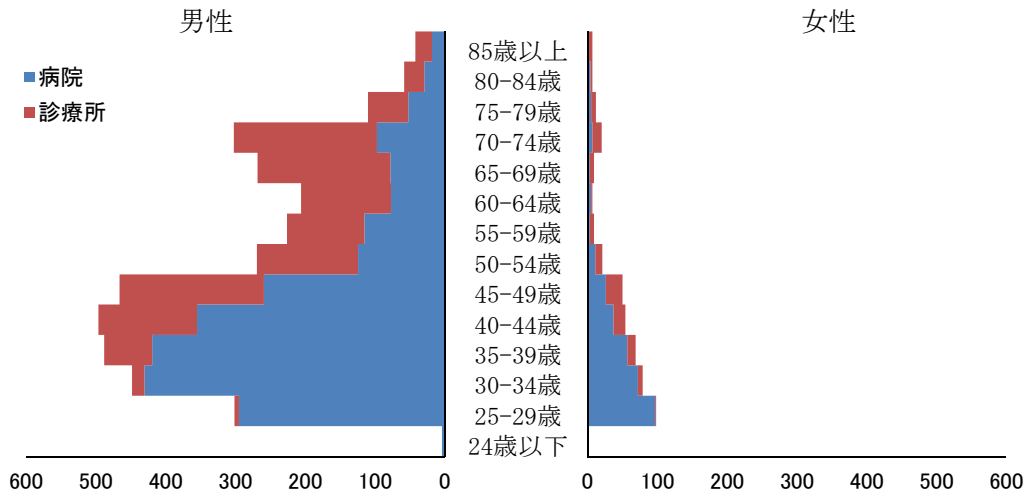
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熊本県

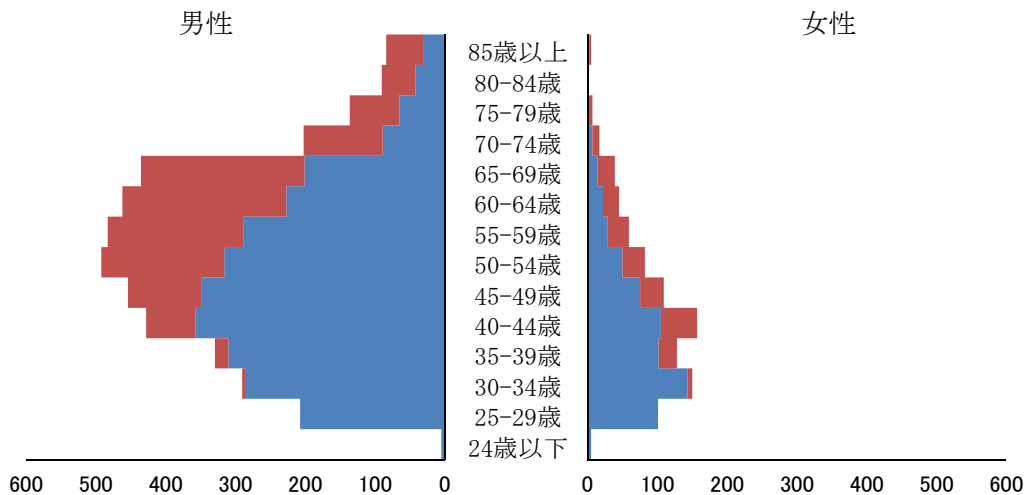
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

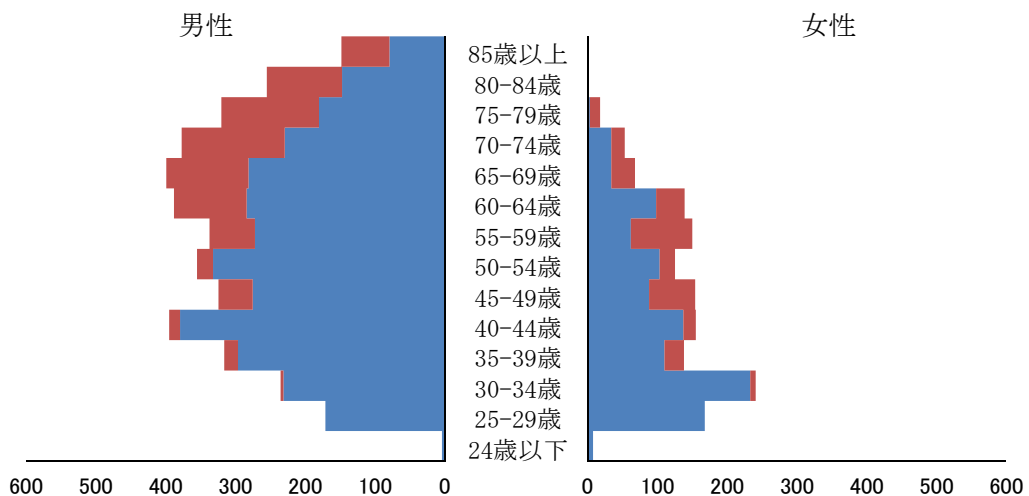
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熊本県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,786,170	1,666,017	1,537,678	-248,492	-14%	-120,153	-7%	-128,339	-8%	
医療施設勤務医師数	5,001	5,522	5,761	760	15%	521	10%	239	4%	
人口10万対	280.0	331.4	374.7	94.7	34%	51.5	18%	43.2	13%	
男性医師数	4,097	4,322	4,190	93	2%	225	5%	-132	-3%	
人口10万対	229.4	259.4	272.5	43.1	19%	30.0	13%	13.1	5%	
女性医師数	904	1,160	1,498	594	66%	256	28%	338	29%	
人口10万対	50.6	69.6	97.4	46.8	92%	19.0	38%	27.8	40%	
病院勤務医師数	3,430	3,981	4,320	890	26%	551	16%	339	9%	
人口10万対	192.0	239.0	280.9	88.9	46%	46.9	24%	42.0	18%	
診療所勤務医師数	1,571	1,475	1,250	-321	-20%	-96	-6%	-225	-15%	
人口10万対	88.0	88.5	81.3	-6.7	-8%	0.6	1%	-7.2	-8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	758	794	821	63	8%	36	5%	27	3%
	35-49歳	1,605	1,546	1,520	-85	-5%	-59	-4%	-26	-2%
	50-64歳	1,623	1,682	1,673	50	3%	59	4%	-9	-1%
	65歳以上	1,015	1,500	1,747	732	72%	485	48%	247	16%
	75歳以上(再掲)	322	572	784	462	143%	250	78%	212	37%
男性	24-34歳	502	527	411	-91	-18%	25	5%	-116	-22%
	35-49歳	1,211	1,096	1,077	-134	-11%	-115	-9%	-19	-2%
	50-64歳	1,437	1,341	1,200	-237	-16%	-96	-7%	-141	-11%
	65歳以上	947	1,358	1,502	555	59%	411	43%	144	11%
	75歳以上(再掲)	310	529	708	398	128%	219	71%	179	34%
女性	24-34歳	256	267	418	162	63%	11	4%	151	57%
	35-49歳	394	435	435	41	10%	41	10%	0	0%
	50-64歳	186	341	447	261	140%	155	83%	106	31%
	65歳以上	68	117	198	130	191%	49	72%	81	69%
	75歳以上(再掲)	12	34	40	28	233%	22	183%	6	18%
病院	24-34歳	747	783	808	61	8%	36	5%	25	3%
	35-49歳	1,297	1,298	1,296	-1	0%	1	0%	-2	0%
	50-64歳	932	1,127	1,170	238	26%	195	21%	43	4%
	65歳以上	454	773	1,046	592	130%	319	70%	273	35%
	75歳以上(再掲)	143	279	441	298	208%	136	95%	162	58%
診療所	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	308	196	200	-108	-35%	-112	-36%	4	2%
	50-64歳	691	544	364	-327	-47%	-147	-21%	-180	-33%
	65歳以上	561	724	674	113	20%	163	29%	-50	-7%
	75歳以上(再掲)	179	297	347	168	94%	118	66%	50	17%
	85歳以上(再掲)	55	44	74	19	35%	-11	-20%	30	68%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熊本医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は32,725人(5%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は787人(35%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は413人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

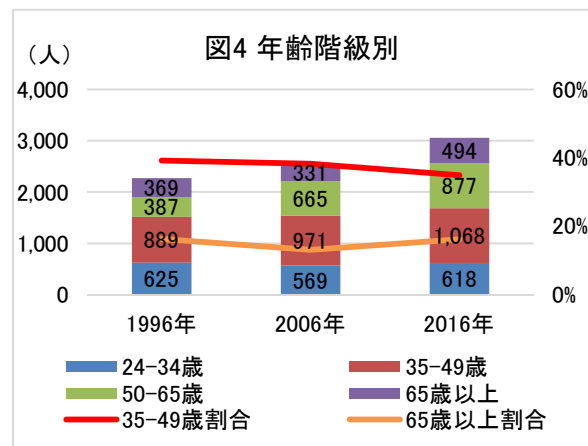
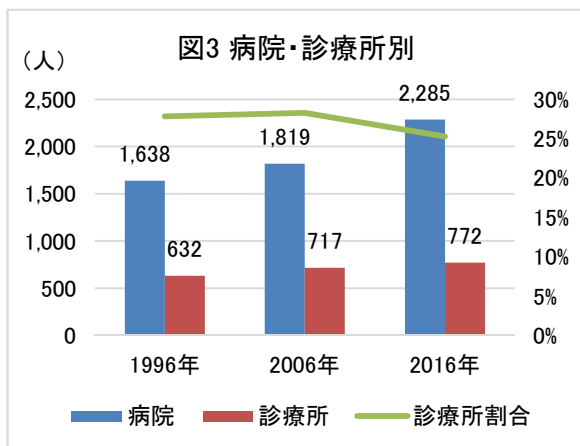
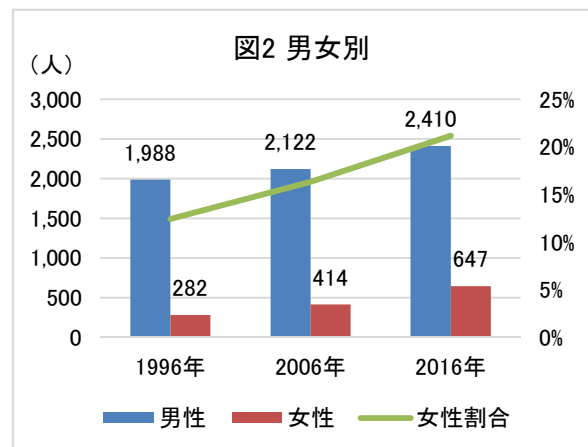
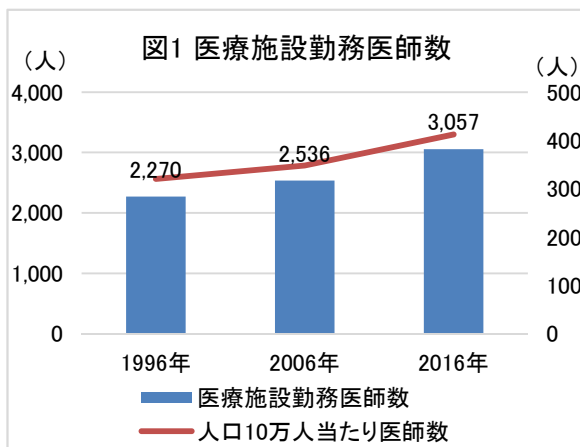
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて422人(21%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に365人(129%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて647人(39%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に140人(22%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は25%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は179人(20%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて125人(34%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年16%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

熊本医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	708,097	727,978	740,822	32,725	5%	19,881	3%	12,844	2%	
総医師数	2,408	2,696	3,206	798	33%	288	12%	510	19%	
人口10万対	340.1	370.3	432.8	92.7	27%	30.3	9%	62.4	17%	
医療施設勤務医師数	2,270	2,536	3,057	787	35%	266	12%	521	21%	
人口10万対	320.6	348.4	412.6	92.1	29%	27.8	9%	64.3	18%	
男性医師数	1,988	2,122	2,410	422	21%	134	7%	288	14%	
人口10万対	280.8	291.5	325.3	44.6	16%	10.7	4%	33.8	12%	
女性医師数	282	414	647	365	129%	132	47%	233	56%	
人口10万対	39.8	56.9	87.3	47.5	119%	17.0	43%	30.5	54%	
病院勤務医師数	1,638	1,819	2,285	647	39%	181	11%	466	26%	
人口10万対	231.3	249.9	308.4	77.1	33%	18.5	8%	58.6	23%	
診療所勤務医師数	632	717	772	140	22%	85	13%	55	8%	
人口10万対	89.3	98.5	104.2	15.0	17%	9.2	10%	5.7	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.4	47.6	49.2	2.8	6%	1.2	3%	1.6	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	625	569	618	-7	-1%	-56	-9%	49	9%
	35-49歳	889	971	1,068	179	20%	82	9%	97	10%
	50-64歳	387	665	877	490	127%	278	72%	212	32%
	65歳以上	369	331	494	125	34%	-38	-10%	163	49%
	75歳以上(再掲)	105	156	153	48	46%	51	49%	-3	-2%
男性	24-34歳	495	382	410	-85	-17%	-113	-23%	28	7%
	35-49歳	777	818	771	-6	-1%	41	5%	-47	-6%
	50-64歳	366	603	775	409	112%	237	65%	172	29%
	65歳以上	350	319	454	104	30%	-31	-9%	135	42%
	75歳以上(再掲)	97	149	148	51	53%	52	54%	-1	-1%
女性	24-34歳	130	187	208	78	60%	57	44%	21	11%
	35-49歳	112	153	297	185	165%	41	37%	144	94%
	50-64歳	21	62	102	81	386%	41	195%	40	65%
	65歳以上	19	12	40	21	111%	-7	-37%	28	233%
	75歳以上(再掲)	8	7	5	-3	-38%	-1	-13%	-2	-29%
病院	24-34歳	607	550	610	3	0%	-57	-9%	60	11%
	35-49歳	679	772	893	214	32%	93	14%	121	16%
	50-64歳	190	344	554	364	192%	154	81%	210	61%
	65歳以上	162	153	228	66	41%	-9	-6%	75	49%
	75歳以上(再掲)	67	67	71	4	6%	0	0%	4	6%
診療所	24-34歳	18	19	8	-10	-56%	1	6%	-11	-58%
	35-49歳	210	199	175	-35	-17%	-11	-5%	-24	-12%
	50-64歳	197	321	323	126	64%	124	63%	2	1%
	65歳以上	207	178	266	59	29%	-29	-14%	88	49%
	75歳以上(再掲)	38	89	82	44	116%	51	134%	-7	-8%
	85歳以上(再掲)	9	9	27	18	200%	0	0%	18	200%

熊本医療圏

＜医師数の推移＞

熊本医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、小児外科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、形成外科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	2,270	320.6	67	2,536	348.4	68	3,057	412.6	69	787	35%	92.1	29%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	958	135.3	68	986	135.4	70	1,147	154.8	71	189	20%	19.5	14%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	132	18.6	67	125	17.2	63	147	19.8	62	15	11%	1.2	6%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	110	15.5	69	138	19.0	70	177	23.9	71	67	61%	8.4	54%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	240	33.9	64	200	27.5	63	225	30.4	66	-15	-6%	-3.5	-10%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	15	2.1	76	13	1.8	72	13	1.8	67	-2	-13%	-0.4	-17%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	28	4.0	66	32	4.4	64	38	5.1	65	10	36%	1.2	30%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	52	7.3	61	54	7.4	61	65	8.8	61	13	25%	1.4	19%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	170	24.0	72	185	25.4	72	208	28.1	72	38	22%	4.1	17%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	9	1.3	52	9	1.2	48	16	2.2	51	7	78%	0.9	70%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	65	9.2	61	80	11.0	65	100	13.5	67	35	54%	4.3	47%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	80	11.3	55	82	11.3	54	119	16.1	64	39	49%	4.8	42%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	76	10.7	60	70	9.6	58	65	8.8	55	-11	-14%	-2.0	-18%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	63	8.9	71	67	9.2	69	83	11.2	72	20	32%	2.3	26%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	103	14.5	61	105	14.4	63	114	15.4	61	11	11%	0.8	6%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	11	1.6	61	20	2.7	61	22	3.0	57	11	100%	1.4	91%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	62	8.8	68	72	9.9	70	92	12.4	70	30	48%	3.7	42%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	66	9.3	66	82	11.3	69	114	15.4	68	48	73%	6.1	65%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				18	2.5	58	62	8.4	77	44	244%	5.9	238%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				154	21.2	62	187	25.2	63	187	21%	4.1	19%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	30	4.2	50	44	6.0	52	63	8.5	52	33	110%	4.3	101%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

熊本医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は59,635人(-8%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は824人(27%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は570人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

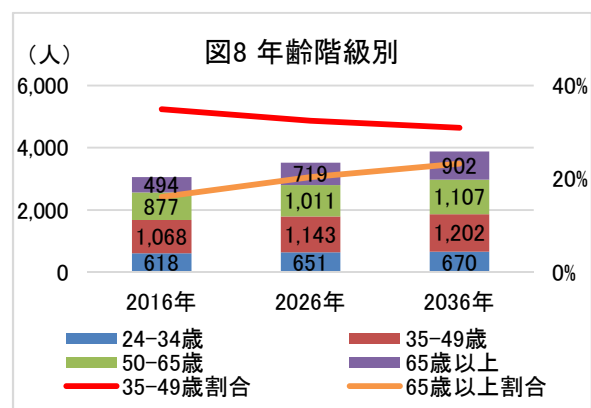
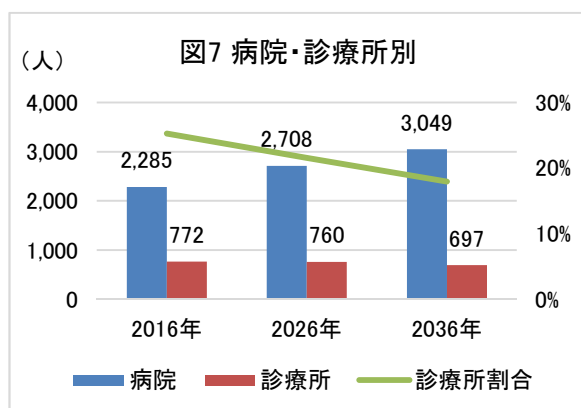
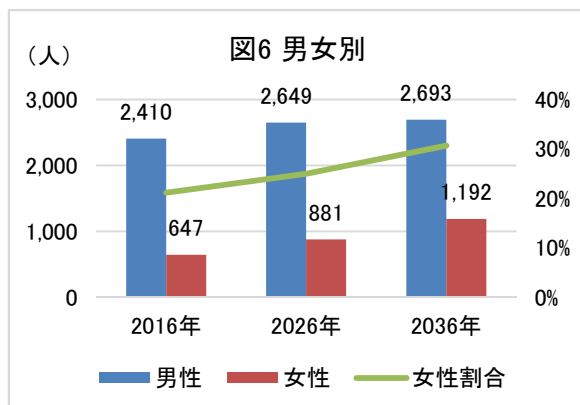
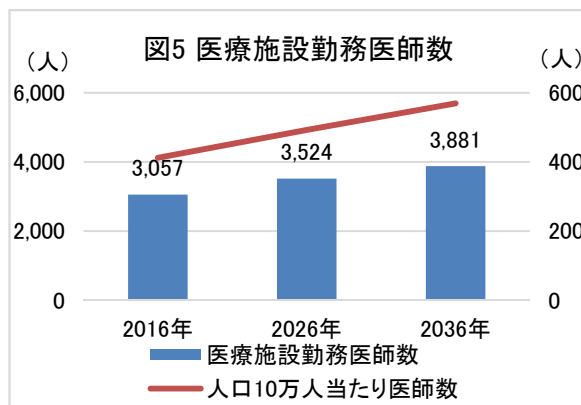
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて283人(12%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に545人(84%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は31%と、全国平均(31%)と同程度である。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて764人(33%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に75人(-10%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は18%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は134人(13%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて408人(83%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



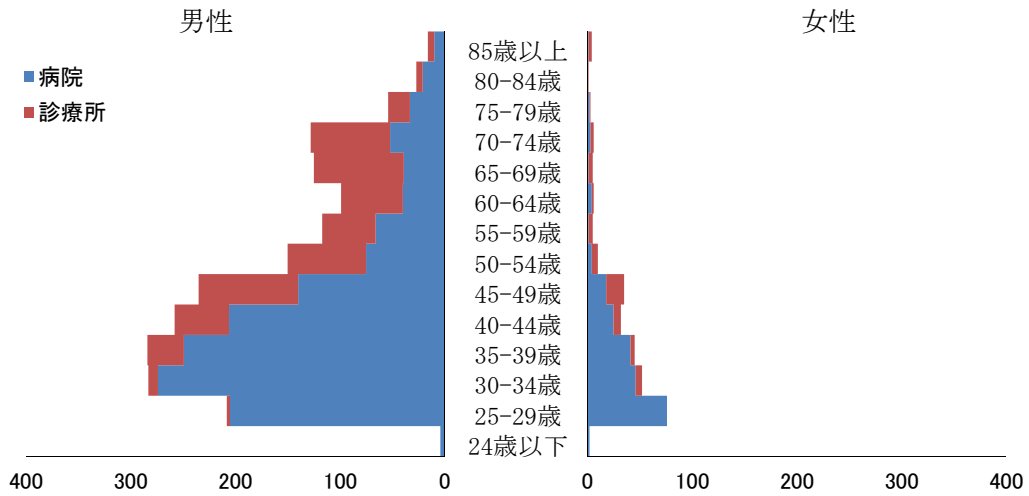
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熊本医療圏

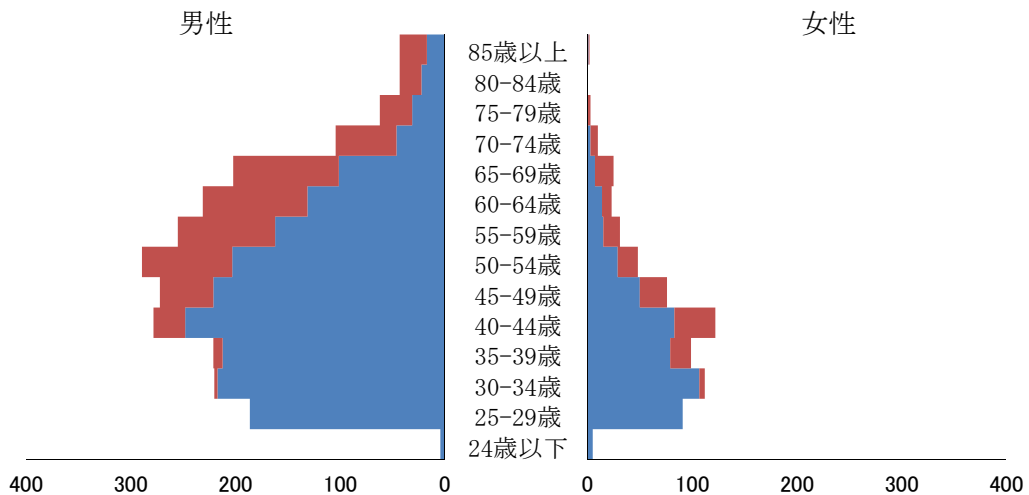
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

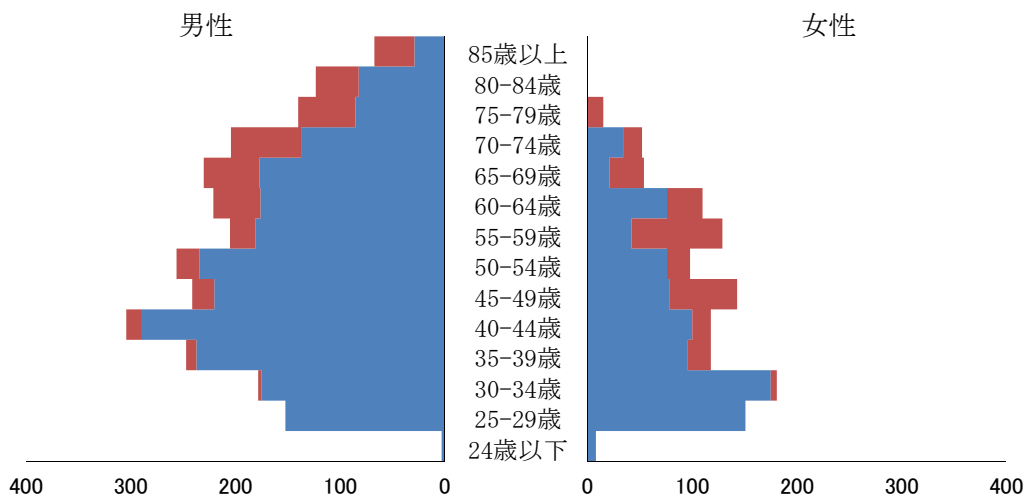
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熊本医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	740,822	714,761	681,187	-59,635	-8%	-26,061	-4%	-33,574	-5%	
医療施設勤務医師数	3,057	3,524	3,881	824	27%	467	15%	357	10%	
人口10万対	412.6	493.0	569.7	157.1	38%	80.4	19%	76.7	16%	
男性医師数	2,410	2,649	2,693	283	12%	239	10%	44	2%	
人口10万対	325.3	370.6	395.3	70.0	22%	45.3	14%	24.7	7%	
女性医師数	647	881	1,192	545	84%	234	36%	311	35%	
人口10万対	87.3	123.3	175.0	87.7	100%	35.9	41%	51.7	42%	
病院勤務医師数	2,285	2,708	3,049	764	33%	423	19%	341	13%	
人口10万対	308.4	378.9	447.6	139.2	45%	70.4	23%	68.7	18%	
診療所勤務医師数	772	760	697	-75	-10%	-12	-2%	-63	-8%	
人口10万対	104.2	106.3	102.3	-1.9	-2%	2.1	2%	-4.0	-4%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	618	651	670	52	8%	33	5%	19	3%
	35-49歳	1,068	1,143	1,202	134	13%	75	7%	59	5%
	50-64歳	877	1,011	1,107	230	26%	134	15%	96	9%
	65歳以上	494	719	902	408	83%	225	46%	183	25%
	75歳以上(再掲)	153	254	360	207	135%	101	66%	106	42%
男性	24-34歳	410	433	334	-76	-19%	23	6%	-99	-23%
	35-49歳	771	786	822	51	7%	15	2%	36	5%
	50-64歳	775	785	772	-3	0%	10	1%	-13	-2%
	65歳以上	454	645	765	311	69%	191	42%	120	19%
	75歳以上(再掲)	148	231	324	176	119%	83	56%	93	40%
女性	24-34歳	208	219	340	132	63%	11	5%	121	55%
	35-49歳	297	359	381	84	28%	62	21%	22	6%
	50-64歳	102	221	326	224	220%	119	117%	105	48%
	65歳以上	40	82	145	105	263%	42	105%	63	77%
	75歳以上(再掲)	5	26	35	30	600%	21	420%	9	35%
病院	24-34歳	610	643	661	51	8%	33	5%	18	3%
	35-49歳	893	973	1,026	133	15%	80	9%	53	5%
	50-64歳	554	698	788	234	42%	144	26%	90	13%
	65歳以上	228	394	574	346	152%	166	73%	180	46%
	75歳以上(再掲)	71	115	206	135	190%	44	62%	91	79%
診療所	24-34歳	8	8	9	1	13%	0	0%	1	13%
	35-49歳	175	135	139	-36	-21%	-40	-23%	4	3%
	50-64歳	323	291	228	-95	-29%	-32	-10%	-63	-22%
	65歳以上	266	326	321	55	21%	60	23%	-5	-2%
	75歳以上(再掲)	82	140	157	75	91%	58	71%	17	12%
	85歳以上(再掲)	27	25	43	16	59%	-2	-7%	18	72%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇城医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は5,497人(-5%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は36人(26%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は162人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

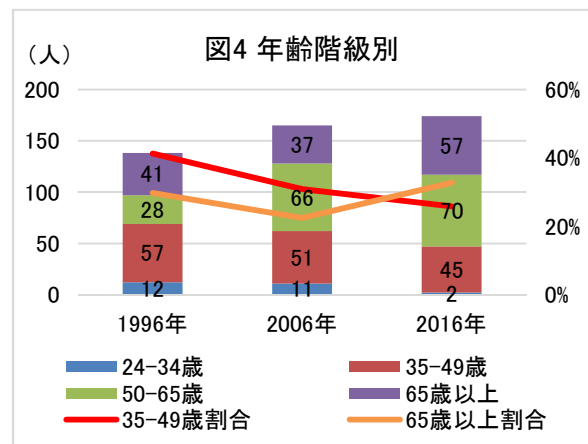
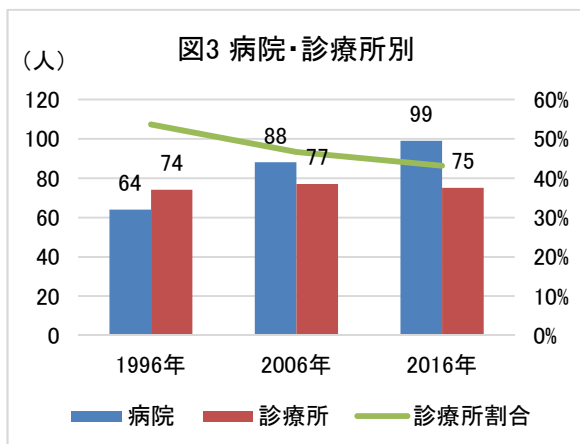
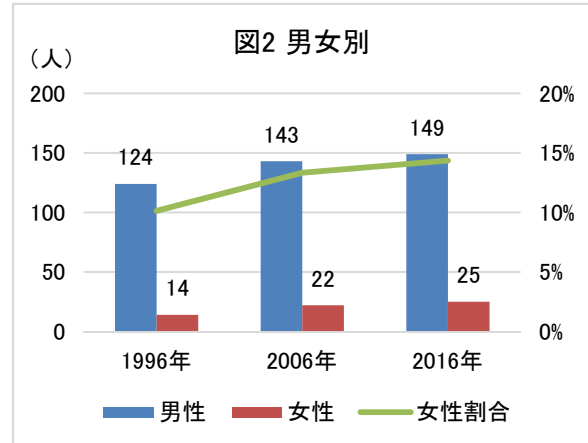
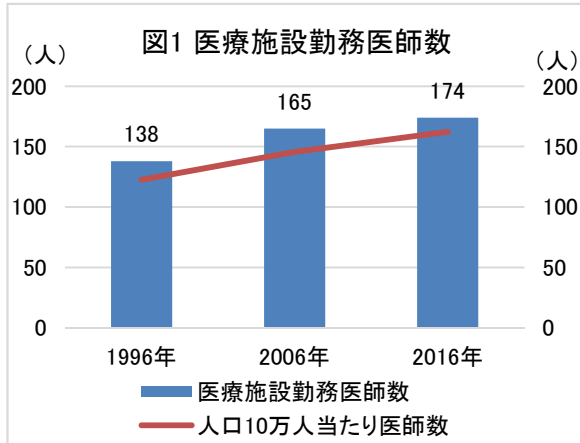
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて25人(20%)増え、全国平均(20%)と同程度の増加率である。女性医師は、同期間に11人(79%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて35人(55%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に1人(1%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は43%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は12人(-21%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて16人(39%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年30%、2016年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

宇城医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	112,612	113,366	107,115	-5,497	-5%	754	1%	-6,251	-6%	
総医師数	145	172	179	34	23%	27	19%	7	4%	
人口10万対	128.8	151.7	167.1	38.3	30%	23.0	18%	15.4	10%	
医療施設勤務医師数	138	165	174	36	26%	27	20%	9	5%	
人口10万対	122.5	145.5	162.4	39.9	33%	23.0	19%	16.9	12%	
男性医師数	124	143	149	25	20%	19	15%	6	4%	
人口10万対	110.1	126.1	139.1	29.0	26%	16.0	15%	13.0	10%	
女性医師数	14	22	25	11	79%	8	57%	3	14%	
人口10万対	12.4	19.4	23.3	10.9	88%	7.0	56%	3.9	20%	
病院勤務医師数	64	88	99	35	55%	24	38%	11	13%	
人口10万対	56.8	77.6	92.4	35.6	63%	20.8	37%	14.8	19%	
診療所勤務医師数	74	77	75	1	1%	3	4%	-2	-3%	
人口10万対	65.7	67.9	70.0	4.3	7%	2.2	3%	2.1	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	54.0	55.0	59.3	5.3	10%	1.0	2%	4.3	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	12	11	2	-10	-83%	-1	-8%	-9	-82%
	35-49歳	57	51	45	-12	-21%	-6	-11%	-6	-12%
	50-64歳	28	66	70	42	150%	38	136%	4	6%
	65歳以上	41	37	57	16	39%	-4	-10%	20	54%
	75歳以上(再掲)	11	19	23	12	109%	8	73%	4	21%
男性	24-34歳	9	5	0	-9	-100%	-4	-44%	-5	-100%
	35-49歳	51	46	35	-16	-31%	-5	-10%	-11	-24%
	50-64歳	27	60	60	33	122%	33	122%	0	0%
	65歳以上	37	32	54	17	46%	-5	-14%	22	69%
	75歳以上(再掲)	9	15	21	12	133%	6	67%	6	40%
女性	24-34歳	3	6	2	-1	-33%	3	100%	-4	-67%
	35-49歳	6	5	10	4	67%	-1	-17%	5	100%
	50-64歳	1	6	10	9	900%	5	500%	4	67%
	65歳以上	4	5	3	-1	-25%	1	25%	-2	-40%
	75歳以上(再掲)	2	4	2	0	0%	2	100%	-2	-50%
病院	24-34歳	10	9	2	-8	-80%	-1	-10%	-7	-78%
	35-49歳	35	35	29	-6	-17%	0	0%	-6	-17%
	50-64歳	6	30	39	33	550%	24	400%	9	30%
	65歳以上	13	14	29	16	123%	1	8%	15	107%
	75歳以上(再掲)	5	7	13	8	160%	2	40%	6	86%
診療所	24-34歳	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
	35-49歳	22	16	16	-6	-27%	-6	-27%	0	0%
	50-64歳	22	36	31	9	41%	14	64%	-5	-14%
	65歳以上	28	23	28	0	0%	-5	-18%	5	22%
	75歳以上(再掲)	6	12	10	4	67%	6	100%	-2	-17%
	85歳以上(再掲)	3	2	1	-2	-67%	-1	-33%	-1	-50%

宇城医療圏

＜医師数の推移＞

宇城医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、精神科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	138	122.5	43	165	145.5	42	174	162.4	41	36	26%	39.9	33%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	65	57.7	45	75	66.2	46	78	72.8	45	13	20%	15.1	26%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	8	7.1	41	8	7.1	40	12	11.2	46	4	50%	4.1	58%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	9	8.0	50	14	12.3	56	18	16.8	58	9	100%	8.8	110%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	17	15.1	44	19	16.8	48	17	15.9	46	0	0%	0.8	5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	0	0.0	29	1	0.9	31	1	0	0.9	0.0
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	12	10.7	45	15	13.2	47	12	11.2	39	0	0%	0.5	5%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	6	5.3	50	6	5.3	47	4	3.7	41	-2	-33%	-1.6	-30%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	6	5.3	43	6	5.3	39	5	4.7	36	-1	-17%	-0.7	-12%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	4.4	43	5	4.4	42	8	7.5	51	3	60%	3.0	68%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	0.9	36	6	5.3	52	7	6.5	54	6	600%	5.6	636%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	5.3	39	5	4.4	38	5	4.7	38	-1	-17%	-0.7	-12%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.9	52	1	0.9	45	2	1.9	49	1	100%	1.0	110%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.9	42	1	0.9	40	1	0.9	38	0	0%	0.0	5%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	4	3.5	46	2	1.9	38	2	0	1.9	0.0
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.9	42	0	0.0	40	2	1.9	40	1	100%	1.0	110%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

宇城医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は17,391人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は35人(-20%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は155人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-5%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

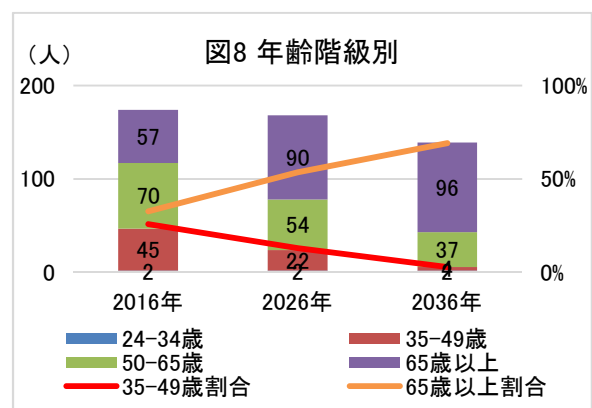
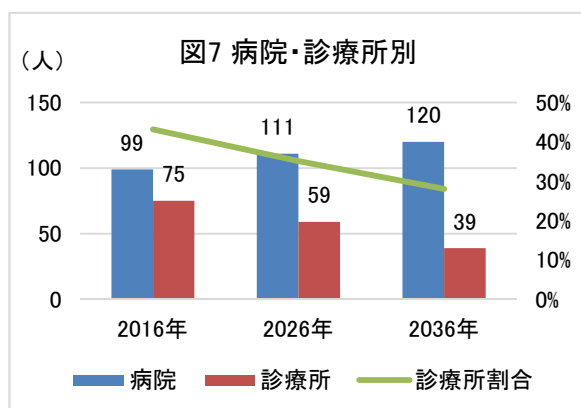
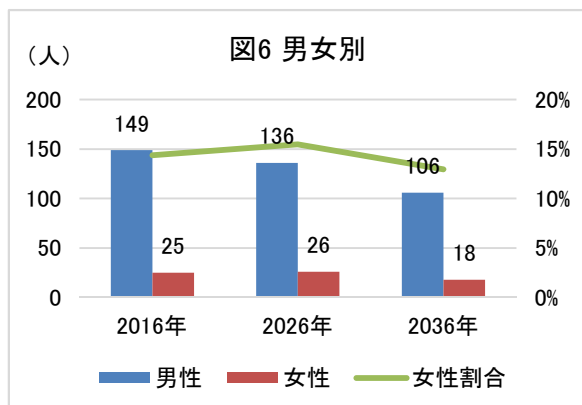
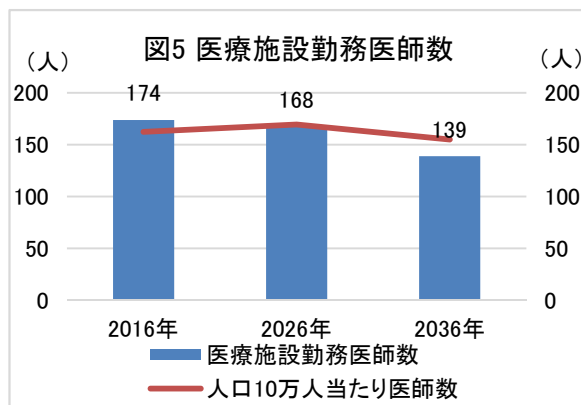
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて43人(-29%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に7人(-28%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は13%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて21人(21%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に36人(-48%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は41人(-91%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて39人(68%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年33%、2036年69%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



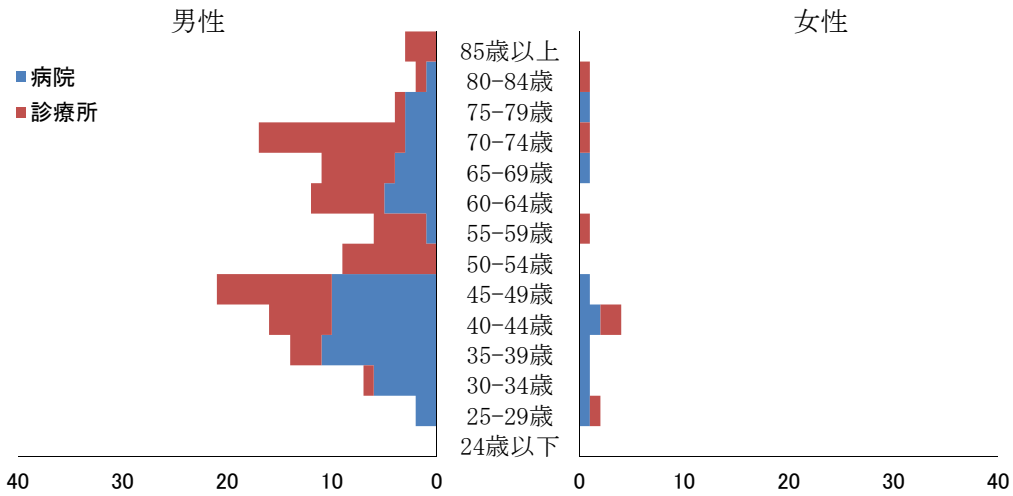
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇城医療圏

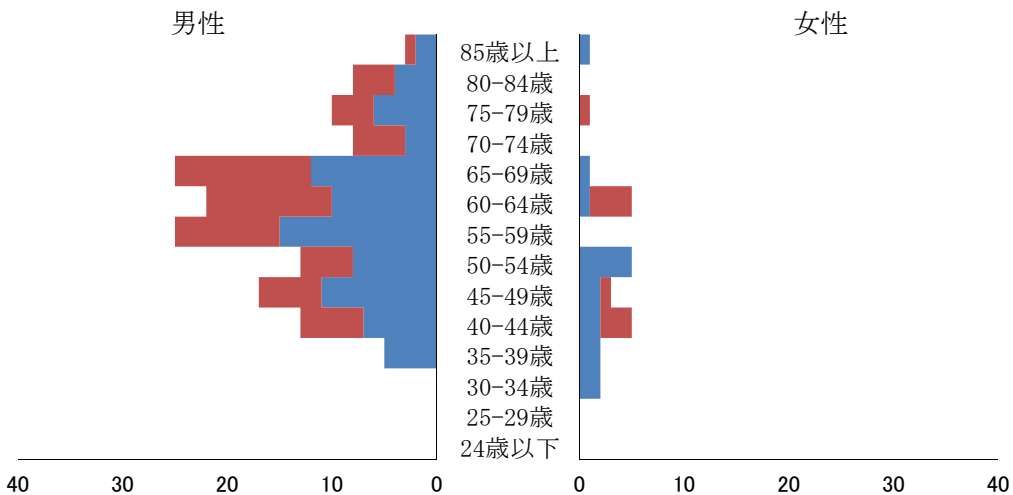
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

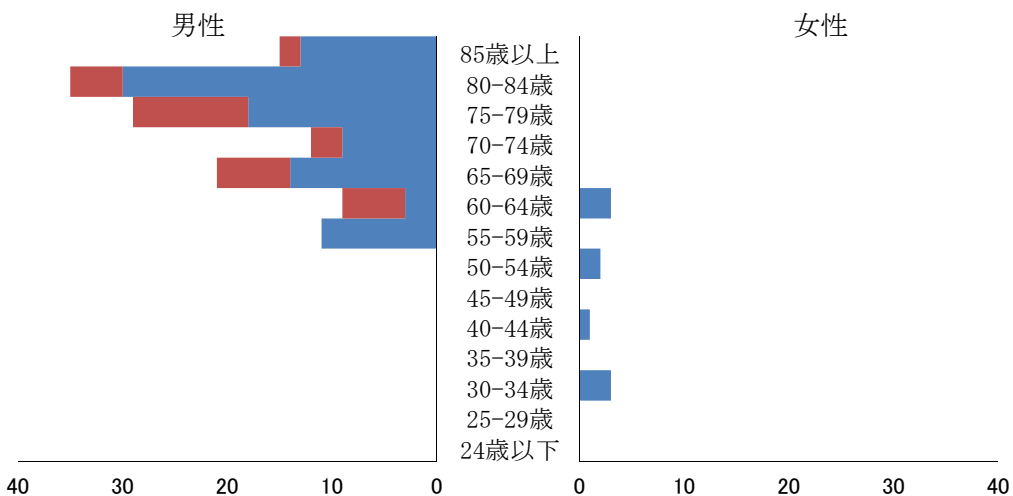
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇城医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	107,115	99,030	89,724	-17,391	-16%	-8,085	-8%	-9,306	-9%	
医療施設勤務医師数	174	168	139	-35	-20%	-6	-3%	-29	-17%	
人口10万対	162.4	169.6	154.9	-7.5	-5%	7.2	4%	-14.7	-9%	
男性医師数	149	136	106	-43	-29%	-13	-9%	-30	-22%	
人口10万対	139.1	137.3	118.1	-21.0	-15%	-1.8	-1%	-19.2	-14%	
女性医師数	25	26	18	-7	-28%	1	4%	-8	-31%	
人口10万対	23.3	26.3	20.1	-3.3	-14%	2.9	12%	-6.2	-24%	
病院勤務医師数	99	111	120	21	21%	12	12%	9	8%	
人口10万対	92.4	112.1	133.7	41.3	45%	19.7	21%	21.7	19%	
診療所勤務医師数	75	59	39	-36	-48%	-16	-21%	-20	-34%	
人口10万対	70.0	59.6	43.5	-26.6	-38%	-10.4	-15%	-16.1	-27%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	45	22	4	-41	-91%	-23	-51%	-18	-82%
	50-64歳	70	54	37	-33	-47%	-16	-23%	-17	-31%
	65歳以上	57	90	96	39	68%	33	58%	6	7%
	75歳以上(再掲)	23	42	60	37	161%	19	83%	18	43%
男性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	35	12	0	-35	-100%	-23	-66%	-12	-100%
	50-64歳	60	40	22	-38	-63%	-20	-33%	-18	-45%
	65歳以上	54	84	84	30	56%	30	56%	0	0%
	75歳以上(再掲)	21	40	55	34	162%	19	90%	15	38%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	10	9	3	-7	-70%	-1	-10%	-6	-67%
	50-64歳	10	13	12	2	20%	3	30%	-1	-8%
	65歳以上	3	2	0	-3	-100%	-1	-33%	-2	-100%
	75歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
病院	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	29	16	3	-26	-90%	-13	-45%	-13	-81%
	50-64歳	39	33	23	-16	-41%	-6	-15%	-10	-30%
	65歳以上	29	60	92	63	217%	31	107%	32	53%
	75歳以上(再掲)	13	28	63	50	385%	15	115%	35	125%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	16	0	0	-16	-100%	-16	-100%	0	
	50-64歳	31	21	9	-22	-71%	-10	-32%	-12	-57%
	65歳以上	28	38	30	2	7%	10	36%	-8	-21%
	75歳以上(再掲)	10	17	19	9	90%	7	70%	2	12%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

有明医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は17,818人(-10%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は11人(-4%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は179人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は7%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

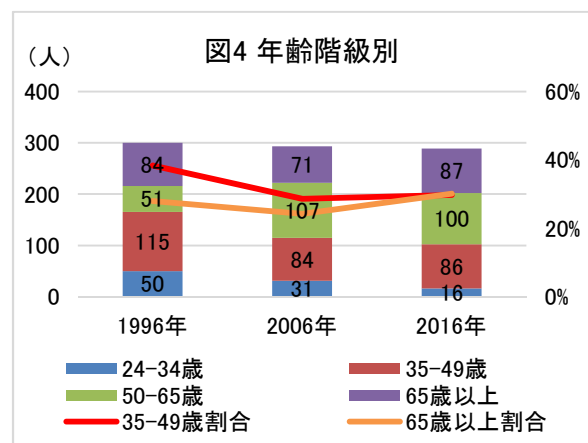
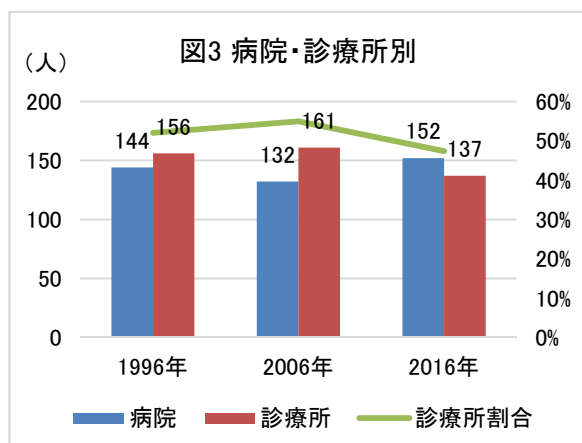
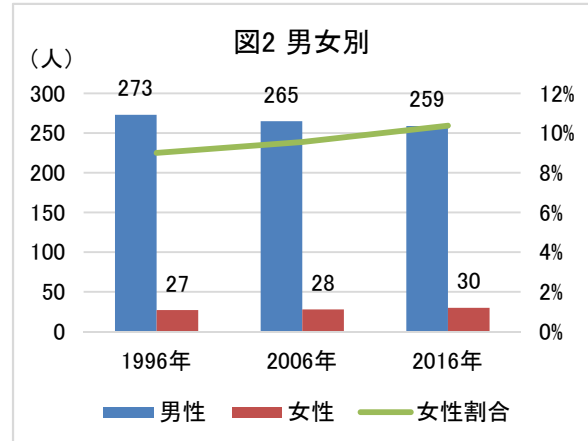
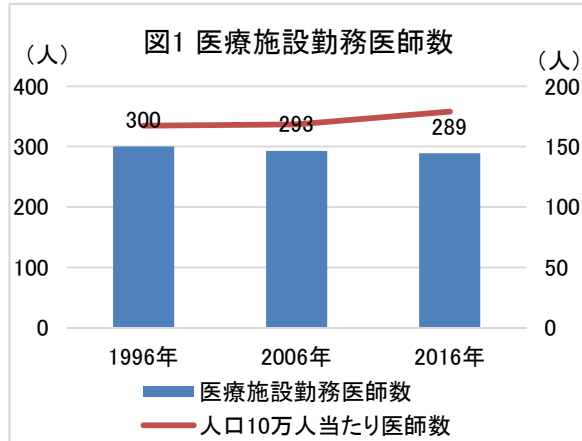
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて14人(-5%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(11%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は10%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて8人(6%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に19人(-12%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は47%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は29人(-25%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(4%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年28%、2016年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

有明医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	179,138	173,921	161,320	-17,818	-10%	-5,217	-3%	-12,601	-7%	
総医師数	304	306	306	2	1%	2	1%	0	0%	
人口10万対	169.7	175.9	189.7	20.0	12%	6.2	4%	13.7	8%	
医療施設勤務医師数	300	293	289	-11	-4%	-7	-2%	-4	-1%	
人口10万対	167.5	168.5	179.1	11.7	7%	1.0	1%	10.7	6%	
男性医師数	273	265	259	-14	-5%	-8	-3%	-6	-2%	
人口10万対	152.4	152.4	160.6	8.2	5%	-0.0	0%	8.2	5%	
女性医師数	27	28	30	3	11%	1	4%	2	7%	
人口10万対	15.1	16.1	18.6	3.5	23%	1.0	7%	2.5	16%	
病院勤務医師数	144	132	152	8	6%	-12	-8%	20	15%	
人口10万対	80.4	75.9	94.2	13.8	17%	-4.5	-6%	18.3	24%	
診療所勤務医師数	156	161	137	-19	-12%	5	3%	-24	-15%	
人口10万対	87.1	92.6	84.9	-2.2	-2%	5.5	6%	-7.6	-8%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.6	55.0	57.0	5.4	10%	3.3	6%	2.0	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	50	31	16	-34	-68%	-19	-38%	-15	-48%
	35-49歳	115	84	86	-29	-25%	-31	-27%	2	2%
	50-64歳	51	107	100	49	96%	56	110%	-7	-7%
	65歳以上	84	71	87	3	4%	-13	-15%	16	23%
	75歳以上(再掲)	21	48	29	8	38%	27	129%	-19	-40%
男性	24-34歳	40	22	11	-29	-73%	-18	-45%	-11	-50%
	35-49歳	106	73	73	-33	-31%	-33	-31%	0	0%
	50-64歳	51	103	92	41	80%	52	102%	-11	-11%
	65歳以上	76	67	83	7	9%	-9	-12%	16	24%
	75歳以上(再掲)	17	44	29	12	71%	27	159%	-15	-34%
女性	24-34歳	10	9	5	-5	-50%	-1	-10%	-4	-44%
	35-49歳	9	11	13	4	44%	2	22%	2	18%
	50-64歳	0	4	8	8		4		4	100%
	65歳以上	8	4	4	-4	-50%	-4	-50%	0	0%
	75歳以上(再掲)	4	4	0	-4	-100%	0	0%	-4	-100%
病院	24-34歳	50	26	16	-34	-68%	-24	-48%	-10	-38%
	35-49歳	62	48	60	-2	-3%	-14	-23%	12	25%
	50-64歳	18	44	38	20	111%	26	144%	-6	-14%
	65歳以上	14	14	38	24	171%	0	0%	24	171%
	75歳以上(再掲)	3	6	14	11	367%	3	100%	8	133%
診療所	24-34歳	0	5	0	0		5		-5	-100%
	35-49歳	53	36	26	-27	-51%	-17	-32%	-10	-28%
	50-64歳	33	63	62	29	88%	30	91%	-1	-2%
	65歳以上	70	57	49	-21	-30%	-13	-19%	-8	-14%
	75歳以上(再掲)	18	42	15	-3	-17%	24	133%	-27	-64%
	85歳以上(再掲)	4	6	9	5	125%	2	50%	3	50%

有明医療圏

＜医師数の推移＞

有明医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、眼科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、皮膚科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	300	167.5	48	293	168.5	45	289	179.1	43	-11	-4%	11.7	7%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	153	85.4	53	140	80.5	51	139	86.2	49	-14	-9%	0.8	1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	15	8.4	44	9	5.2	36	11	6.8	38	-4	-27%	-1.6	-19%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	17	9.5	54	19	10.9	53	20	12.4	50	3	18%	2.9	31%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	29	16.2	45	26	14.9	45	24	14.9	44	-5	-17%	-1.3	-8%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	1.7	39	5	2.9	41	6	3.7	42	3	100%	2.0	122%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	25	14.0	52	26	14.9	50	28	17.4	51	3	12%	3.4	24%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.6	46	1	0.6	43	1	0.6	41	0	0%	0.1	11%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.2	41	5	2.9	40	6	3.7	40	2	50%	1.5	67%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	12	6.7	46	12	6.9	43	10	6.2	40	-2	-17%	-0.5	-7%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	3.9	41	7	4.0	41	7	4.3	41	0	0%	0.4	11%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	3.3	47	9	5.2	52	8	5.0	48	2	33%	1.6	48%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	13	7.3	44	11	6.3	43	6	3.7	36	-7	-54%	-3.5	-49%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	1.1	55	0	0.0	38	0	0.0	37	-2	-100%	-1.1	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	3.3	50	7	4.0	51	7	4.3	48	1	17%	1.0	30%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	1.7	43	4	2.3	42	7	4.3	44	4	133%	2.7	159%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	2	1.2	44	2		1.2	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				6	3.4	41	3	1.9	38	3	-50%	-1.6	-46%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	4	2.2	45	6	3.4	47	4	2.5	41	0	0%	0.2	11%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

有明医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は28,282人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は33人(-11%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は192人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は7%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

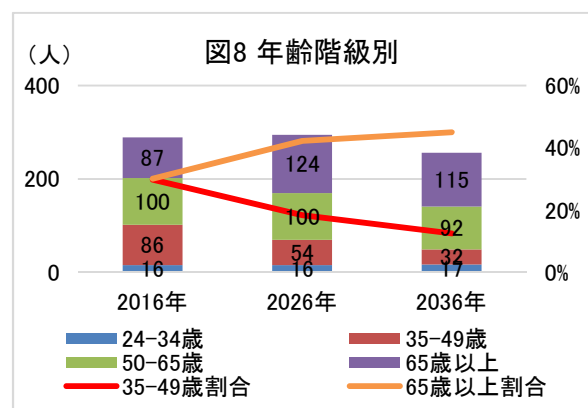
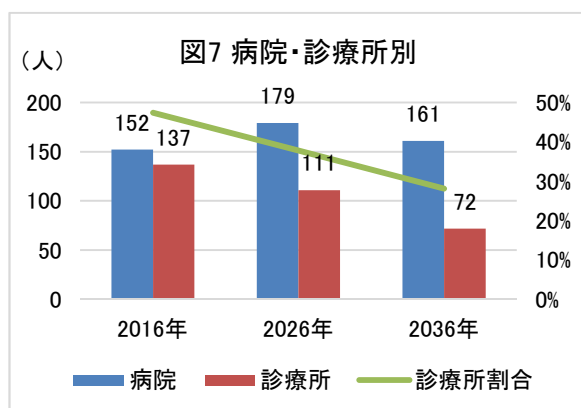
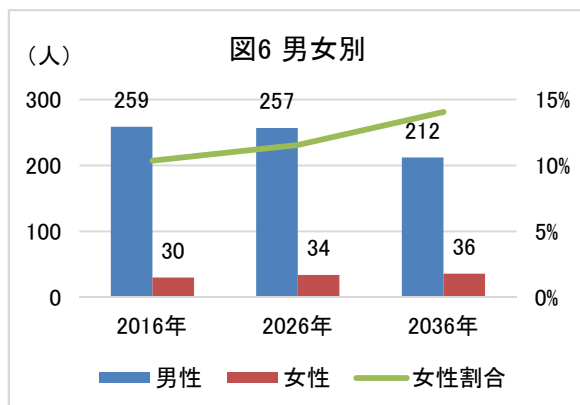
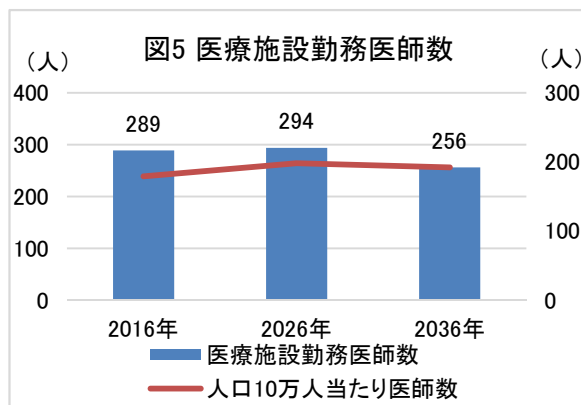
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて47人(-18%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(20%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は14%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて9人(6%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に65人(-47%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は54人(-63%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて28人(32%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年30%、2036年45%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



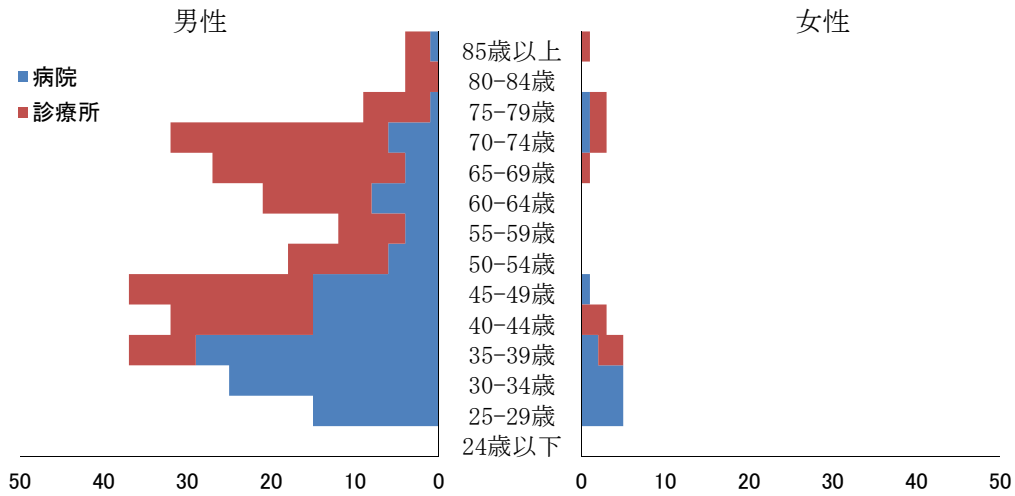
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

有明医療圏

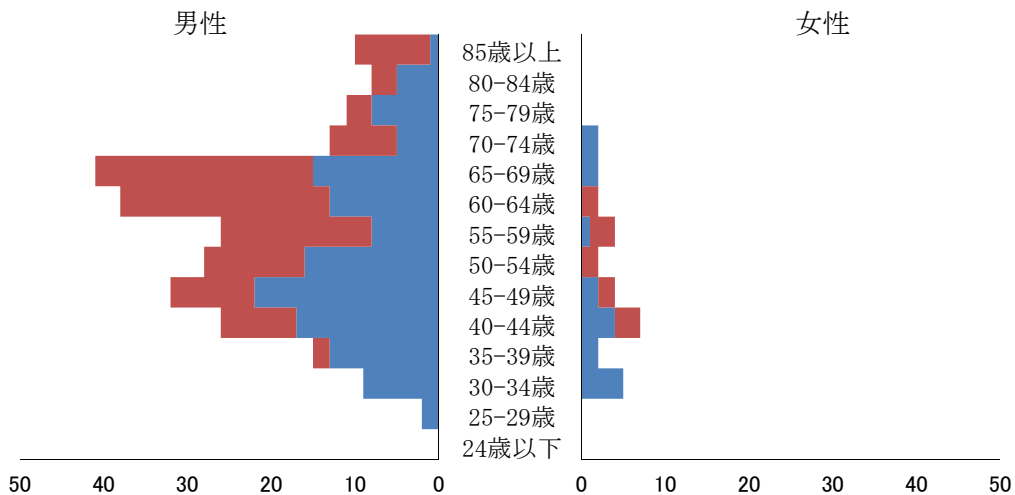
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

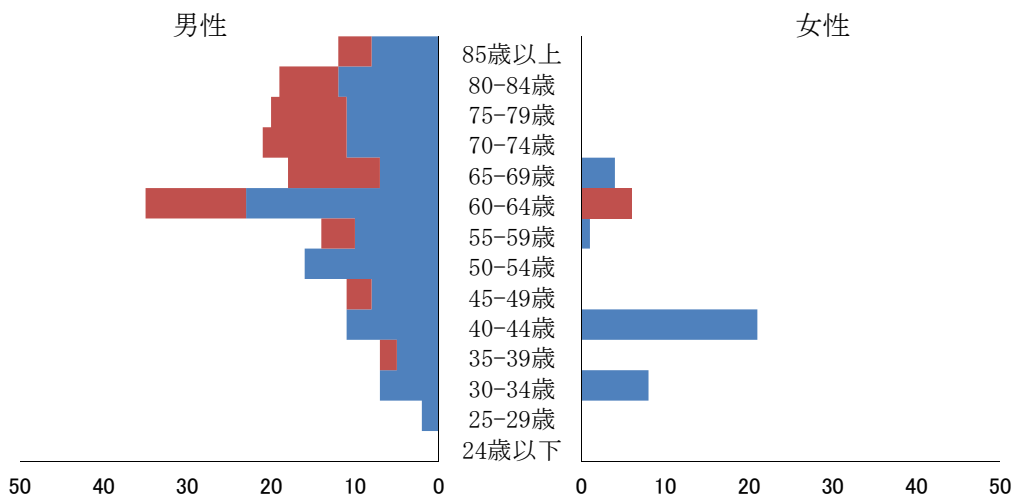
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

有明医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	161,320	148,269	133,038	-28,282	-18%	-13,051	-8%	-15,231	-10%	
医療施設勤務医師数	289	294	256	-33	-11%	5	2%	-38	-13%	
人口10万対	179.1	198.3	192.4	13.3	7%	19.1	11%	-5.9	-3%	
男性医師数	259	257	212	-47	-18%	-2	-1%	-45	-18%	
人口10万対	160.6	173.3	159.4	-1.2	-1%	12.8	8%	-14.0	-8%	
女性医師数	30	34	36	6	20%	4	13%	2	6%	
人口10万対	18.6	22.9	27.1	8.5	46%	4.3	23%	4.1	18%	
病院勤務医師数	152	179	161	9	6%	27	18%	-18	-10%	
人口10万対	94.2	120.7	121.0	26.8	28%	26.5	28%	0.3	0%	
診療所勤務医師数	137	111	72	-65	-47%	-26	-19%	-39	-35%	
人口10万対	84.9	74.9	54.1	-30.8	-36%	-10.1	-12%	-20.7	-28%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	16	16	17	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	86	54	32	-54	-63%	-32	-37%	-22	-41%
	50-64歳	100	100	92	-8	-8%	0	0%	-8	-8%
	65歳以上	87	124	115	28	32%	37	43%	-9	-7%
	75歳以上(再掲)	29	62	65	36	124%	33	114%	3	5%
男性	24-34歳	11	11	9	-2	-18%	0	0%	-2	-18%
	35-49歳	73	47	29	-44	-60%	-26	-36%	-18	-38%
	50-64歳	92	87	75	-17	-18%	-5	-5%	-12	-14%
	65歳以上	83	112	99	16	19%	29	35%	-13	-12%
	75歳以上(再掲)	29	60	57	28	97%	31	107%	-3	-5%
女性	24-34歳	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	35-49歳	13	11	9	-4	-31%	-2	-15%	-2	-18%
	50-64歳	8	10	11	3	38%	2	25%	1	10%
	65歳以上	4	8	8	4	100%	4	100%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	16	16	17	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	60	47	27	-33	-55%	-13	-22%	-20	-43%
	50-64歳	38	51	57	19	50%	13	34%	6	12%
	65歳以上	38	65	60	22	58%	27	71%	-5	-8%
	75歳以上(再掲)	14	45	38	24	171%	31	221%	-7	-16%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	26	5	5	-21	-81%	-21	-81%	0	0%
	50-64歳	62	44	21	-41	-66%	-18	-29%	-23	-52%
	65歳以上	49	62	46	-3	-6%	13	27%	-16	-26%
	75歳以上(再掲)	15	19	22	7	47%	4	27%	3	16%
	85歳以上(再掲)	9	3	4	-5	-56%	-6	-67%	1	33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

鹿本医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は8,727人(-14%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は4人(4%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は186人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

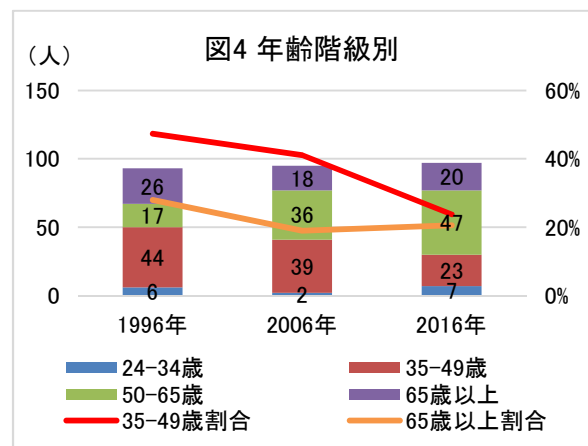
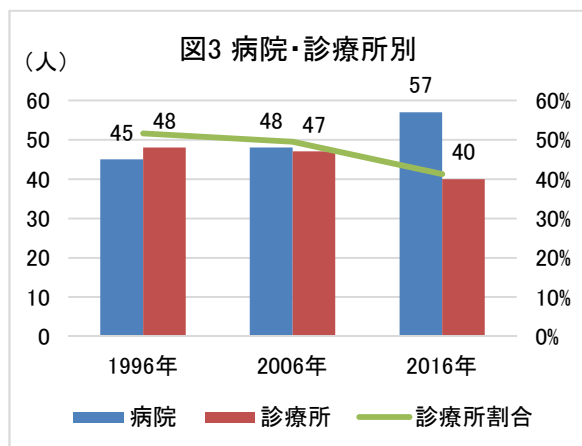
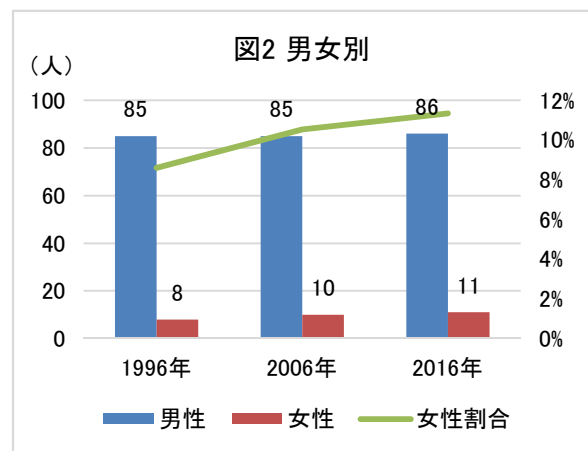
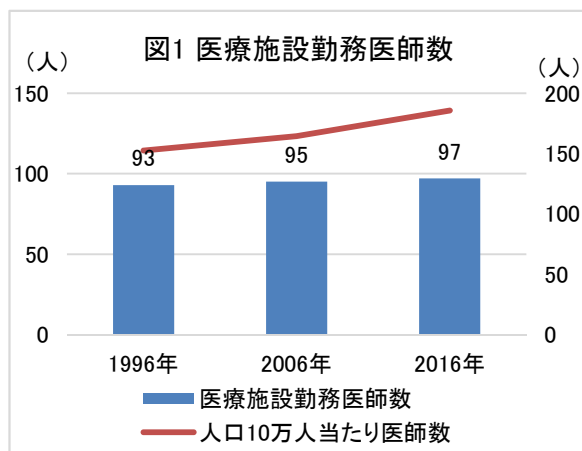
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて1人(1%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(38%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて12人(27%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に8人(-17%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は41%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は21人(-48%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(-23%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年28%、2016年21%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

鹿本医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	60,991	57,726	52,264	-8,727	-14%	-3,265	-5%	-5,462	-9%	
総医師数	97	101	101	4	4%	4	4%	0	0%	
人口10万対	159.0	175.0	193.2	34.2	22%	15.9	10%	18.3	10%	
医療施設勤務医師数	93	95	97	4	4%	2	2%	2	2%	
人口10万対	152.5	164.6	185.6	33.1	22%	12.1	8%	21.0	13%	
男性医師数	85	85	86	1	1%	0	0%	1	1%	
人口10万対	139.4	147.2	164.5	25.2	18%	7.9	6%	17.3	12%	
女性医師数	8	10	11	3	38%	2	25%	1	10%	
人口10万対	13.1	17.3	21.0	7.9	60%	4.2	32%	3.7	21%	
病院勤務医師数	45	48	57	12	27%	3	7%	9	19%	
人口10万対	73.8	83.2	109.1	35.3	48%	9.4	13%	25.9	31%	
診療所勤務医師数	48	47	40	-8	-17%	-1	-2%	-7	-15%	
人口10万対	78.7	81.4	76.5	-2.2	-3%	2.7	3%	-4.9	-6%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.8	54.0	56.0	3.2	6%	1.1	2%	2.1	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	6	2	7	1	17%	-4	-67%	5	250%
	35-49歳	44	39	23	-21	-48%	-5	-11%	-16	-41%
	50-64歳	17	36	47	30	176%	19	112%	11	31%
	65歳以上	26	18	20	-6	-23%	-8	-31%	2	11%
	75歳以上(再掲)	8	11	7	-1	-13%	3	38%	-4	-36%
男性	24-34歳	4	2	7	3	75%	-2	-50%	5	250%
	35-49歳	41	31	19	-22	-54%	-10	-24%	-12	-39%
	50-64歳	16	35	42	26	163%	19	119%	7	20%
	65歳以上	24	17	18	-6	-25%	-7	-29%	1	6%
	75歳以上(再掲)	7	10	7	0	0%	3	43%	-3	-30%
女性	24-34歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	35-49歳	3	8	4	1	33%	5	167%	-4	-50%
	50-64歳	1	1	5	4	400%	0	0%	4	400%
	65歳以上	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	6	2	7	1	17%	-4	-67%	5	250%
	35-49歳	27	28	17	-10	-37%	1	4%	-11	-39%
	50-64歳	6	16	28	22	367%	10	167%	12	75%
	65歳以上	6	2	5	-1	-17%	-4	-67%	3	150%
	75歳以上(再掲)	0	2	0	0		2		-2	-100%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	17	11	6	-11	-65%	-6	-35%	-5	-45%
	50-64歳	11	20	19	8	73%	9	82%	-1	-5%
	65歳以上	20	16	15	-5	-25%	-4	-20%	-1	-6%
	75歳以上(再掲)	8	9	7	-1	-13%	1	13%	-2	-22%
	85歳以上(再掲)	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%

鹿本医療圏

＜医師数の推移＞

鹿本医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、整形外科、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、耳鼻咽喉科、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	93	152.5	46	95	164.6	45	97	185.6	44	4	4%	33.1	22%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	49	80.3	52	44	76.2	49	49	93.8	51	0	0%	13.4	17%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	3	4.9	37	4	6.9	40	1	1.9	29	-2	-67%	-3.0	-61%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	8.2	50	6	10.4	51	7	13.4	52	2	40%	5.2	63%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	10	16.4	45	9	15.6	46	7	13.4	42	-3	-30%	-3.0	-18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	1	1.6	39	1	1.7	36	2	3.8	42	1	100%	2.2	133%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	7	11.5	47	10	17.3	55	11	21.0	58	4	57%	9.6	83%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	1.7	52	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	3.3	44	2	3.5	42	2	3.8	41	0	0%	0.5	17%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	3.3	38	3	5.2	39	4	7.7	43	2	100%	4.4	133%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	4.9	44	2	3.5	39	2	3.8	39	-1	-33%	-1.1	-22%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	3.3	46	2	3.5	44	3	5.7	51	1	50%	2.5	75%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	6.6	42	4	6.9	44	4	7.7	44	0	0%	1.1	17%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	1.6	62	2	3.5	67	2	3.8	62	1	100%	2.2	133%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	3.3	50	1	1.7	43	1	1.9	41	-1	-50%	-1.4	-42%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.6	43	1	1.7	41	1	1.9	38	0	0%	0.3	17%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	1.9	47	1	100%	1.9	100%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.6	44	3	5.2	50	0	0.0	37	-1	-100%	-1.6	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

鹿本医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は10,587人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は15人(15%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は269人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は45%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

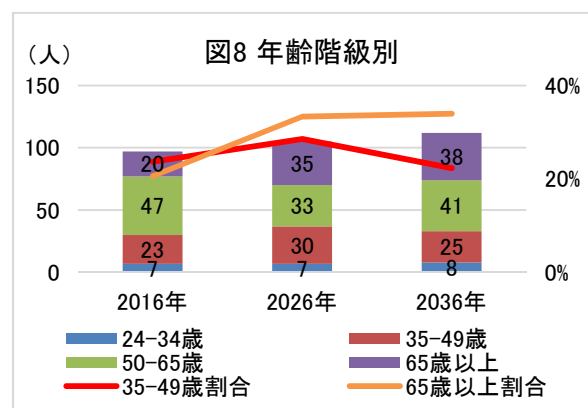
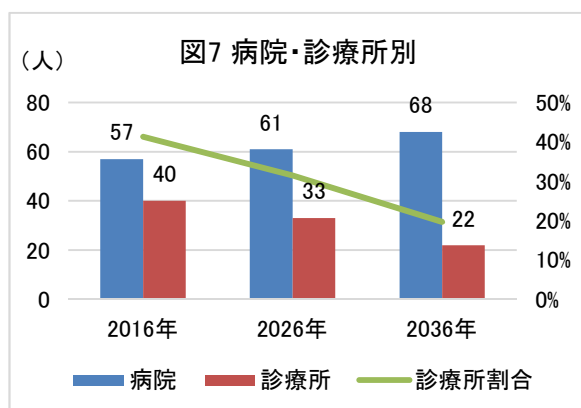
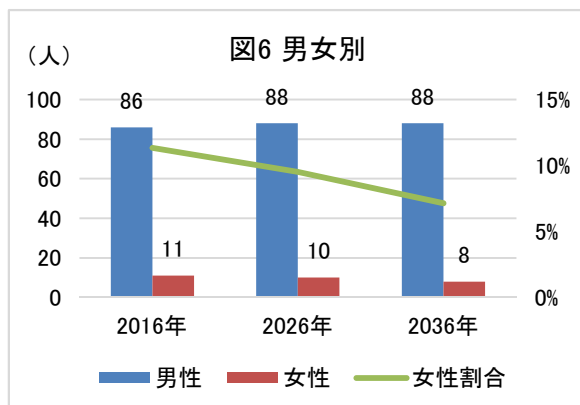
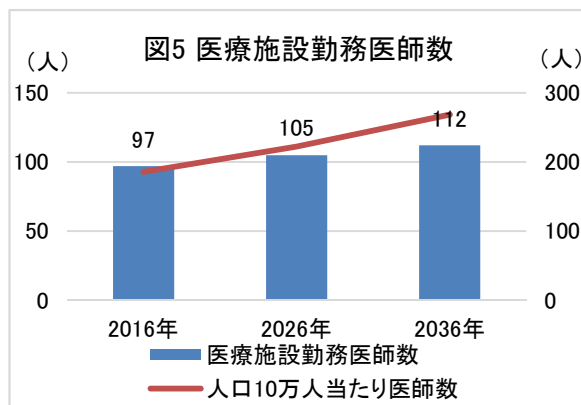
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて2人(2%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(-27%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は7%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて11人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に18人(-45%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は2人(9%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて18人(90%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年34%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



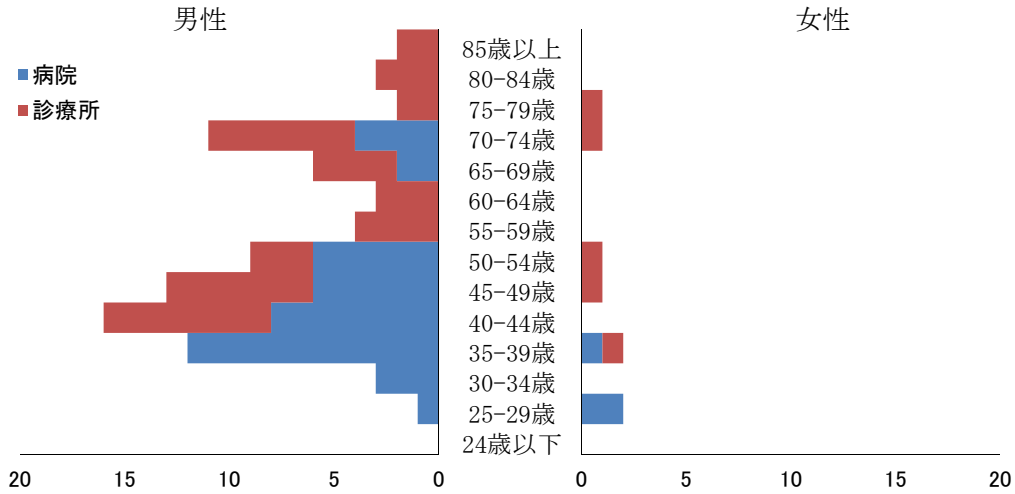
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

鹿本医療圏

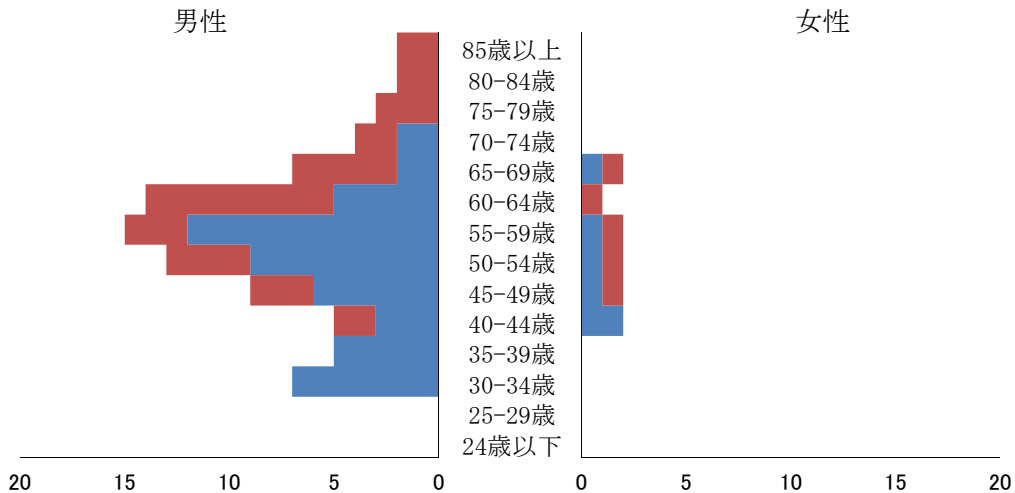
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

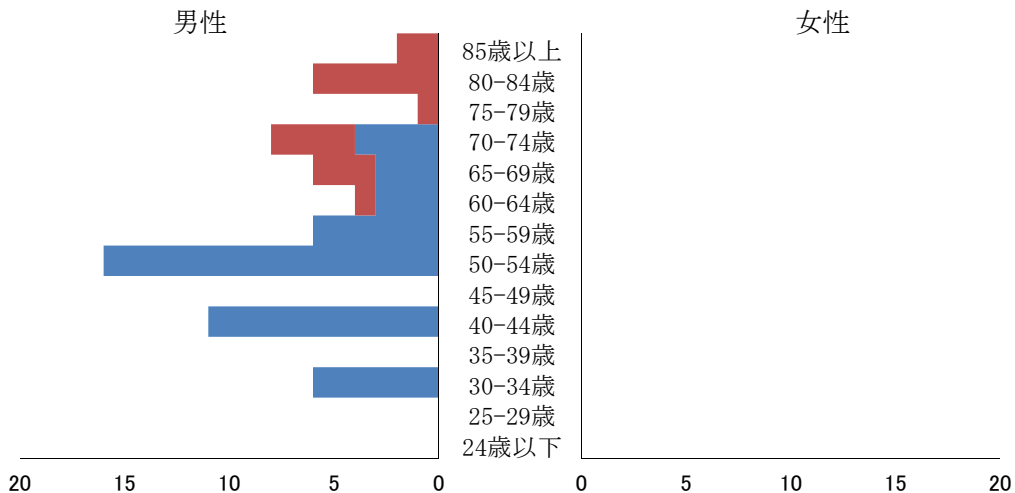
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

鹿本医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	52,264	47,216	41,677	-10,587	-20%	-5,048	-10%	-5,539	-12%	
医療施設勤務医師数	97	105	112	15	15%	8	8%	7	7%	
人口10万対	185.6	222.4	268.7	83.1	45%	36.8	20%	46.4	21%	
男性医師数	86	88	88	2	2%	2	2%	0	0%	
人口10万対	164.5	186.4	211.1	46.6	28%	21.8	13%	24.8	13%	
女性医師数	11	10	8	-3	-27%	-1	-9%	-2	-20%	
人口10万対	21.0	21.2	19.2	-1.9	-9%	0.1	1%	-2.0	-9%	
病院勤務医師数	57	61	68	11	19%	4	7%	7	11%	
人口10万対	109.1	129.2	163.2	54.1	50%	20.1	18%	34.0	26%	
診療所勤務医師数	40	33	22	-18	-45%	-7	-18%	-11	-33%	
人口10万対	76.5	69.9	52.8	-23.7	-31%	-6.6	-9%	-17.1	-24%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	7	7	8	1	14%	0	0%	1	14%
	35-49歳	23	30	25	2	9%	7	30%	-5	-17%
	50-64歳	47	33	41	-6	-13%	-14	-30%	8	24%
	65歳以上	20	35	38	18	90%	15	75%	3	9%
	75歳以上(再掲)	7	11	19	12	171%	4	57%	8	73%
男性	24-34歳	7	7	6	-1	-14%	0	0%	-1	-14%
	35-49歳	19	26	18	-1	-5%	7	37%	-8	-31%
	50-64歳	42	26	34	-8	-19%	-16	-38%	8	31%
	65歳以上	18	29	30	12	67%	11	61%	1	3%
	75歳以上(再掲)	7	9	16	9	129%	2	29%	7	78%
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	50-64歳	5	6	0	-5	-100%	1	20%	-6	-100%
	65歳以上	2	4	8	6	300%	2	100%	4	100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	7	7	8	1	14%	0	0%	1	14%
	35-49歳	17	22	18	1	6%	5	29%	-4	-18%
	50-64歳	28	21	33	5	18%	-7	-25%	12	57%
	65歳以上	5	11	9	4	80%	6	120%	-2	-18%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	6	0	0	-6	-100%	-6	-100%	0	
	50-64歳	19	12	2	-17	-89%	-7	-37%	-10	-83%
	65歳以上	15	21	20	5	33%	6	40%	-1	-5%
	75歳以上(再掲)	7	8	11	4	57%	1	14%	3	38%
	85歳以上(再掲)	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

菊池医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は28,854人(19%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は67人(26%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は178人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は6%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

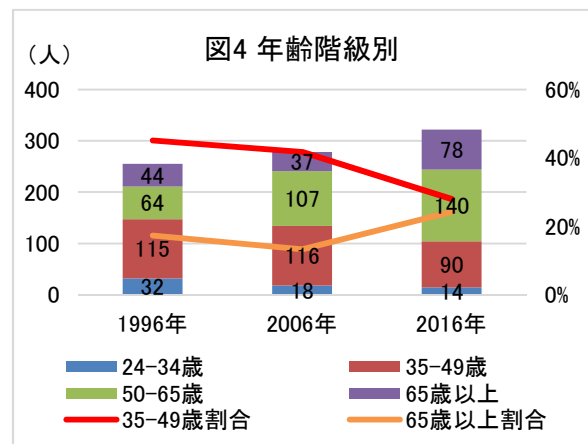
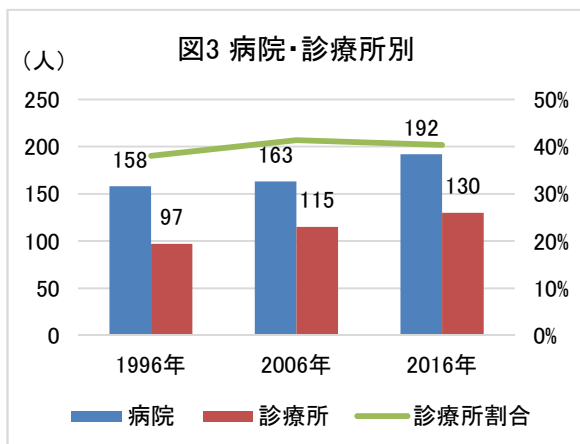
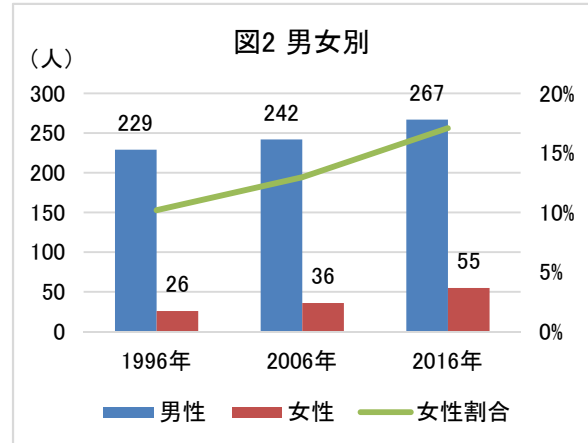
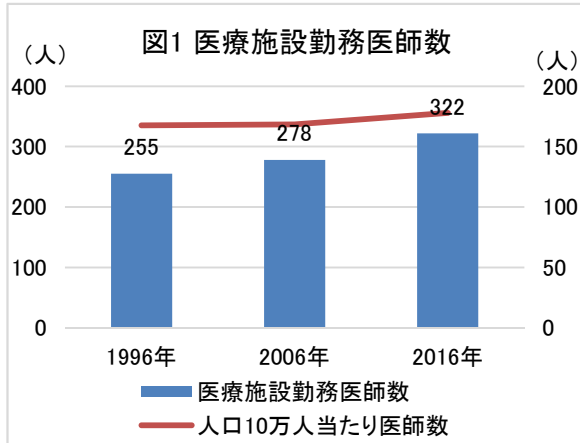
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて38人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に29人(112%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて34人(22%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に33人(34%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は40%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は25人(-22%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて34人(77%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年24%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

菊池医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	152,119	165,050	180,973	28,854	19%	12,931	9%	15,923	10%	
総医師数	260	289	337	77	30%	29	11%	48	17%	
人口10万対	170.9	175.1	186.2	15.3	9%	4.2	2%	11.1	6%	
医療施設勤務医師数	255	278	322	67	26%	23	9%	44	16%	
人口10万対	167.6	168.4	177.9	10.3	6%	0.8	0%	9.5	6%	
男性医師数	229	242	267	38	17%	13	6%	25	10%	
人口10万対	150.5	146.6	147.5	-3.0	-2%	-3.9	-3%	0.9	1%	
女性医師数	26	36	55	29	112%	10	38%	19	53%	
人口10万対	17.1	21.8	30.4	13.3	78%	4.7	28%	8.6	39%	
病院勤務医師数	158	163	192	34	22%	5	3%	29	18%	
人口10万対	103.9	98.8	106.1	2.2	2%	-5.1	-5%	7.3	7%	
診療所勤務医師数	97	115	130	33	34%	18	19%	15	13%	
人口10万対	63.8	69.7	71.8	8.1	13%	5.9	9%	2.2	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.1	51.9	55.9	5.7	11%	1.7	3%	4.0	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	32	18	14	-18	-56%	-14	-44%	-4	-22%
	35-49歳	115	116	90	-25	-22%	1	1%	-26	-22%
	50-64歳	64	107	140	76	119%	43	67%	33	31%
	65歳以上	44	37	78	34	77%	-7	-16%	41	111%
	75歳以上(再掲)	17	13	22	5	29%	-4	-24%	9	69%
男性	24-34歳	26	11	8	-18	-69%	-15	-58%	-3	-27%
	35-49歳	102	100	66	-36	-35%	-2	-2%	-34	-34%
	50-64歳	60	96	119	59	98%	36	60%	23	24%
	65歳以上	41	35	74	33	80%	-6	-15%	39	111%
	75歳以上(再掲)	14	13	21	7	50%	-1	-7%	8	62%
女性	24-34歳	6	7	6	0	0%	1	17%	-1	-14%
	35-49歳	13	16	24	11	85%	3	23%	8	50%
	50-64歳	4	11	21	17	425%	7	175%	10	91%
	65歳以上	3	2	4	1	33%	-1	-33%	2	100%
	75歳以上(再掲)	3	0	1	-2	-67%	-3	-100%	1	
病院	24-34歳	30	16	14	-16	-53%	-14	-47%	-2	-13%
	35-49歳	77	77	72	-5	-6%	0	0%	-5	-6%
	50-64歳	33	54	69	36	109%	21	64%	15	28%
	65歳以上	18	16	37	19	106%	-2	-11%	21	131%
	75歳以上(再掲)	11	5	10	-1	-9%	-6	-55%	5	100%
診療所	24-34歳	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
	35-49歳	38	39	18	-20	-53%	1	3%	-21	-54%
	50-64歳	31	53	71	40	129%	22	71%	18	34%
	65歳以上	26	21	41	15	58%	-5	-19%	20	95%
	75歳以上(再掲)	6	8	12	6	100%	2	33%	4	50%
	85歳以上(再掲)	0	0	2	2		0		2	

菊池医療圏

＜医師数の推移＞

菊池医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、内科(総数)、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、形成外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	255	167.6	48	278	168.4	45	322	177.9	43	67	26%	10.3	6%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	114	74.9	50	122	73.9	48	133	73.5	45	19	17%	-1.4	-2%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	14	9.2	46	12	7.3	40	20	11.1	46	6	43%	1.8	20%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	30	19.7	79	26	15.8	63	34	18.8	62	4	13%	-0.9	-5%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	25	16.4	45	19	11.5	40	19	10.5	39	-6	-24%	-5.9	-36%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	1.3	37	4	2.4	39	5	2.8	38	3	150%	1.4	110%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	25	16.4	57	28	17.0	55	35	19.3	55	10	40%	2.9	18%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.7	47	2	1.2	48	4	2.2	51	3	300%	1.6	236%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	5.3	50	10	6.1	50	10	5.5	45	2	25%	0.3	5%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	5.9	44	12	7.3	44	15	8.3	45	6	67%	2.4	40%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	4.6	43	8	4.8	43	10	5.5	44	3	43%	0.9	20%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	1.3	38	4	2.4	39	5	2.8	39	3	150%	1.4	110%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	5.9	41	9	5.5	40	9	5.0	38	0	0%	-0.9	-16%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	5	3.3	84	7	4.2	73	8	4.4	66	3	60%	1.1	34%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.3	43	4	2.4	45	5	2.8	43	3	150%	1.4	110%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.3	42	4	2.4	43	7	3.9	43	5	250%	2.6	194%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	1.2	38	1	0.6	36	1	-50%	-0.7	-54%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	5	3.0	46	2	1.1	39	2	1.1	1.1	

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

菊池医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は3,866人(-2%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は9人(3%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は187人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は5%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

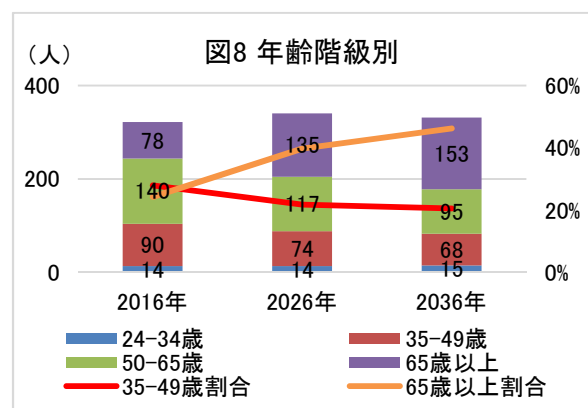
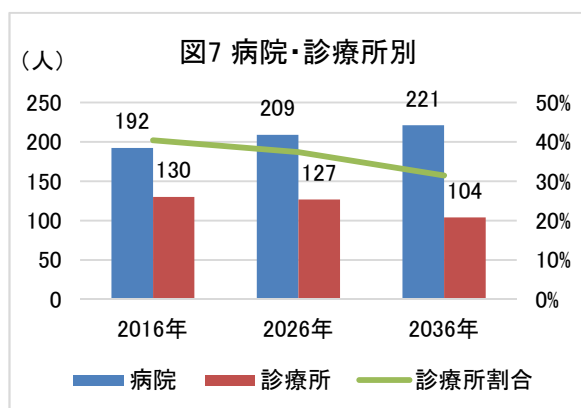
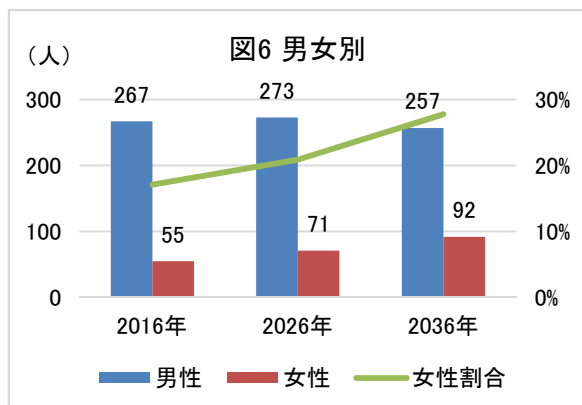
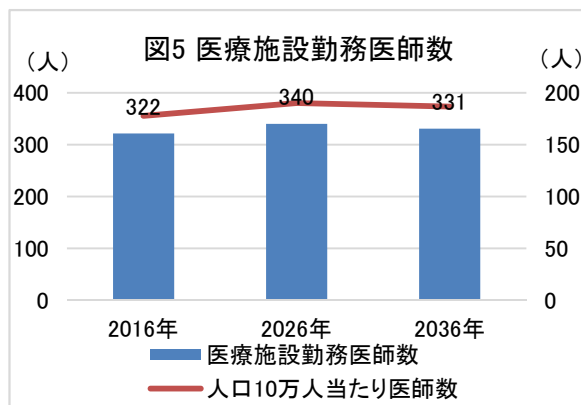
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて10人(-4%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に37人(67%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は28%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて29人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に26人(-20%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は31%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は22人(-24%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて75人(96%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年24%、2036年46%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



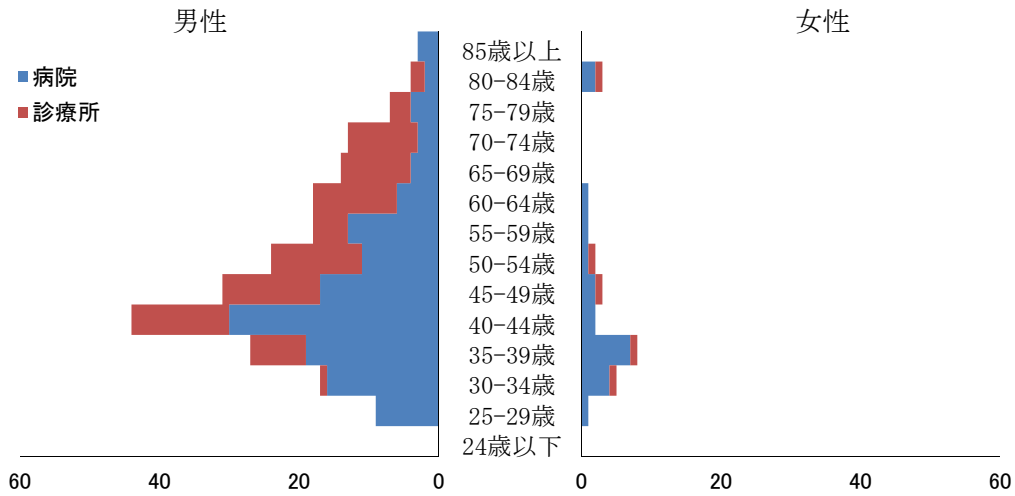
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

菊池医療圏

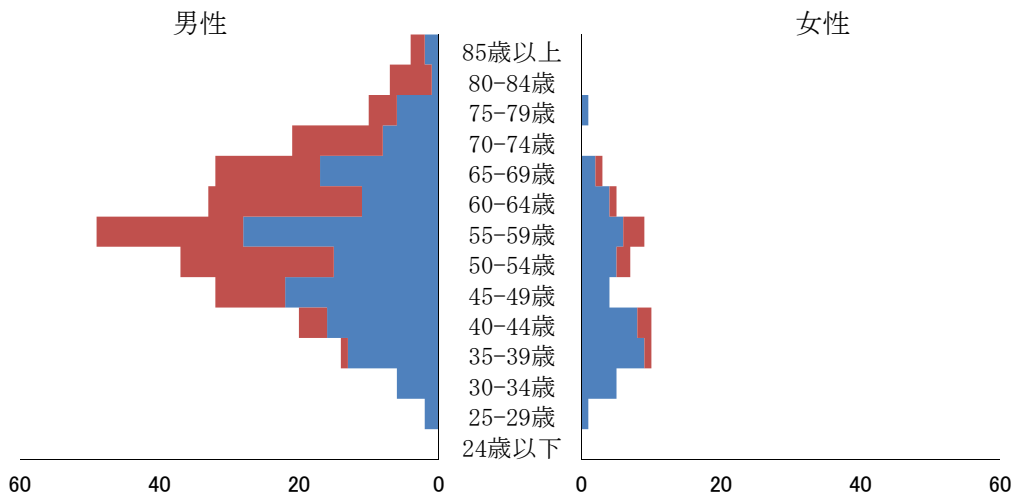
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

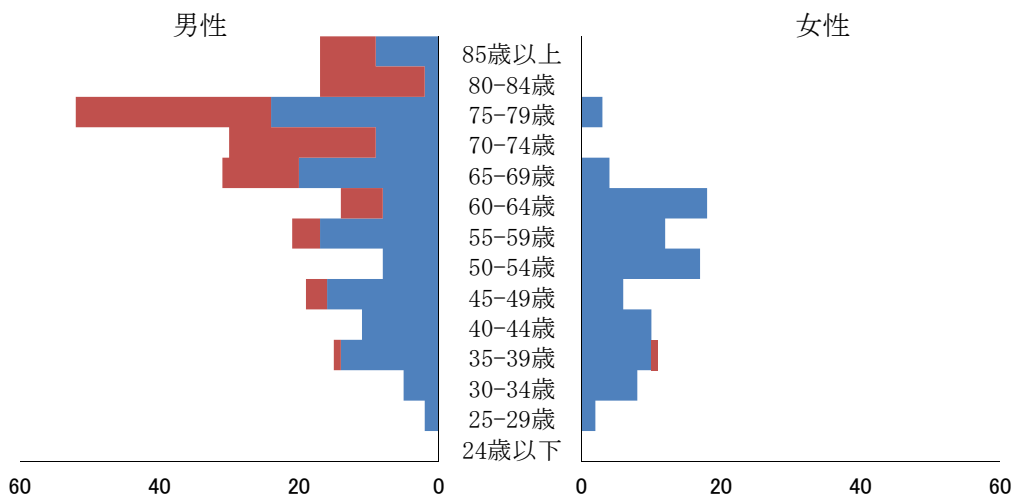
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

菊池医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	180,973	178,831	177,107	-3,866	-2%	-2,142	-1%	-1,724	-1%	
医療施設勤務医師数	322	340	331	9	3%	18	6%	-9	-3%	
人口10万対	177.9	190.1	186.9	9.0	5%	12.2	7%	-3.2	-2%	
男性医師数	267	273	257	-10	-4%	6	2%	-16	-6%	
人口10万対	147.5	152.7	145.1	-2.4	-2%	5.1	3%	-7.5	-5%	
女性医師数	55	71	92	37	67%	16	29%	21	30%	
人口10万対	30.4	39.7	51.9	21.6	71%	9.3	31%	12.2	31%	
病院勤務医師数	192	209	221	29	15%	17	9%	12	6%	
人口10万対	106.1	116.9	124.8	18.7	18%	10.8	10%	7.9	7%	
診療所勤務医師数	130	127	104	-26	-20%	-3	-2%	-23	-18%	
人口10万対	71.8	71.0	58.7	-13.1	-18%	-0.8	-1%	-12.3	-17%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	90	74	68	-22	-24%	-16	-18%	-6	-8%
	50-64歳	140	117	95	-45	-32%	-23	-16%	-22	-19%
	65歳以上	78	135	153	75	96%	57	73%	18	13%
	75歳以上(再掲)	22	53	84	62	282%	31	141%	31	58%
男性	24-34歳	8	8	7	-1	-13%	0	0%	-1	-13%
	35-49歳	66	48	50	-16	-24%	-18	-27%	2	4%
	50-64歳	119	89	57	-62	-52%	-30	-25%	-32	-36%
	65歳以上	74	128	143	69	93%	54	73%	15	12%
	75歳以上(再掲)	21	53	82	61	290%	32	152%	29	55%
女性	24-34歳	6	6	10	4	67%	0	0%	4	67%
	35-49歳	24	22	18	-6	-25%	-2	-8%	-4	-18%
	50-64歳	21	36	57	36	171%	15	71%	21	58%
	65歳以上	4	7	7	3	75%	3	75%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	2	3	2	200%	1	100%	1	50%
病院	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	72	66	69	-3	-4%	-6	-8%	3	5%
	50-64歳	69	67	62	-7	-10%	-2	-3%	-5	-7%
	65歳以上	37	62	75	38	103%	25	68%	13	21%
	75歳以上(再掲)	10	25	40	30	300%	15	150%	15	60%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	18	9	9	-9	-50%	-9	-50%	0	0%
	50-64歳	71	45	17	-54	-76%	-26	-37%	-28	-62%
	65歳以上	41	73	78	37	90%	32	78%	5	7%
	75歳以上(再掲)	12	28	45	33	275%	16	133%	17	61%
	85歳以上(再掲)	2	3	7	5	250%	1	50%	4	133%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

阿蘇医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は8,798人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(9%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は134人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

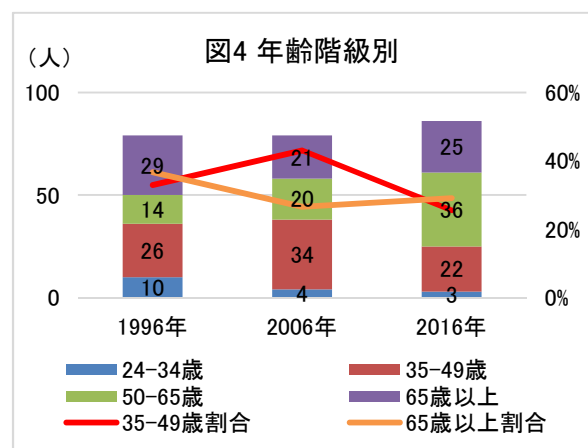
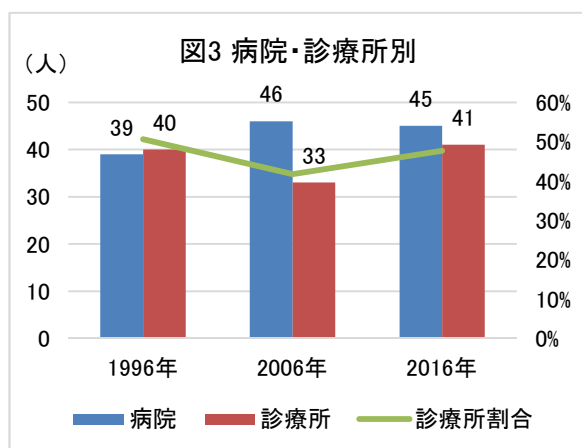
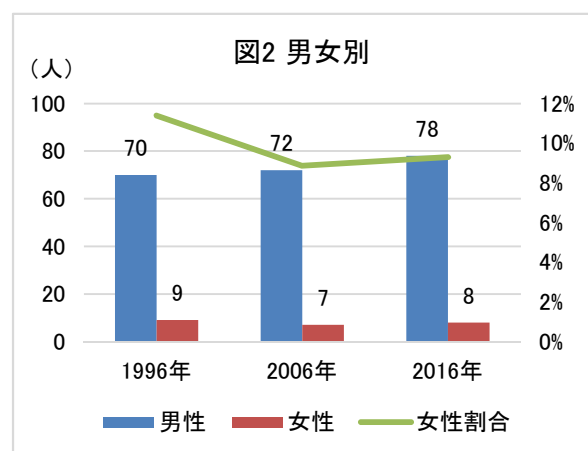
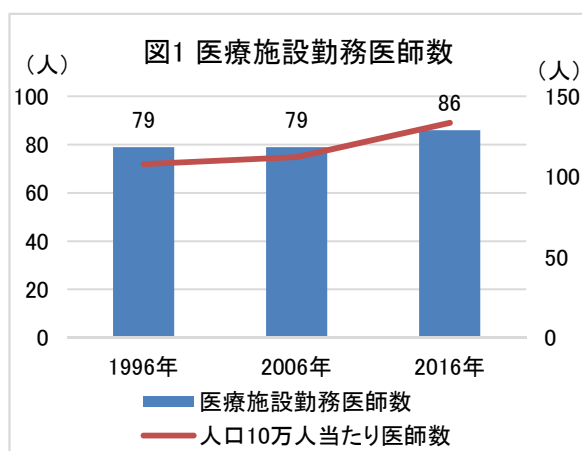
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて8人(11%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-11%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は9%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて6人(15%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に1人(2%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は48%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(-15%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて4人(-14%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年37%、2016年29%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

阿蘇医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	73,191	70,339	64,393	-8,798	-12%	-2,852	-4%	-5,946	-8%	
総医師数	81	80	89	8	10%	-1	-1%	9	11%	
人口10万対	110.7	113.7	138.2	27.5	25%	3.1	3%	24.5	22%	
医療施設勤務医師数	79	79	86	7	9%	0	0%	7	9%	
人口10万対	107.9	112.3	133.6	25.6	24%	4.4	4%	21.2	19%	
男性医師数	70	72	78	8	11%	2	3%	6	8%	
人口10万対	95.6	102.4	121.1	25.5	27%	6.7	7%	18.8	18%	
女性医師数	9	7	8	-1	-11%	-2	-22%	1	14%	
人口10万対	12.3	10.0	12.4	0.1	1%	-2.3	-19%	2.5	25%	
病院勤務医師数	39	46	45	6	15%	7	18%	-1	-2%	
人口10万対	53.3	65.4	69.9	16.6	31%	12.1	23%	4.5	7%	
診療所勤務医師数	40	33	41	1	2%	-7	-18%	8	24%	
人口10万対	54.7	46.9	63.7	9.0	17%	-7.7	-14%	16.8	36%	
医療施設勤務医 平均年齢	54.2	54.3	58.1	4.0	7%	0.1	0%	3.8	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	10	4	3	-7	-70%	-6	-60%	-1	-25%
	35-49歳	26	34	22	-4	-15%	8	31%	-12	-35%
	50-64歳	14	20	36	22	157%	6	43%	16	80%
	65歳以上	29	21	25	-4	-14%	-8	-28%	4	19%
	75歳以上(再掲)	6	14	10	4	67%	8	133%	-4	-29%
男性	24-34歳	9	3	2	-7	-78%	-6	-67%	-1	-33%
	35-49歳	21	32	19	-2	-10%	11	52%	-13	-41%
	50-64歳	14	18	33	19	136%	4	29%	15	83%
	65歳以上	26	19	24	-2	-8%	-7	-27%	5	26%
	75歳以上(再掲)	4	12	10	6	150%	8	200%	-2	-17%
女性	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	5	2	3	-2	-40%	-3	-60%	1	50%
	50-64歳	0	2	3	3		2		1	50%
	65歳以上	3	2	1	-2	-67%	-1	-33%	-1	-50%
	75歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
病院	24-34歳	9	3	3	-6	-67%	-6	-67%	0	0%
	35-49歳	17	27	13	-4	-24%	10	59%	-14	-52%
	50-64歳	6	7	19	13	217%	1	17%	12	171%
	65歳以上	7	9	10	3	43%	2	29%	1	11%
	75歳以上(再掲)	1	6	5	4	400%	5	500%	-1	-17%
診療所	24-34歳	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	35-49歳	9	7	9	0	0%	-2	-22%	2	29%
	50-64歳	8	13	17	9	113%	5	63%	4	31%
	65歳以上	22	12	15	-7	-32%	-10	-45%	3	25%
	75歳以上(再掲)	5	8	5	0	0%	3	60%	-3	-38%
	85歳以上(再掲)	0	2	2	2		2		0	0%

阿蘇医療圏

＜医師数の推移＞

阿蘇医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、精神科、眼科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	79	107.9	41	79	112.3	38	86	133.6	38	7	9%	25.6	24%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	37	50.6	43	42	59.7	43	47	73.0	45	10	27%	22.4	44%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	2	2.7	32	2	2.8	31	3	4.7	34	1	50%	1.9	70%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	6.8	47	10	14.2	60	8	12.4	50	3	60%	5.6	82%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	15	20.5	50	6	8.5	36	8	12.4	41	-7	-47%	-8.1	-39%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.7	43	1	1.4	35	1	1.6	34	-1	-50%	-1.2	-43%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	13.7	51	8	11.4	43	8	12.4	42	-2	-20%	-1.2	-9%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	1.4	38	1	1.4	35	1	1.6	35	0	0%	0.2	14%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	2.7	37	3	4.3	37	4	6.2	40	2	100%	3.5	127%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	1.4	34	1	1.4	33	0	0.0	27	-1	-100%	-1.4	-100%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	1.4	38	1	1.4	35	2	3.1	40	1	100%	1.7	127%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	2	2.7	33	2	2.8	34	2	3.1	34	0	0%	0.4	14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	1	1.4	40	1	1.6	37	1	0%	1.6	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.4	43	1	1.4	43	1	1.6	40	0	0%	0.2	14%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

阿蘇医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は11,968人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は45人(52%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は250人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は87%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

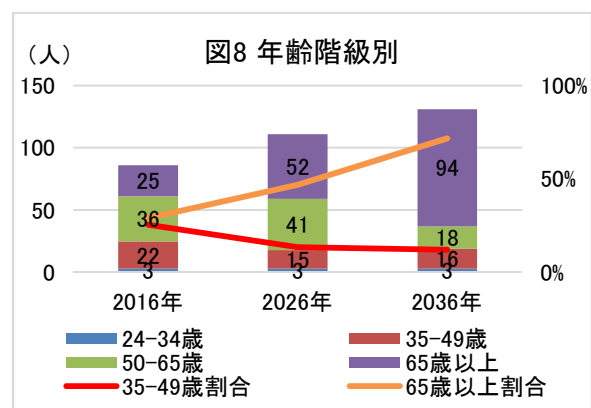
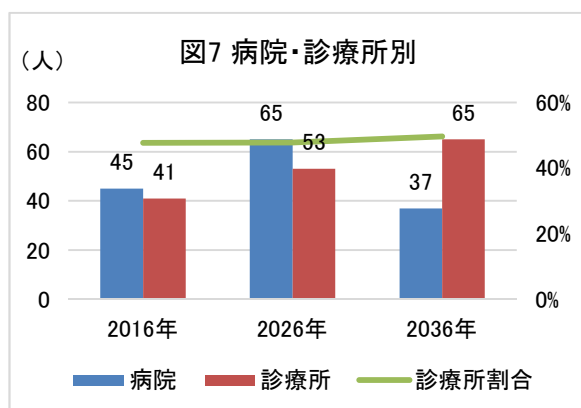
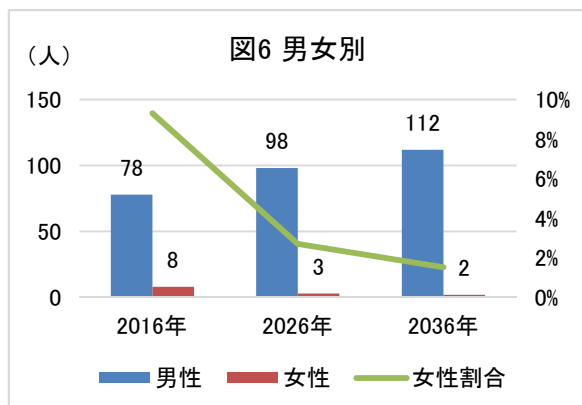
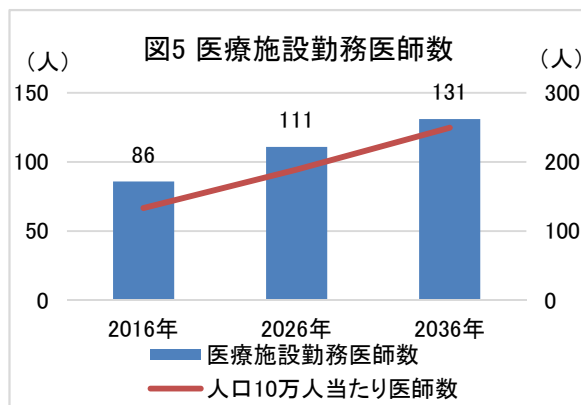
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて34人(44%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-75%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は2%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて8人(-18%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に24人(59%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は50%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は6人(-27%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて69人(276%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年29%、2036年72%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



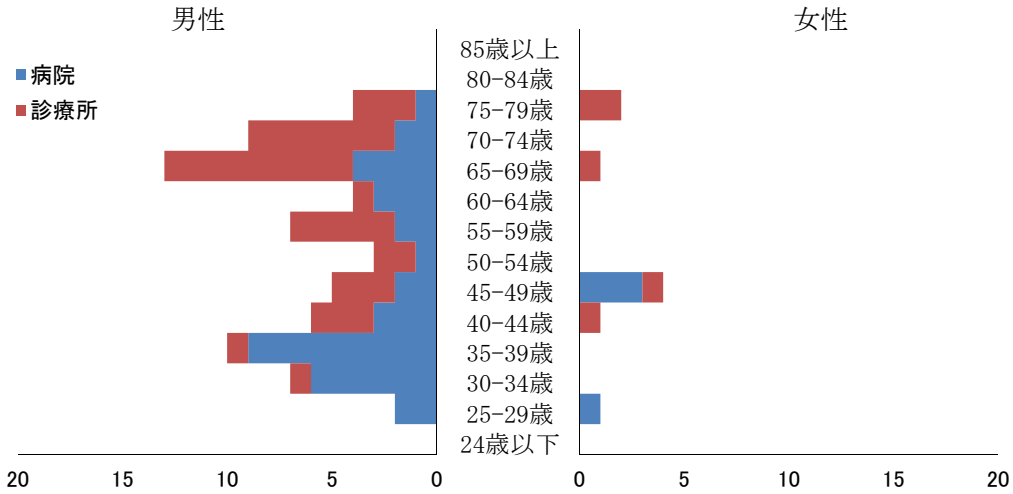
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

阿蘇医療圏

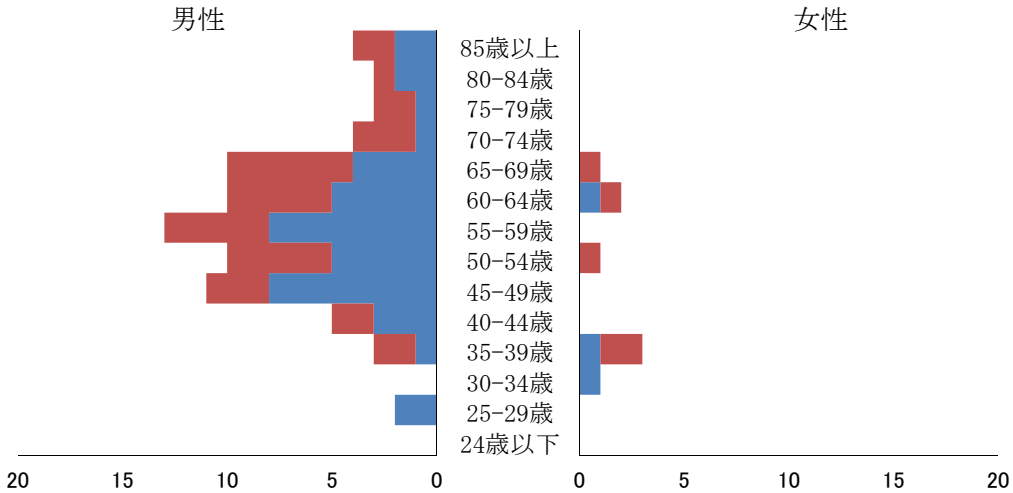
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

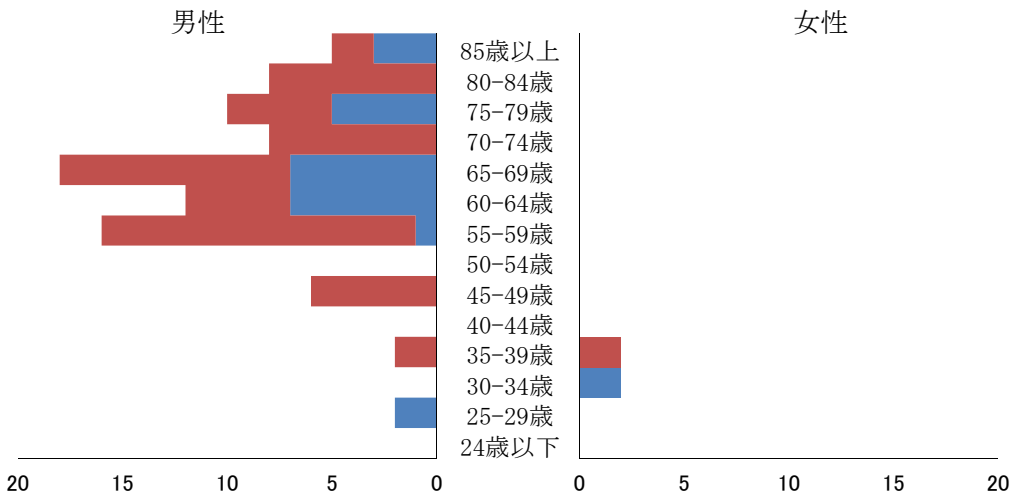
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

阿蘇医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	64,393	58,808	52,425	-11,968	-19%	-5,585	-9%	-6,383	-11%	
医療施設勤務医師数	86	111	131	45	52%	25	29%	20	18%	
人口10万対	133.6	188.7	249.9	116.3	87%	55.2	41%	61.1	32%	
男性医師数	78	98	112	34	44%	20	26%	14	14%	
人口10万対	121.1	166.6	213.6	92.5	76%	45.5	38%	47.0	28%	
女性医師数	8	3	2	-6	-75%	-5	-63%	-1	-33%	
人口10万対	12.4	5.1	3.8	-8.6	-69%	-7.3	-59%	-1.3	-25%	
病院勤務医師数	45	65	37	-8	-18%	20	44%	-28	-43%	
人口10万対	69.9	110.5	70.6	0.7	1%	40.6	58%	-40.0	-36%	
診療所勤務医師数	41	53	65	24	59%	12	29%	12	23%	
人口10万対	63.7	90.1	124.0	60.3	95%	26.5	42%	33.9	38%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	22	15	16	-6	-27%	-7	-32%	1	7%
	50-64歳	36	41	18	-18	-50%	5	14%	-23	-56%
	65歳以上	25	52	94	69	276%	27	108%	42	81%
	75歳以上(再掲)	10	15	38	28	280%	5	50%	23	153%
男性	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	19	9	13	-6	-32%	-10	-53%	4	44%
	50-64歳	33	39	11	-22	-67%	6	18%	-28	-72%
	65歳以上	24	48	86	62	258%	24	100%	38	79%
	75歳以上(再掲)	10	15	35	25	250%	5	50%	20	133%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	50-64歳	3	2	0	-3	-100%	-1	-33%	-2	-100%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	13	8	9	-4	-31%	-5	-38%	1	13%
	50-64歳	19	42	11	-8	-42%	23	121%	-31	-74%
	65歳以上	10	12	14	4	40%	2	20%	2	17%
	75歳以上(再掲)	5	7	7	2	40%	2	40%	0	0%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	9	10	10	1	11%	1	11%	0	0%
	50-64歳	17	18	19	2	12%	1	6%	1	6%
	65歳以上	15	25	36	21	140%	10	67%	11	44%
	75歳以上(再掲)	5	9	16	11	220%	4	80%	7	78%
	85歳以上(再掲)	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

上益城医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は5,199人(-6%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は11人(11%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は134人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

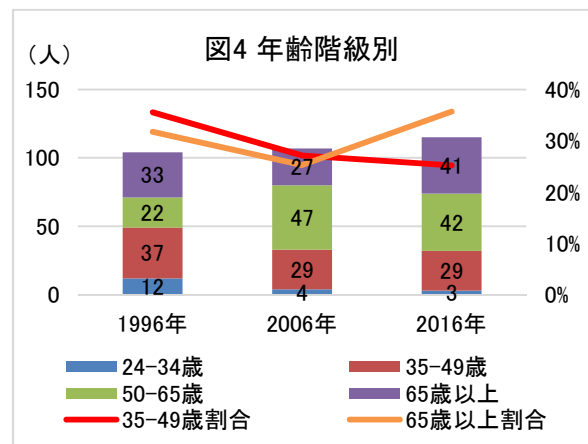
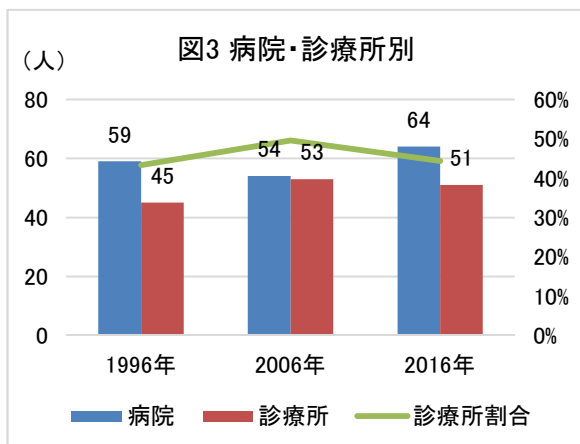
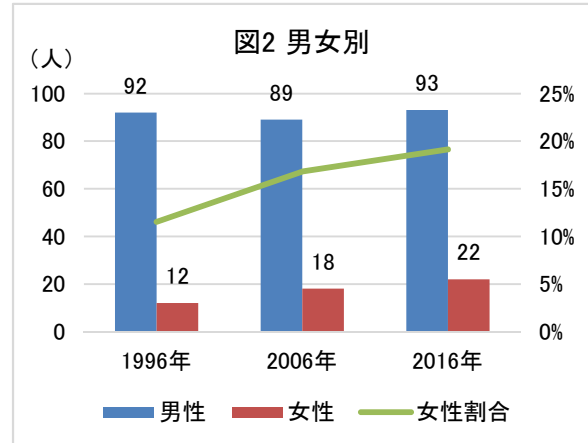
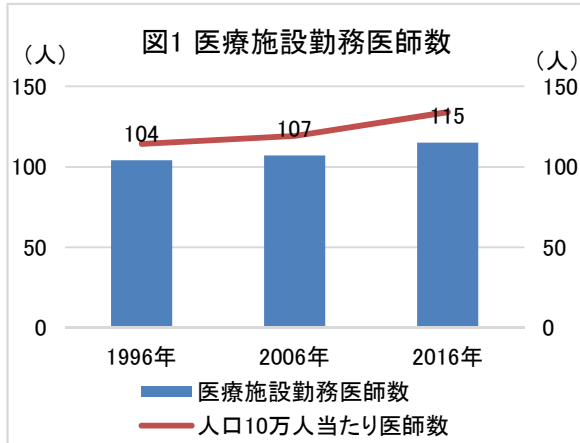
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて1人(1%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に10人(83%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて5人(8%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に6人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は44%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は8人(-22%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて8人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年32%、2016年36%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

上益城医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	90,967	89,755	85,768	-5,199	-6%	-1,212	-1%	-3,987	-4%	
総医師数	113	108	122	9	8%	-5	-4%	14	13%	
人口10万対	124.2	120.3	142.2	18.0	15%	-3.9	-3%	21.9	18%	
医療施設勤務医師数	104	107	115	11	11%	3	3%	8	7%	
人口10万対	114.3	119.2	134.1	19.8	17%	4.9	4%	14.9	12%	
男性医師数	92	89	93	1	1%	-3	-3%	4	4%	
人口10万対	101.1	99.2	108.4	7.3	7%	-2.0	-2%	9.3	9%	
女性医師数	12	18	22	10	83%	6	50%	4	22%	
人口10万対	13.2	20.1	25.7	12.5	94%	6.9	52%	5.6	28%	
病院勤務医師数	59	54	64	5	8%	-5	-8%	10	19%	
人口10万対	64.9	60.2	74.6	9.8	15%	-4.7	-7%	14.5	24%	
診療所勤務医師数	45	53	51	6	13%	8	18%	-2	-4%	
人口10万対	49.5	59.0	59.5	10.0	20%	9.6	19%	0.4	1%	
医療施設勤務医 平均年齢	54.8	56.1	59.3	4.5	8%	1.3	2%	3.2	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	12	4	3	-9	-75%	-8	-67%	-1	-25%
	35-49歳	37	29	29	-8	-22%	-8	-22%	0	0%
	50-64歳	22	47	42	20	91%	25	114%	-5	-11%
	65歳以上	33	27	41	8	24%	-6	-18%	14	52%
	75歳以上(再掲)	11	13	16	5	45%	2	18%	3	23%
男性	24-34歳	11	2	1	-10	-91%	-9	-82%	-1	-50%
	35-49歳	29	22	19	-10	-34%	-7	-24%	-3	-14%
	50-64歳	20	38	36	16	80%	18	90%	-2	-5%
	65歳以上	32	27	37	5	16%	-5	-16%	10	37%
	75歳以上(再掲)	11	13	16	5	45%	2	18%	3	23%
女性	24-34歳	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
	35-49歳	8	7	10	2	25%	-1	-13%	3	43%
	50-64歳	2	9	6	4	200%	7	350%	-3	-33%
	65歳以上	1	0	4	3	300%	-1	-100%	4	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	11	3	3	-8	-73%	-8	-73%	0	0%
	35-49歳	20	17	21	1	5%	-3	-15%	4	24%
	50-64歳	8	22	20	12	150%	14	175%	-2	-9%
	65歳以上	20	12	20	0	0%	-8	-40%	8	67%
	75歳以上(再掲)	6	7	10	4	67%	1	17%	3	43%
診療所	24-34歳	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	35-49歳	17	12	8	-9	-53%	-5	-29%	-4	-33%
	50-64歳	14	25	22	8	57%	11	79%	-3	-12%
	65歳以上	13	15	21	8	62%	2	15%	6	40%
	75歳以上(再掲)	5	6	6	1	20%	1	20%	0	0%
	85歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%

上益城医療圏

＜医師数の推移＞

上益城医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、小児外科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	104	114.3	42	107	119.2	39	115	134.1	38	11	11%	19.8	17%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	42	46.2	41	56	62.4	44	48	56.0	39	6	14%	9.8	21%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	6.6	40	3	3.3	32	8	9.3	43	2	33%	2.7	41%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	10	11.0	57	11	12.3	55	16	18.7	62	6	60%	7.7	70%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	19	20.9	50	6	6.7	33	8	9.3	37	-11	-58%	-11.6	-55%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	1.1	60	0	0.0	41	0	0.0	41	-1	-100%	-1.1	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	1	1.1	34	1	1.2	32	1	100%	1.2	100%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	7	7.7	39	12	13.4	47	16	18.7	54	9	129%	11.0	142%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.2	41	1	1.1	34	3	3.5	40	1	50%	1.3	59%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	3	3.3	38	7	7.8	45	7	8.2	45	4	133%	4.9	147%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	1.1	33	2	2.2	35	3	3.5	38	2	200%	2.4	218%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	0	0.0	32	0	0.0	29	1	1.2	33	1	100%	1.2	100%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	3	3.3	35	2	2.2	32	2	2.3	33	-1	-33%	-1.0	-29%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.1	47	1	1.2	45	1	100%	1.2	100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	1.1	43	0	0.0	37	0	0.0	36	-1	-100%	-1.1	-100%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.1	41	0	0.0	36	1	1.2	37	0	0%	0.1	6%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	8	8.8	60	5	5.6	51	0	0.0	37	-8	-100%	-8.8	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

上益城医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は14,902人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は14人(-12%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は143人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は6%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

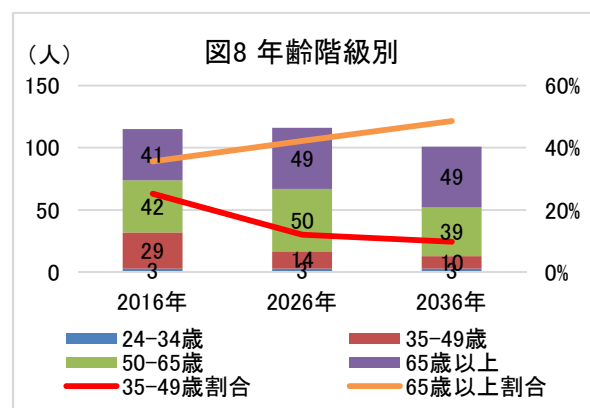
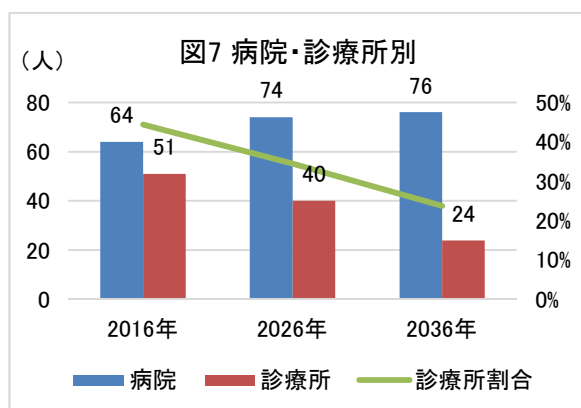
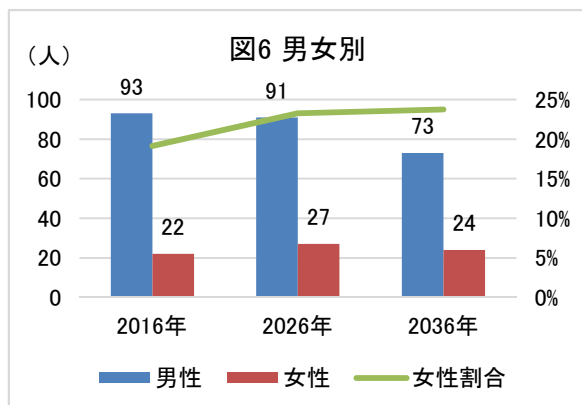
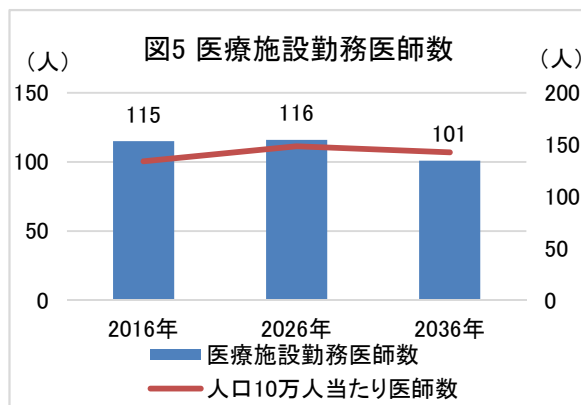
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて20人(-22%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(9%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は24%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて12人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に27人(-53%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は19人(-66%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて8人(20%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年36%、2036年49%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



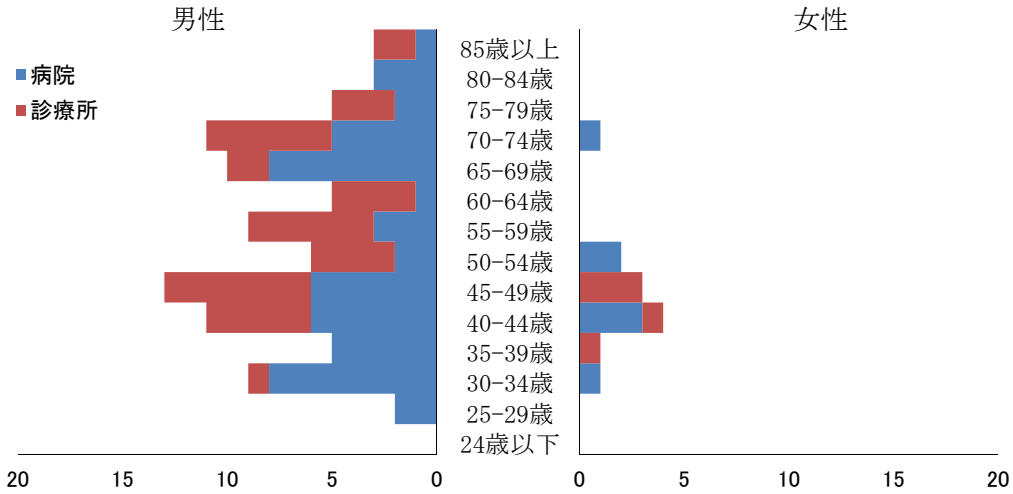
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

上益城医療圏

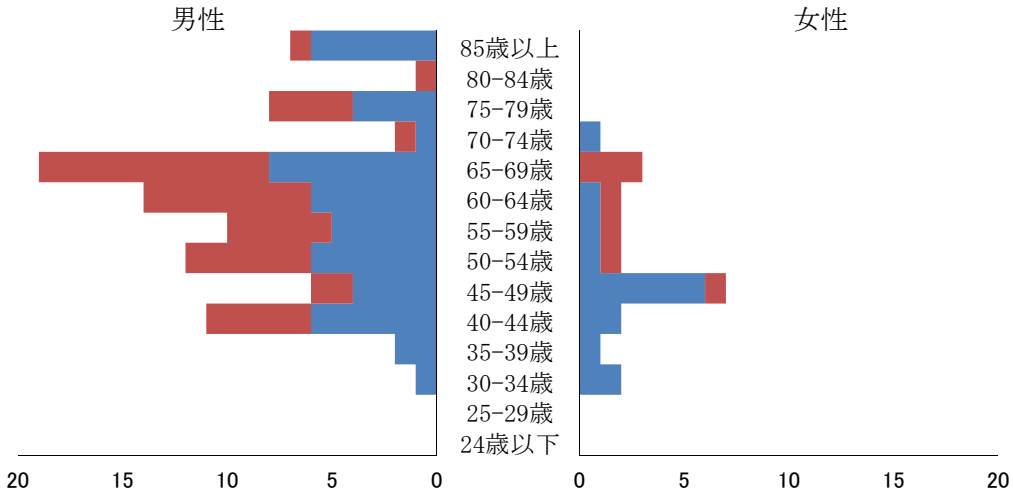
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

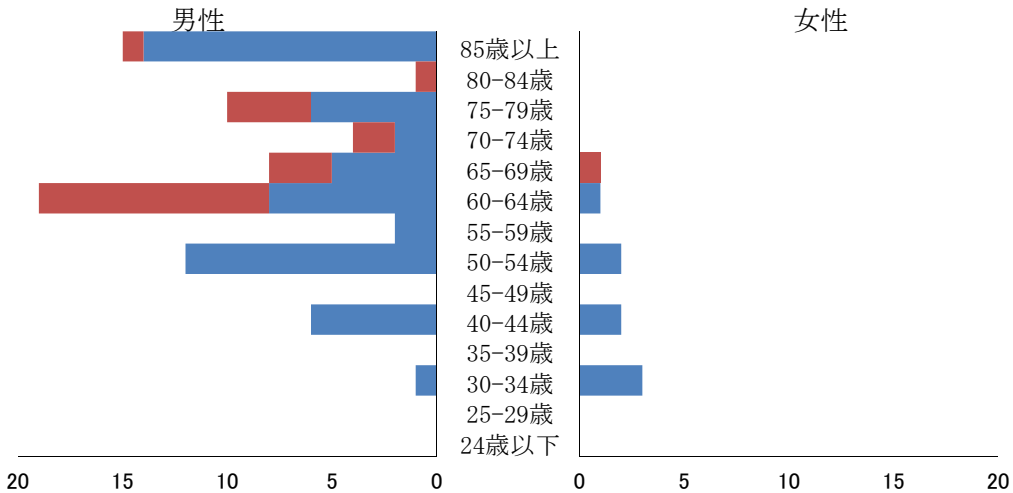
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

上益城医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	85,768	78,026	70,866	-14,902	-17%	-7,742	-9%	-7,160	-9%	
医療施設勤務医師数	115	116	101	-14	-12%	1	1%	-15	-13%	
人口10万対	134.1	148.7	142.5	8.4	6%	14.6	11%	-6.1	-4%	
男性医師数	93	91	73	-20	-22%	-2	-2%	-18	-20%	
人口10万対	108.4	116.6	103.0	-5.4	-5%	8.2	8%	-13.6	-12%	
女性医師数	22	27	24	2	9%	5	23%	-3	-11%	
人口10万対	25.7	34.6	33.9	8.2	32%	9.0	35%	-0.7	-2%	
病院勤務医師数	64	74	76	12	19%	10	16%	2	3%	
人口10万対	74.6	94.8	107.2	32.6	44%	20.2	27%	12.4	13%	
診療所勤務医師数	51	40	24	-27	-53%	-11	-22%	-16	-40%	
人口10万対	59.5	51.3	33.9	-25.6	-43%	-8.2	-14%	-17.4	-34%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	29	14	10	-19	-66%	-15	-52%	-4	-29%
	50-64歳	42	50	39	-3	-7%	8	19%	-11	-22%
	65歳以上	41	49	49	8	20%	8	20%	0	0%
	75歳以上(再掲)	16	28	27	11	69%	12	75%	-1	-4%
男性	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	19	8	6	-13	-68%	-11	-58%	-2	-25%
	50-64歳	36	40	32	-4	-11%	4	11%	-8	-20%
	65歳以上	37	42	34	-3	-8%	5	14%	-8	-19%
	75歳以上(再掲)	16	25	23	7	44%	9	56%	-2	-8%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	10	4	2	-8	-80%	-6	-60%	-2	-50%
	50-64歳	6	17	7	1	17%	11	183%	-10	-59%
	65歳以上	4	4	12	8	200%	0	0%	8	200%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	21	12	8	-13	-62%	-9	-43%	-4	-33%
	50-64歳	20	30	27	7	35%	10	50%	-3	-10%
	65歳以上	20	29	38	18	90%	9	45%	9	31%
	75歳以上(再掲)	10	17	21	11	110%	7	70%	4	24%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	8	0	0	-8	-100%	-8	-100%	0	
	50-64歳	22	21	10	-12	-55%	-1	-5%	-11	-52%
	65歳以上	21	19	14	-7	-33%	-2	-10%	-5	-26%
	75歳以上(再掲)	6	10	7	1	17%	4	67%	-3	-30%
	85歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

八代医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は18,533人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は26人(9%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は228人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は23%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

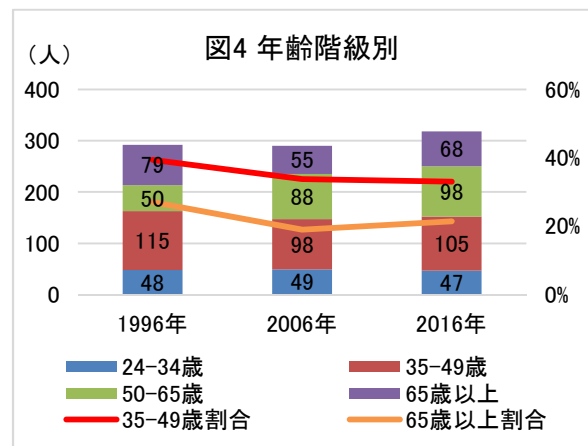
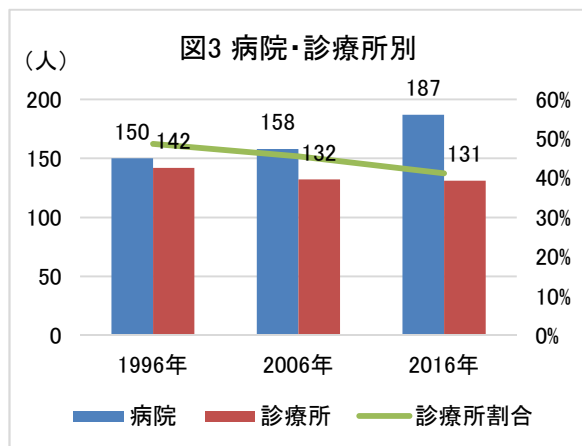
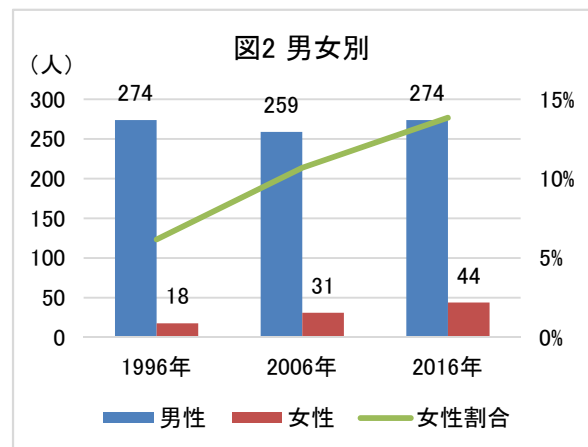
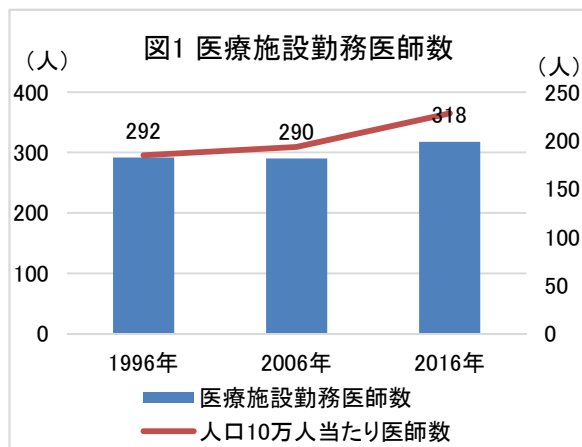
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に26人(144%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて37人(25%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に11人(-8%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は41%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は10人(-9%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて11人(-14%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年27%、2016年21%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

八代医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	157,999	150,118	139,466	-18,533	-12%	-7,881	-5%	-10,652	-7%	
総医師数	301	299	328	27	9%	-2	-1%	29	10%	
人口10万対	190.5	199.2	235.2	44.7	23%	8.7	5%	36.0	18%	
医療施設勤務医師数	292	290	318	26	9%	-2	-1%	28	10%	
人口10万対	184.8	193.2	228.0	43.2	23%	8.4	5%	34.8	18%	
男性医師数	274	259	274	0	0%	-15	-5%	15	6%	
人口10万対	173.4	172.5	196.5	23.0	13%	-0.9	-1%	23.9	14%	
女性医師数	18	31	44	26	144%	13	72%	13	42%	
人口10万対	11.4	20.7	31.5	20.2	177%	9.3	81%	10.9	53%	
病院勤務医師数	150	158	187	37	25%	8	5%	29	18%	
人口10万対	94.9	105.3	134.1	39.1	41%	10.3	11%	28.8	27%	
診療所勤務医師数	142	132	131	-11	-8%	-10	-7%	-1	-1%	
人口10万対	89.9	87.9	93.9	4.1	5%	-1.9	-2%	6.0	7%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.4	51.8	51.9	0.4	1%	0.4	1%	0.0	0%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	48	49	47	-1	-2%	1	2%	-2	-4%
	35-49歳	115	98	105	-10	-9%	-17	-15%	7	7%
	50-64歳	50	88	98	48	96%	38	76%	10	11%
	65歳以上	79	55	68	-11	-14%	-24	-30%	13	24%
	75歳以上(再掲)	21	35	16	-5	-24%	14	67%	-19	-54%
男性	24-34歳	40	32	29	-11	-28%	-8	-20%	-3	-9%
	35-49歳	113	90	88	-25	-22%	-23	-20%	-2	-2%
	50-64歳	47	85	92	45	96%	38	81%	7	8%
	65歳以上	74	52	65	-9	-12%	-22	-30%	13	25%
	75歳以上(再掲)	17	33	15	-2	-12%	16	94%	-18	-55%
女性	24-34歳	8	17	18	10	125%	9	113%	1	6%
	35-49歳	2	8	17	15	750%	6	300%	9	113%
	50-64歳	3	3	6	3	100%	0	0%	3	100%
	65歳以上	5	3	3	-2	-40%	-2	-40%	0	0%
	75歳以上(再掲)	4	2	1	-3	-75%	-2	-50%	-1	-50%
病院	24-34歳	46	46	47	1	2%	0	0%	1	2%
	35-49歳	70	70	79	9	13%	0	0%	9	13%
	50-64歳	19	29	44	25	132%	10	53%	15	52%
	65歳以上	15	13	17	2	13%	-2	-13%	4	31%
	75歳以上(再掲)	6	6	1	-5	-83%	0	0%	-5	-83%
診療所	24-34歳	2	3	0	-2	-100%	1	50%	-3	-100%
	35-49歳	45	28	26	-19	-42%	-17	-38%	-2	-7%
	50-64歳	31	59	54	23	74%	28	90%	-5	-8%
	65歳以上	64	42	51	-13	-20%	-22	-34%	9	21%
	75歳以上(再掲)	15	29	15	0	0%	14	93%	-14	-48%
	85歳以上(再掲)	3	2	6	3	100%	-1	-33%	4	200%

八代医療圏

＜医師数の推移＞

八代医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、泌尿器科であり、少ない診療科は、小児科、脳神経外科、形成外科、産婦人科(総数)、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、形成外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、泌尿器科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	292	184.8	50	290	193.2	48	318	228.0	49	26	9%	43.2	23%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	123	77.8	51	118	78.6	50	136	97.5	53	13	11%	19.7	25%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	15	9.5	47	11	7.3	41	11	7.9	40	-4	-27%	-1.6	-17%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	15	9.5	54	19	12.7	56	20	14.3	54	5	33%	4.8	51%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	36	22.8	52	33	22.0	55	27	19.4	51	-9	-25%	-3.4	-15%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	1	0.7	53	1	0.7	51	1		0.7	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	3	2.0	50	3	2.2	48	3		2.2	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	3.8	47	5	3.3	43	6	4.3	44	0	0%	0.5	13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	25	15.8	56	23	15.3	51	26	18.6	54	1	4%	2.8	18%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	1.3	52	2	1.3	49	1	0.7	41	-1	-50%	-0.5	-43%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	9	5.7	51	8	5.3	47	9	6.5	48	0	0%	0.8	13%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	13	8.2	49	12	8.0	46	13	9.3	48	0	0%	1.1	13%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	8	5.1	44	9	6.0	47	10	7.2	50	2	25%	2.1	42%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	3.2	46	7	4.7	49	10	7.2	56	5	100%	4.0	127%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	14	8.9	48	14	9.3	50	10	7.2	43	-4	-29%	-1.7	-19%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	1.3	57	3	2.0	55	2	1.4	47	0	0%	0.2	13%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	7	4.4	54	7	4.7	53	7	5.0	50	0	0%	0.6	13%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	9	5.7	55	7	4.7	49	11	7.9	52	2	22%	2.2	38%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				6	4.0	42	10	7.2	44	10	67%	3.2	79%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.9	44	2	1.3	42	5	3.6	43	2	67%	1.7	89%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

八代医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は30,339人(-22%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は54人(17%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は341人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は50%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

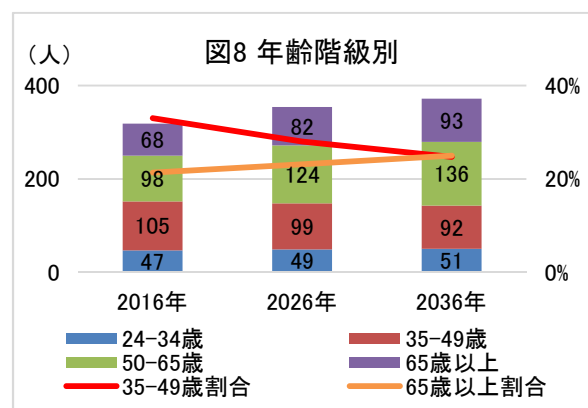
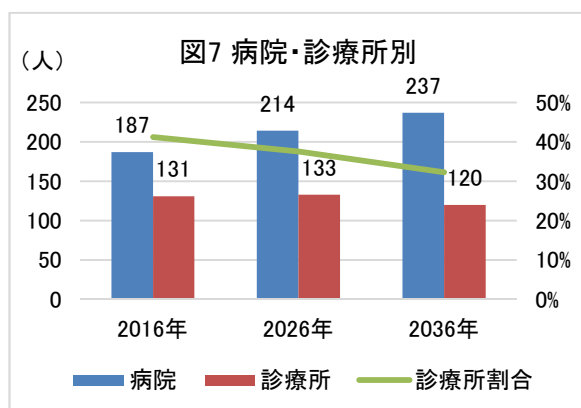
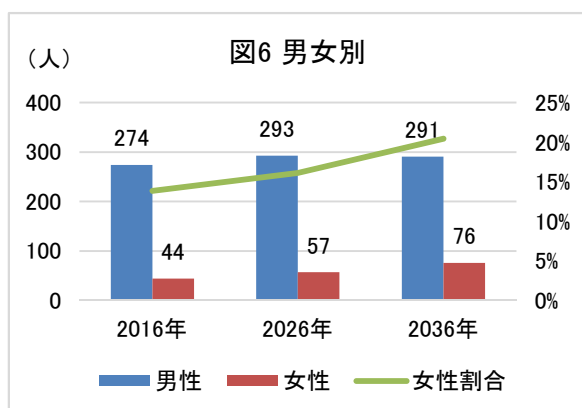
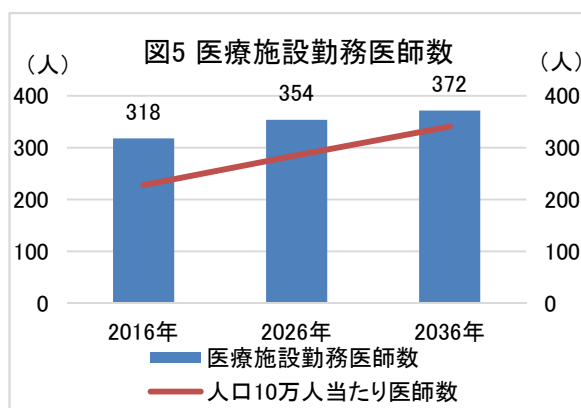
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて17人(6%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に32人(73%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は20%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて50人(27%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に11人(-8%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は32%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は13人(-12%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて25人(37%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



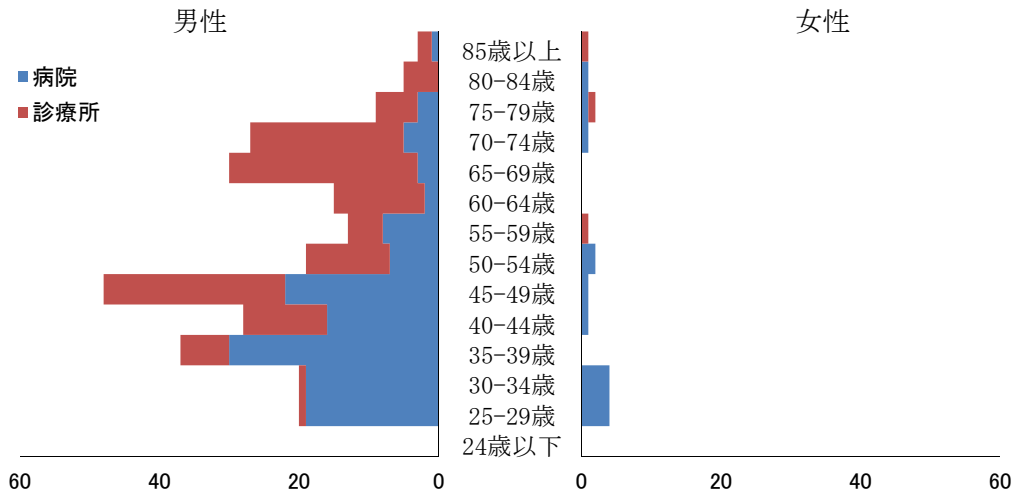
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

八代医療圏

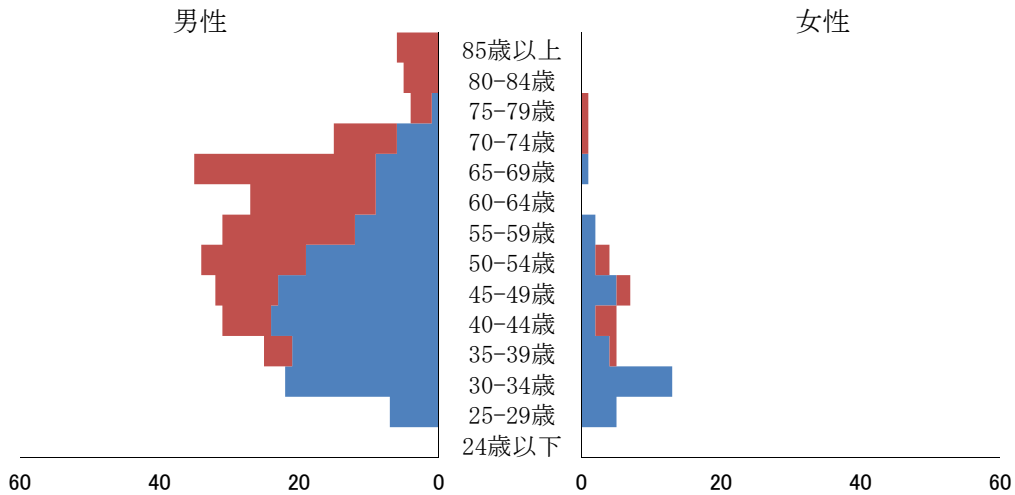
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

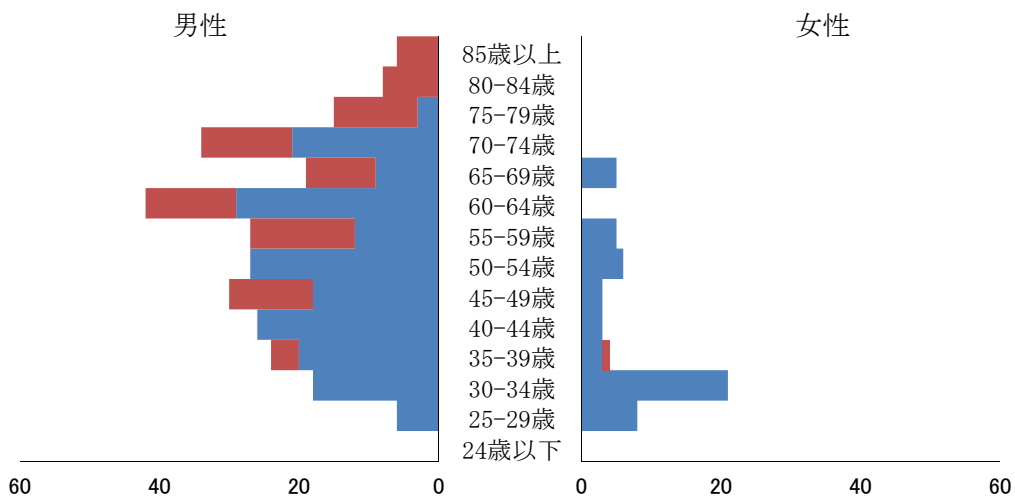
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

八代医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	139,466	124,094	109,127	-30,339	-22%	-15,372	-11%	-14,967	-12%	
医療施設勤務医師数	318	354	372	54	17%	36	11%	18	5%	
人口10万対	228.0	285.3	340.9	112.9	50%	57.3	25%	55.6	19%	
男性医師数	274	293	291	17	6%	19	7%	-2	-1%	
人口10万対	196.5	236.1	266.7	70.2	36%	39.6	20%	30.6	13%	
女性医師数	44	57	76	32	73%	13	30%	19	33%	
人口10万対	31.5	45.9	69.6	38.1	121%	14.4	46%	23.7	52%	
病院勤務医師数	187	214	237	50	27%	27	14%	23	11%	
人口10万対	134.1	172.4	217.2	83.1	62%	38.4	29%	44.7	26%	
診療所勤務医師数	131	133	120	-11	-8%	2	2%	-13	-10%	
人口10万対	93.9	107.2	110.0	16.0	17%	13.2	14%	2.8	3%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	47	49	51	4	9%	2	4%	2	4%
	35-49歳	105	99	92	-13	-12%	-6	-6%	-7	-7%
	50-64歳	98	124	136	38	39%	26	27%	12	10%
	65歳以上	68	82	93	25	37%	14	21%	11	13%
	75歳以上(再掲)	16	33	31	15	94%	17	106%	-2	-6%
男性	24-34歳	29	31	24	-5	-17%	2	7%	-7	-23%
	35-49歳	88	80	79	-9	-10%	-8	-9%	-1	-1%
	50-64歳	92	105	106	14	15%	13	14%	1	1%
	65歳以上	65	77	82	17	26%	12	18%	5	6%
	75歳以上(再掲)	15	29	28	13	87%	14	93%	-1	-3%
女性	24-34歳	18	18	29	11	61%	0	0%	11	61%
	35-49歳	17	19	15	-2	-12%	2	12%	-4	-21%
	50-64歳	6	17	23	17	283%	11	183%	6	35%
	65歳以上	3	3	9	6	200%	0	0%	6	200%
	75歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
病院	24-34歳	47	49	51	4	9%	2	4%	2	4%
	35-49歳	79	74	70	-9	-11%	-5	-6%	-4	-5%
	50-64歳	44	70	81	37	84%	26	59%	11	16%
	65歳以上	17	21	35	18	106%	4	24%	14	67%
	75歳以上(再掲)	1	3	3	2	200%	2	200%	0	0%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	26	23	23	-3	-12%	-3	-12%	0	0%
	50-64歳	54	50	42	-12	-22%	-4	-7%	-8	-16%
	65歳以上	51	60	55	4	8%	9	18%	-5	-8%
	75歳以上(再掲)	15	30	28	13	87%	15	100%	-2	-7%
	85歳以上(再掲)	6	3	6	0	0%	-3	-50%	3	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

芦北医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は14,634人(-23%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は12人(-8%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は285人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

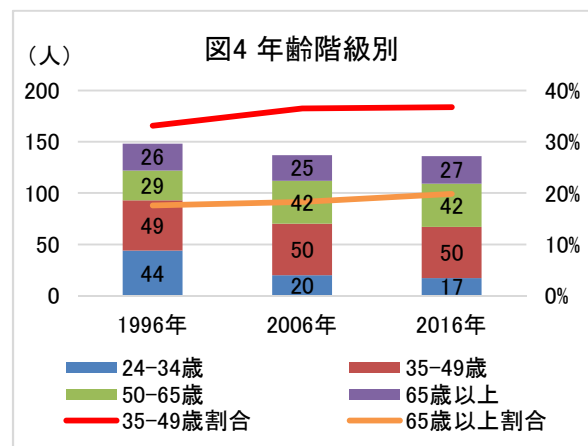
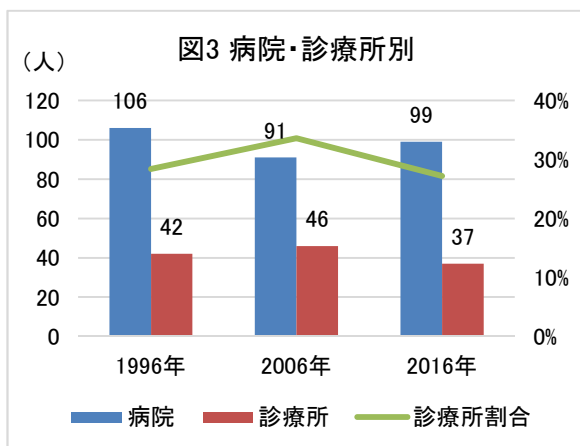
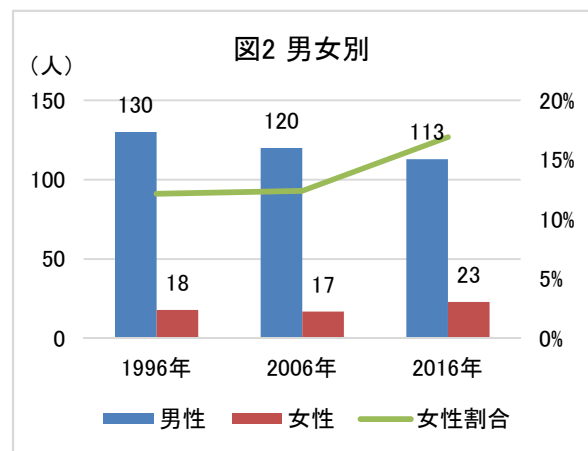
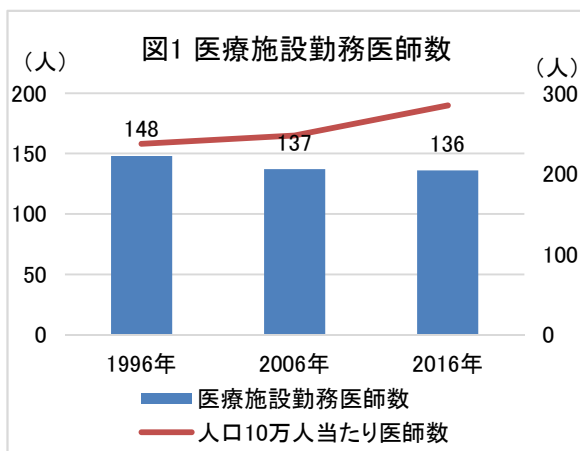
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて17人(-13%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(28%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて7人(-7%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(-12%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は1人(2%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(4%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

芦北医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	62,379	55,384	47,745	-14,634	-23%	-6,995	-11%	-7,639	-14%	
総医師数	155	146	143	-12	-8%	-9	-6%	-3	-2%	
人口10万対	248.5	263.6	299.5	51.0	21%	15.1	6%	35.9	14%	
医療施設勤務医師数	148	137	136	-12	-8%	-11	-7%	-1	-1%	
人口10万対	237.3	247.4	284.8	47.6	20%	10.1	4%	37.5	15%	
男性医師数	130	120	113	-17	-13%	-10	-8%	-7	-6%	
人口10万対	208.4	216.7	236.7	28.3	14%	8.3	4%	20.0	9%	
女性医師数	18	17	23	5	28%	-1	-6%	6	35%	
人口10万対	28.9	30.7	48.2	19.3	67%	1.8	6%	17.5	57%	
病院勤務医師数	106	91	99	-7	-7%	-15	-14%	8	9%	
人口10万対	169.9	164.3	207.4	37.4	22%	-5.6	-3%	43.0	26%	
診療所勤務医師数	42	46	37	-5	-12%	4	10%	-9	-20%	
人口10万対	67.3	83.1	77.5	10.2	15%	15.7	23%	-5.6	-7%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.2	50.9	52.0	4.9	10%	3.8	8%	1.1	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	44	20	17	-27	-61%	-24	-55%	-3	-15%
	35-49歳	49	50	50	1	2%	1	2%	0	0%
	50-64歳	29	42	42	13	45%	13	45%	0	0%
	65歳以上	26	25	27	1	4%	-1	-4%	2	8%
	75歳以上(再掲)	8	12	9	1	13%	4	50%	-3	-25%
男性	24-34歳	36	14	9	-27	-75%	-22	-61%	-5	-36%
	35-49歳	46	42	43	-3	-7%	-4	-9%	1	2%
	50-64歳	26	40	36	10	38%	14	54%	-4	-10%
	65歳以上	22	24	25	3	14%	2	9%	1	4%
	75歳以上(再掲)	8	11	8	0	0%	3	38%	-3	-27%
女性	24-34歳	8	6	8	0	0%	-2	-25%	2	33%
	35-49歳	3	8	7	4	133%	5	167%	-1	-13%
	50-64歳	3	2	6	3	100%	-1	-33%	4	200%
	65歳以上	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
	75歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%
病院	24-34歳	43	20	16	-27	-63%	-23	-53%	-4	-20%
	35-49歳	38	37	42	4	11%	-1	-3%	5	14%
	50-64歳	18	23	26	8	44%	5	28%	3	13%
	65歳以上	7	11	15	8	114%	4	57%	4	36%
	75歳以上(再掲)	1	3	5	4	400%	2	200%	2	67%
診療所	24-34歳	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
	35-49歳	11	13	8	-3	-27%	2	18%	-5	-38%
	50-64歳	11	19	16	5	45%	8	73%	-3	-16%
	65歳以上	19	14	12	-7	-37%	-5	-26%	-2	-14%
	75歳以上(再掲)	7	9	4	-3	-43%	2	29%	-5	-56%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

芦北医療圏

<医師数の推移>

芦北医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、整形外科、皮膚科、泌尿器科であり、少ない診療科は、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	148	237.3	57	137	247.4	55	136	284.8	55	-12	-8%	47.6	20%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	59	94.6	56	56	101.1	58	57	119.4	60	-2	-3%	24.8	26%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	13	20.8	72	16	28.9	89	19	39.8	99	6	46%	19.0	91%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	8.0	50	9	16.3	64	9	18.9	62	4	80%	10.8	135%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	25	40.1	71	15	27.1	63	12	25.1	58	-13	-52%	-14.9	-37%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	3.2	45	2	3.6	45	2	4.2	44	0	0%	1.0	31%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	11	17.6	59	10	18.1	57	11	23.0	62	0	0%	5.4	31%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	1	2.1	50	1	1	2.1	96%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	8.0	57	3	5.4	48	5	10.5	59	0	0%	2.5	31%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	8.0	48	5	9.0	48	4	8.4	45	-1	-20%	0.4	5%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	4.8	44	3	5.4	45	2	4.2	40	-1	-33%	-0.6	-13%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	9.6	74	6	10.8	77	5	10.5	69	-1	-17%	0.9	9%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	9.6	49	5	9.0	50	3	6.3	41	-3	-50%	-3.3	-35%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	4.8	105	1	1.8	53	1	2.1	51	-2	-67%	-2.7	-56%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	3.2	50	2	3.6	49	3	6.3	53	1	50%	3.1	96%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	3.2	48	1	1.8	41	1	2.1	39	-1	-50%	-1.1	-35%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	3.6	41	0	0.0	36	0	-100%	-3.6	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.6	44	1	1.8	43	1	2.1	41	0	0%	0.5	31%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

芦北医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は14,094人(-30%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は17人(-13%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は354人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

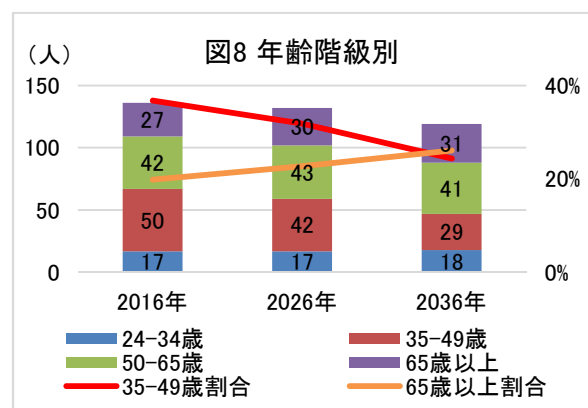
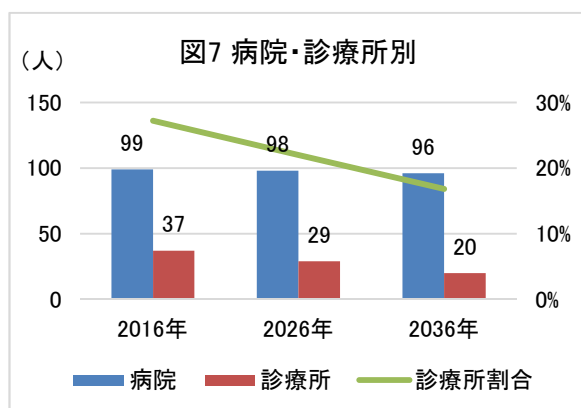
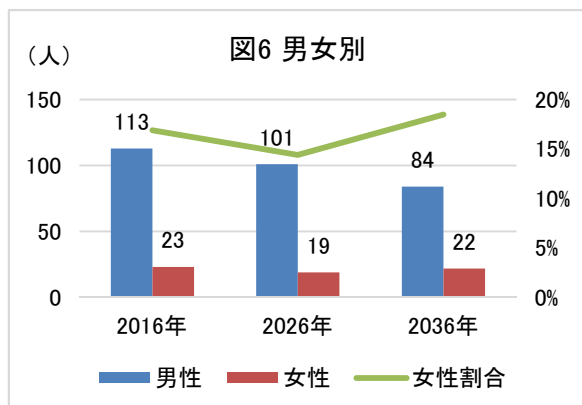
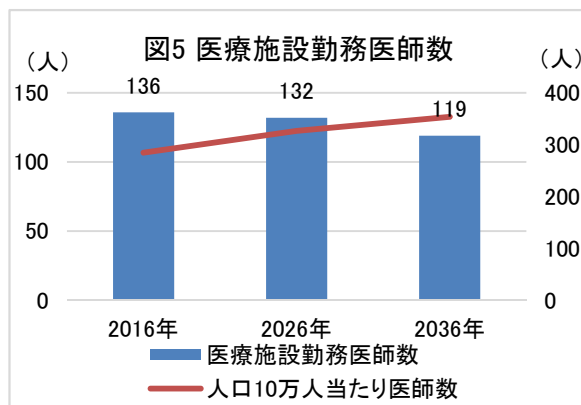
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて29人(-26%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-4%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は18%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(-3%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に17人(-46%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は17%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は21人(-42%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて4人(15%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



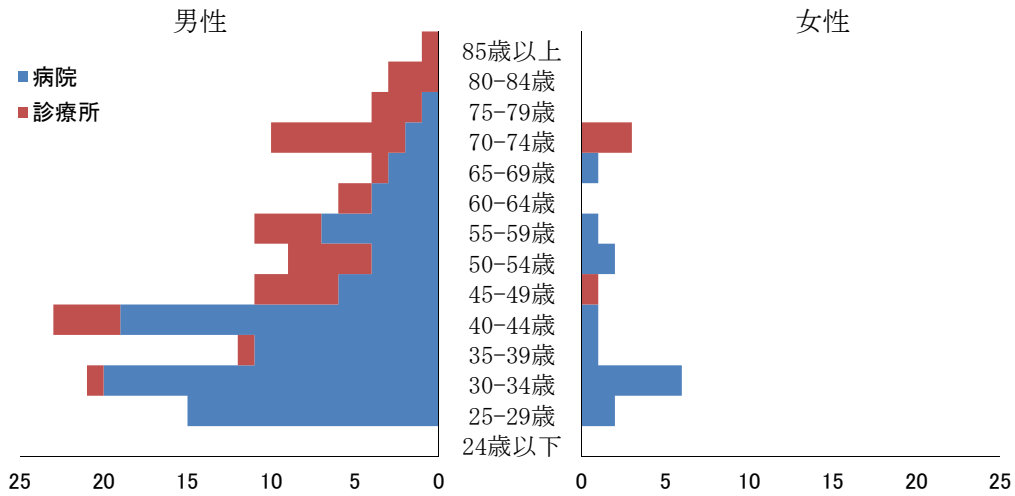
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

芦北医療圏

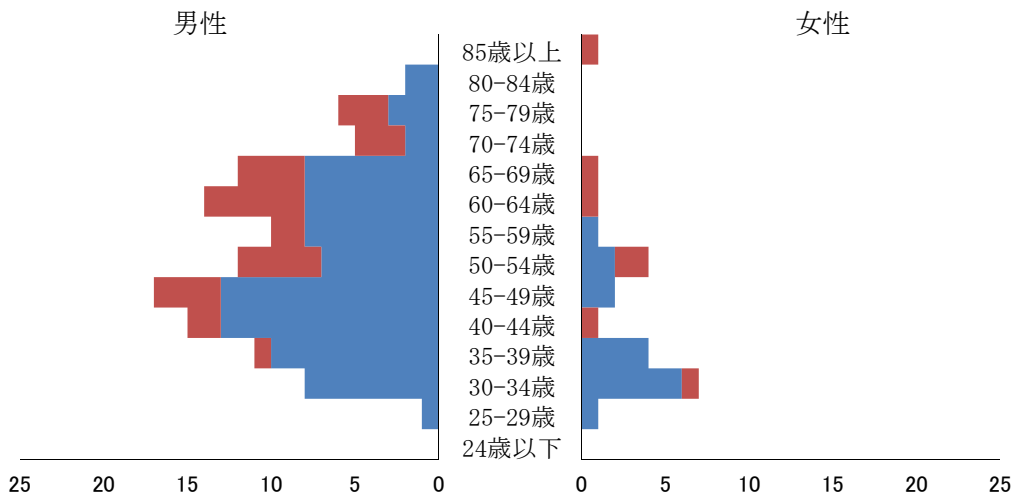
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

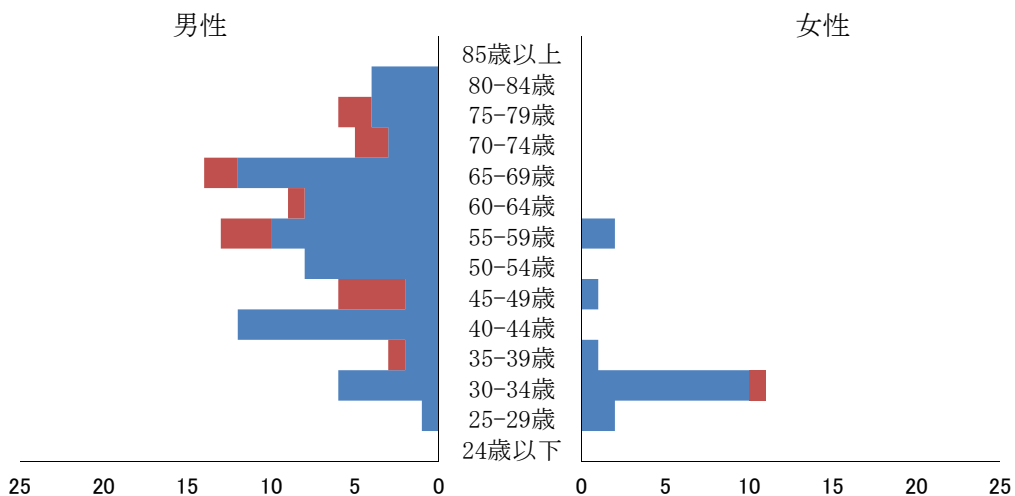
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

芦北医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	47,745	40,378	33,651	-14,094	-30%	-7,367	-15%	-6,727	-17%	
医療施設勤務医師数	136	132	119	-17	-13%	-4	-3%	-13	-10%	
人口10万対	284.8	326.9	353.6	68.8	24%	42.1	15%	26.7	8%	
男性医師数	113	101	84	-29	-26%	-12	-11%	-17	-17%	
人口10万対	236.7	250.1	249.6	12.9	5%	13.5	6%	-0.5	0%	
女性医師数	23	19	22	-1	-4%	-4	-17%	3	16%	
人口10万対	48.2	47.1	65.4	17.2	36%	-1.1	-2%	18.3	39%	
病院勤務医師数	99	98	96	-3	-3%	-1	-1%	-2	-2%	
人口10万対	207.4	242.7	285.3	77.9	38%	35.4	17%	42.6	18%	
診療所勤務医師数	37	29	20	-17	-46%	-8	-22%	-9	-31%	
人口10万対	77.5	71.8	59.4	-18.1	-23%	-5.7	-7%	-12.4	-17%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	17	17	18	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	50	42	29	-21	-42%	-8	-16%	-13	-31%
	50-64歳	42	43	41	-1	-2%	1	2%	-2	-5%
	65歳以上	27	30	31	4	15%	3	11%	1	3%
	75歳以上(再掲)	9	13	10	1	11%	4	44%	-3	-23%
男性	24-34歳	9	9	7	-2	-22%	0	0%	-2	-22%
	35-49歳	43	28	19	-24	-56%	-15	-35%	-9	-32%
	50-64歳	36	37	30	-6	-17%	1	3%	-7	-19%
	65歳以上	25	27	28	3	12%	2	8%	1	4%
	75歳以上(再掲)	8	11	10	2	25%	3	38%	-1	-9%
女性	24-34歳	8	8	13	5	63%	0	0%	5	63%
	35-49歳	7	7	4	-3	-43%	0	0%	-3	-43%
	50-64歳	6	2	4	-2	-33%	-4	-67%	2	100%
	65歳以上	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	16	16	17	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	42	33	24	-18	-43%	-9	-21%	-9	-27%
	50-64歳	26	32	33	7	27%	6	23%	1	3%
	65歳以上	15	17	22	7	47%	2	13%	5	29%
	75歳以上(再掲)	5	6	7	2	40%	1	20%	1	17%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	8	5	5	-3	-38%	-3	-38%	0	0%
	50-64歳	16	12	5	-11	-69%	-4	-25%	-7	-58%
	65歳以上	12	11	9	-3	-25%	-1	-8%	-2	-18%
	75歳以上(再掲)	4	5	3	-1	-25%	1	25%	-2	-40%
	85歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

球磨医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は19,377人(-18%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は3人(-2%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は198人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

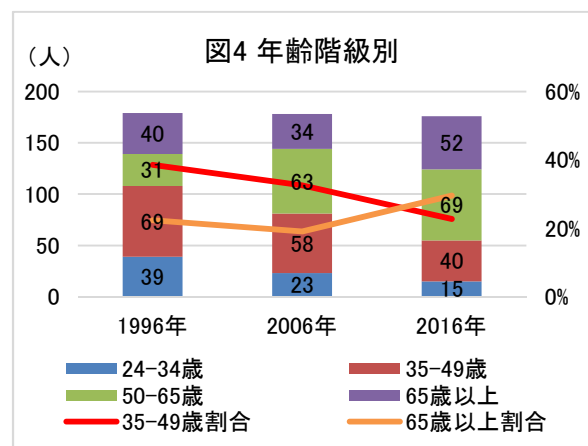
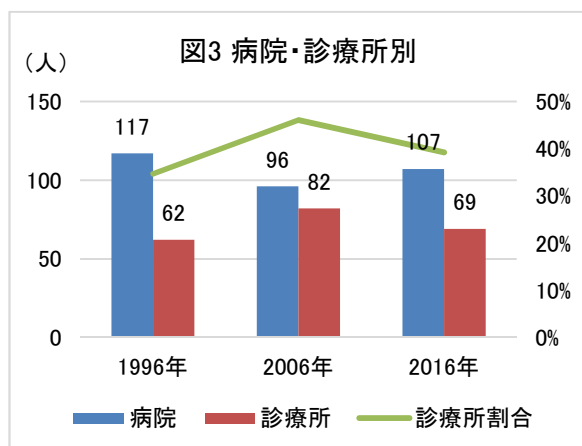
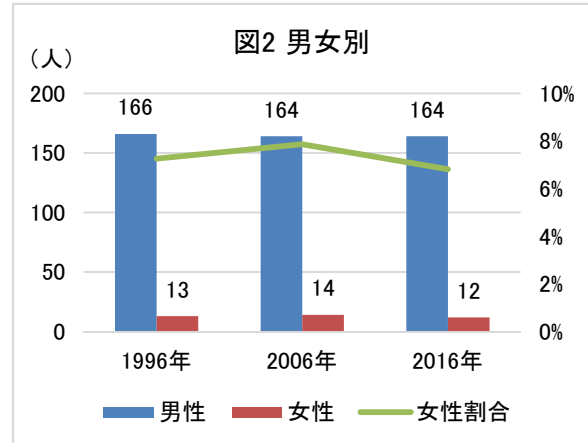
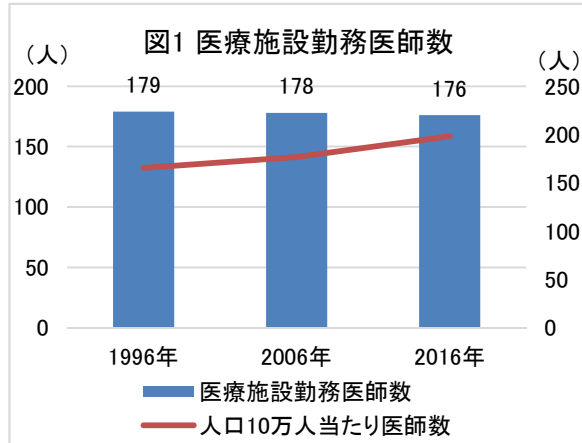
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて2人(-1%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-8%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて10人(-9%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に7人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は39%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は29人(-42%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて12人(30%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

球磨医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	108,197	100,694	88,820	-19,377	-18%	-7,503	-7%	-11,874	-12%	
総医師数	183	186	182	-1	-1%	3	2%	-4	-2%	
人口10万対	169.1	184.7	204.9	35.8	21%	15.6	9%	20.2	11%	
医療施設勤務医師数	179	178	176	-3	-2%	-1	-1%	-2	-1%	
人口10万対	165.4	176.8	198.2	32.7	20%	11.3	7%	21.4	12%	
男性医師数	166	164	164	-2	-1%	-2	-1%	0	0%	
人口10万対	153.4	162.9	184.6	31.2	20%	9.4	6%	21.8	13%	
女性医師数	13	14	12	-1	-8%	1	8%	-2	-14%	
人口10万対	12.0	13.9	13.5	1.5	12%	1.9	16%	-0.4	-3%	
病院勤務医師数	117	96	107	-10	-9%	-21	-18%	11	11%	
人口10万対	108.1	95.3	120.5	12.3	11%	-12.8	-12%	25.1	26%	
診療所勤務医師数	62	82	69	7	11%	20	32%	-13	-16%	
人口10万対	57.3	81.4	77.7	20.4	36%	24.1	42%	-3.7	-5%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.2	51.7	56.3	7.1	15%	2.5	5%	4.6	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	39	23	15	-24	-62%	-16	-41%	-8	-35%
	35-49歳	69	58	40	-29	-42%	-11	-16%	-18	-31%
	50-64歳	31	63	69	38	123%	32	103%	6	10%
	65歳以上	40	34	52	12	30%	-6	-15%	18	53%
	75歳以上(再掲)	9	13	16	7	78%	4	44%	3	23%
男性	24-34歳	33	17	12	-21	-64%	-16	-48%	-5	-29%
	35-49歳	66	52	37	-29	-44%	-14	-21%	-15	-29%
	50-64歳	31	61	63	32	103%	30	97%	2	3%
	65歳以上	36	34	52	16	44%	-2	-6%	18	53%
	75歳以上(再掲)	7	13	16	9	129%	6	86%	3	23%
女性	24-34歳	6	6	3	-3	-50%	0	0%	-3	-50%
	35-49歳	3	6	3	0	0%	3	100%	-3	-50%
	50-64歳	0	2	6	6		2		4	200%
	65歳以上	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	36	21	14	-22	-61%	-15	-42%	-7	-33%
	35-49歳	53	38	34	-19	-36%	-15	-28%	-4	-11%
	50-64歳	15	25	36	21	140%	10	67%	11	44%
	65歳以上	13	12	23	10	77%	-1	-8%	11	92%
	75歳以上(再掲)	4	4	5	1	25%	0	0%	1	25%
診療所	24-34歳	3	2	1	-2	-67%	-1	-33%	-1	-50%
	35-49歳	16	20	6	-10	-63%	4	25%	-14	-70%
	50-64歳	16	38	33	17	106%	22	138%	-5	-13%
	65歳以上	27	22	29	2	7%	-5	-19%	7	32%
	75歳以上(再掲)	5	9	11	6	120%	4	80%	2	22%
	85歳以上(再掲)	1	1	3	2	200%	0	0%	2	200%

球磨医療圏

<医師数の推移>

球磨医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科であり、少ない診療科は、小児科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	179	165.4	48	178	176.8	46	176	198.2	45	-3	-2%	32.7	20%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	74	68.4	48	77	76.5	49	78	87.8	49	4	5%	19.4	28%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	9.2	46	10	9.9	46	9	10.1	44	-1	-10%	0.9	10%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	4.6	41	7	7.0	44	9	10.1	46	4	80%	5.5	119%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	35	32.3	63	25	24.8	60	17	19.1	50	-18	-51%	-13.2	-41%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	1	1.0	58	1	1.1	57	1		1.1	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	1	1.0	44	0	0.0	36	0		0.0	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	7	6.5	58	5	5.0	50	5	5.6	49	-2	-29%	-0.8	-13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	12	11.1	46	17	16.9	54	14	15.8	48	2	17%	4.7	42%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0		0.0	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	6	5.5	50	4	4.0	43	4	4.5	43	-2	-33%	-1.0	-19%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	6	5.5	43	6	6.0	41	6	6.8	41	0	0%	1.2	22%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	4.6	43	8	7.9	53	6	6.8	48	1	20%	2.1	46%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	2.8	44	3	3.0	42	2	2.3	37	-1	-33%	-0.5	-19%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	7	6.5	42	5	5.0	39	9	10.1	50	2	29%	3.7	57%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.0	46	1	1.1	45	1		1.1	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	5	4.6	54	0	0.0	37	2	2.3	42	-3	-60%	-2.4	-51%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	2.8	46	1	1.0	38	3	3.4	41	0	0%	0.6	22%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				5	5.0	43	7	7.9	44	7	40%	2.9	59%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.9	42	2	2.0	44	3	3.4	43	2	200%	2.5	265%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

球磨医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は22,027人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は32人(-18%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は216人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は9%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

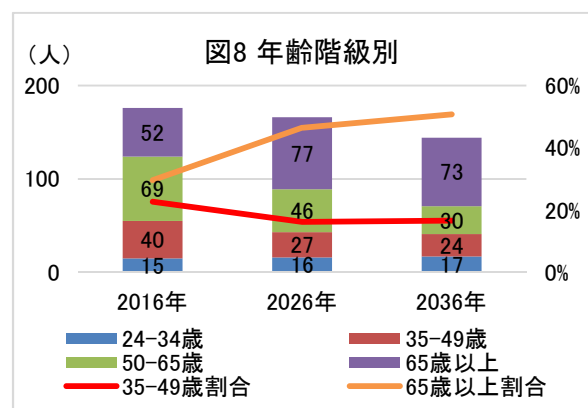
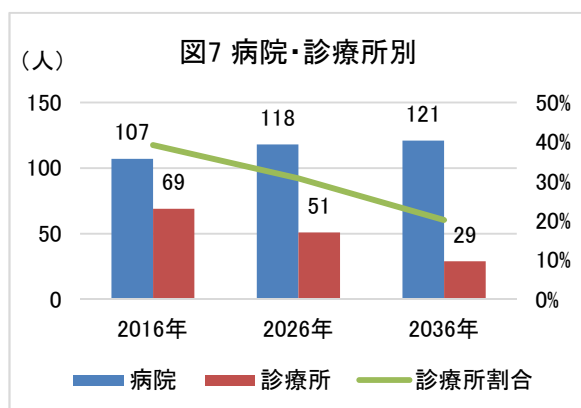
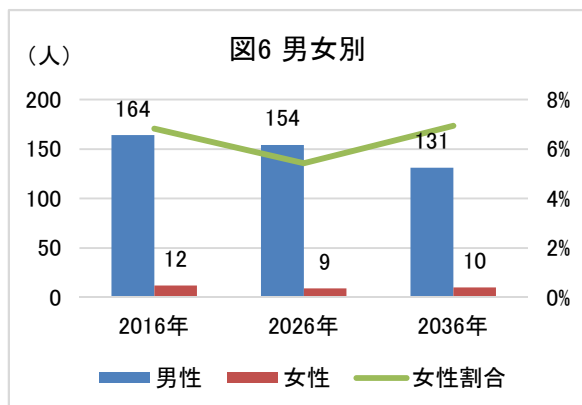
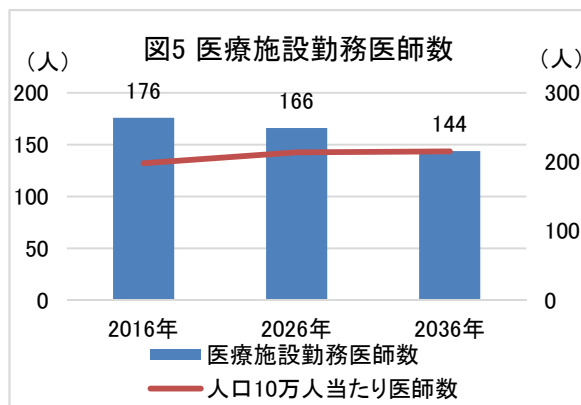
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて33人(-20%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-17%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は7%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて14人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に40人(-58%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は16人(-40%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて21人(40%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年30%、2036年51%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



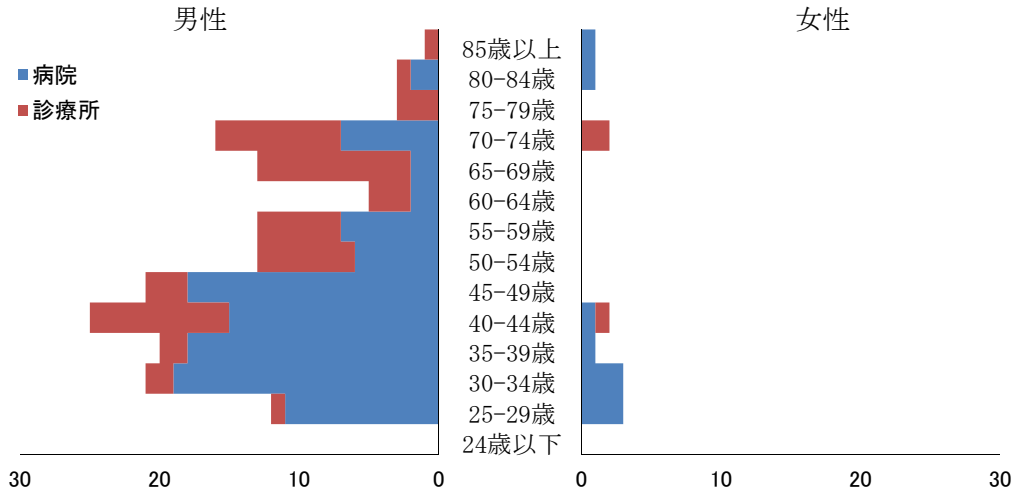
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

球磨医療圏

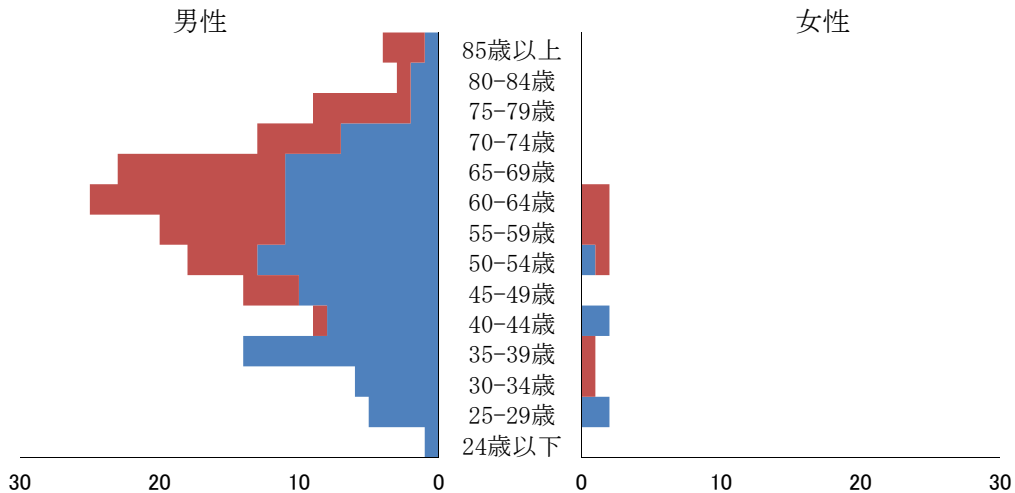
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

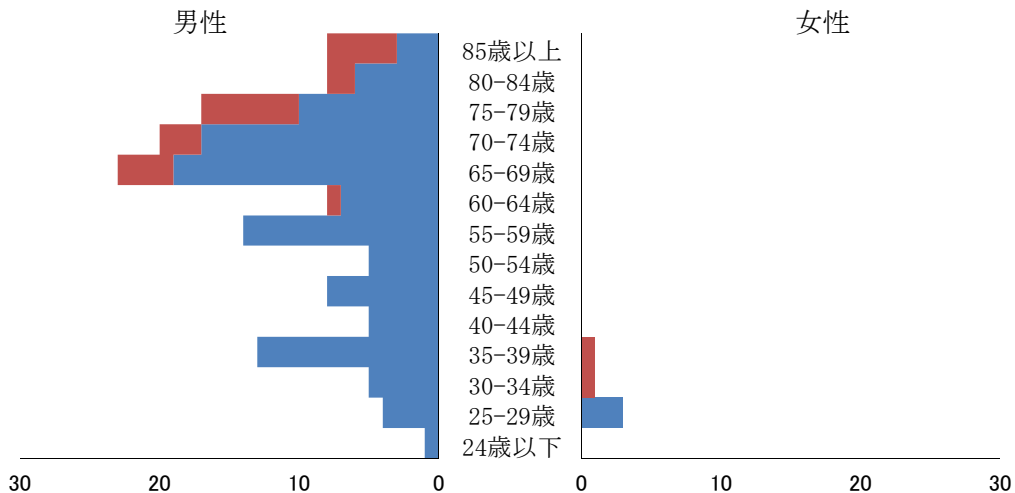
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

球磨医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	88,820	77,632	66,793	-22,027	-25%	-11,188	-13%	-10,839	-14%	
医療施設勤務医師数	176	166	144	-32	-18%	-10	-6%	-22	-13%	
人口10万対	198.2	213.8	215.6	17.4	9%	15.7	8%	1.8	1%	
男性医師数	164	154	131	-33	-20%	-10	-6%	-23	-15%	
人口10万対	184.6	198.4	196.1	11.5	6%	13.7	7%	-2.2	-1%	
女性医師数	12	9	10	-2	-17%	-3	-25%	1	11%	
人口10万対	13.5	11.6	15.0	1.5	11%	-1.9	-14%	3.4	29%	
病院勤務医師数	107	118	121	14	13%	11	10%	3	3%	
人口10万対	120.5	152.0	181.2	60.7	50%	31.5	26%	29.2	19%	
診療所勤務医師数	69	51	29	-40	-58%	-18	-26%	-22	-43%	
人口10万対	77.7	65.7	43.4	-34.3	-44%	-12.0	-15%	-22.3	-34%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	15	16	17	2	13%	1	7%	1	6%
	35-49歳	40	27	24	-16	-40%	-13	-33%	-3	-11%
	50-64歳	69	46	30	-39	-57%	-23	-33%	-16	-35%
	65歳以上	52	77	73	21	40%	25	48%	-4	-5%
	75歳以上(再掲)	16	28	37	21	131%	12	75%	9	32%
男性	24-34歳	12	12	10	-2	-17%	0	0%	-2	-17%
	35-49歳	37	27	25	-12	-32%	-10	-27%	-2	-7%
	50-64歳	63	42	28	-35	-56%	-21	-33%	-14	-33%
	65歳以上	52	73	68	16	31%	21	40%	-5	-7%
	75歳以上(再掲)	16	28	34	18	113%	12	75%	6	21%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
	50-64歳	6	4	3	-3	-50%	-2	-33%	-1	-25%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	14	15	15	1	7%	1	7%	0	0%
	35-49歳	34	25	24	-10	-29%	-9	-26%	-1	-4%
	50-64歳	36	37	26	-10	-28%	1	3%	-11	-30%
	65歳以上	23	41	56	33	143%	18	78%	15	37%
	75歳以上(再掲)	5	11	19	14	280%	6	120%	8	73%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	6	2	2	-4	-67%	-4	-67%	0	0%
	50-64歳	33	11	2	-31	-94%	-22	-67%	-9	-82%
	65歳以上	29	37	24	-5	-17%	8	28%	-13	-35%
	75歳以上(再掲)	11	16	16	5	45%	5	45%	0	0%
	85歳以上(再掲)	3	4	5	2	67%	1	33%	1	25%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

天草医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は36,619人(-24%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は39人(-14%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は197人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

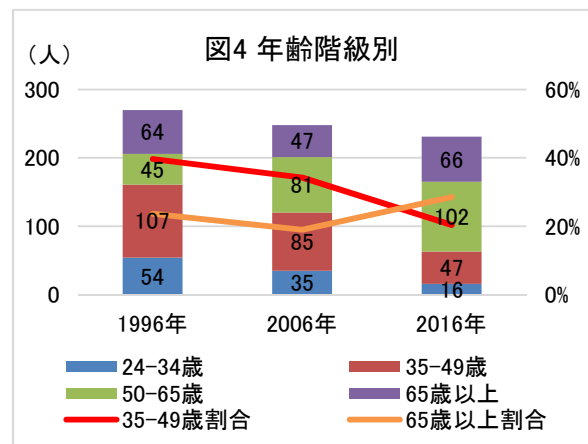
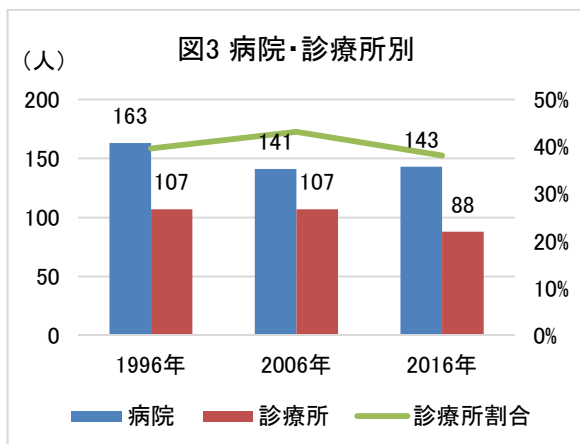
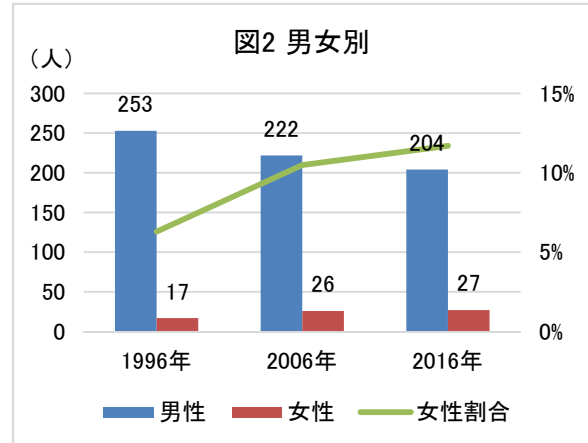
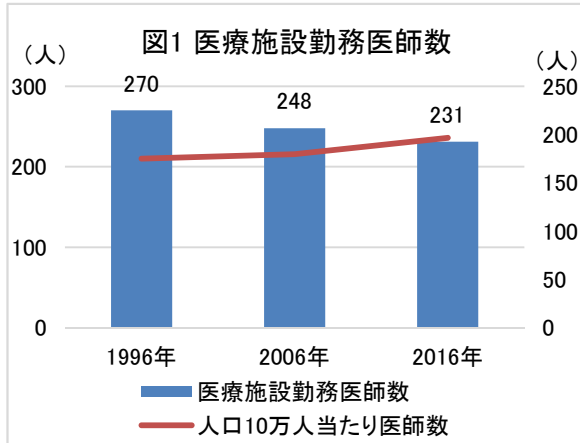
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて49人(-19%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に10人(59%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて20人(-12%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に19人(-18%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は60人(-56%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(3%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年24%、2016年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

天草医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	154,103	137,902	117,484	-36,619	-24%	-16,201	-11%	-20,418	-15%	
総医師数	275	254	237	-38	-14%	-21	-8%	-17	-7%	
人口10万対	178.5	184.2	201.7	23.3	13%	5.7	3%	17.5	10%	
医療施設勤務医師数	270	248	231	-39	-14%	-22	-8%	-17	-7%	
人口10万対	175.2	179.8	196.6	21.4	12%	4.6	3%	16.8	9%	
男性医師数	253	222	204	-49	-19%	-31	-12%	-18	-8%	
人口10万対	164.2	161.0	173.6	9.5	6%	-3.2	-2%	12.7	8%	
女性医師数	17	26	27	10	59%	9	53%	1	4%	
人口10万対	11.0	18.9	23.0	12.0	108%	7.8	71%	4.1	22%	
病院勤務医師数	163	141	143	-20	-12%	-22	-13%	2	1%	
人口10万対	105.8	102.2	121.7	15.9	15%	-3.5	-3%	19.5	19%	
診療所勤務医師数	107	107	88	-19	-18%	0	0%	-19	-18%	
人口10万対	69.4	77.6	74.9	5.5	8%	8.2	12%	-2.7	-3%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.3	51.8	57.1	6.8	14%	1.5	3%	5.4	10%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	54	35	16	-38	-70%	-19	-35%	-19	-54%
	35-49歳	107	85	47	-60	-56%	-22	-21%	-38	-45%
	50-64歳	45	81	102	57	127%	36	80%	21	26%
	65歳以上	64	47	66	2	3%	-17	-27%	19	40%
	75歳以上(再掲)	19	19	21	2	11%	0	0%	2	11%
男性	24-34歳	50	27	13	-37	-74%	-23	-46%	-14	-52%
	35-49歳	98	73	41	-57	-58%	-25	-26%	-32	-44%
	50-64歳	43	76	89	46	107%	33	77%	13	17%
	65歳以上	62	46	61	-1	-2%	-16	-26%	15	33%
	75歳以上(再掲)	19	18	19	0	0%	-1	-5%	1	6%
女性	24-34歳	4	8	3	-1	-25%	4	100%	-5	-63%
	35-49歳	9	12	6	-3	-33%	3	33%	-6	-50%
	50-64歳	2	5	13	11	550%	3	150%	8	160%
	65歳以上	2	1	5	3	150%	-1	-50%	4	400%
	75歳以上(再掲)	0	1	2	2		1		1	100%
病院	24-34歳	52	29	15	-37	-71%	-23	-44%	-14	-48%
	35-49歳	75	57	37	-38	-51%	-18	-24%	-20	-35%
	50-64歳	16	40	59	43	269%	24	150%	19	48%
	65歳以上	20	15	32	12	60%	-5	-25%	17	113%
	75歳以上(再掲)	6	5	9	3	50%	-1	-17%	4	80%
診療所	24-34歳	2	6	1	-1	-50%	4	200%	-5	-83%
	35-49歳	32	28	10	-22	-69%	-4	-13%	-18	-64%
	50-64歳	29	41	43	14	48%	12	41%	2	5%
	65歳以上	44	32	34	-10	-23%	-12	-27%	2	6%
	75歳以上(再掲)	13	14	12	-1	-8%	1	8%	-2	-14%
	85歳以上(再掲)	4	3	1	-3	-75%	-1	-25%	-2	-67%

天草医療圏

<医師数の推移>

天草医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児科、泌尿器科であり、少ない診療科は、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、皮膚科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	270	175.2	49	248	179.8	47	231	196.6	45	-39	-14%	21.4	12%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	136	88.3	54	118	85.6	52	102	86.8	49	-34	-25%	-1.4	-2%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	12	7.8	43	17	12.3	52	19	16.2	55	7	58%	8.4	108%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	17	11.0	57	14	10.2	51	17	14.5	54	0	0%	3.4	31%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	32	20.8	50	26	18.9	51	24	20.4	52	-8	-25%	-0.3	-2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	3.2	45	5	3.6	45	5	4.3	44	0	0%	1.0	31%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	17	11.0	46	16	11.6	43	15	12.8	42	-2	-12%	1.7	16%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.6	42	4	2.9	40	7	6.0	47	3	75%	3.4	130%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	10	6.5	45	10	7.3	44	8	6.8	41	-2	-20%	0.3	5%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	3.2	39	5	3.6	39	2	1.7	32	-3	-60%	-1.5	-48%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	7	4.5	52	6	4.4	48	9	7.7	58	2	29%	3.1	69%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	8	5.2	39	9	6.5	43	8	6.8	42	0	0%	1.6	31%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	1.3	58	2	1.5	50	1	0.9	43	-1	-50%	-0.4	-34%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	3.9	52	5	3.6	49	5	4.3	47	-1	-17%	0.4	9%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	3.2	48	4	2.9	44	3	2.6	40	-2	-40%	-0.7	-21%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				4	2.9	40	0	0.0	36	0	-100%	-2.9	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	4	2.6	46	3	2.2	44	6	5.1	46	2	50%	2.5	97%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

天草医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は35,401人(-30%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は56人(-24%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は213人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は8%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

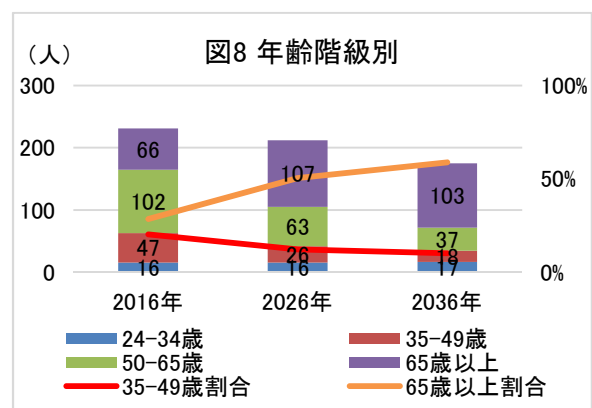
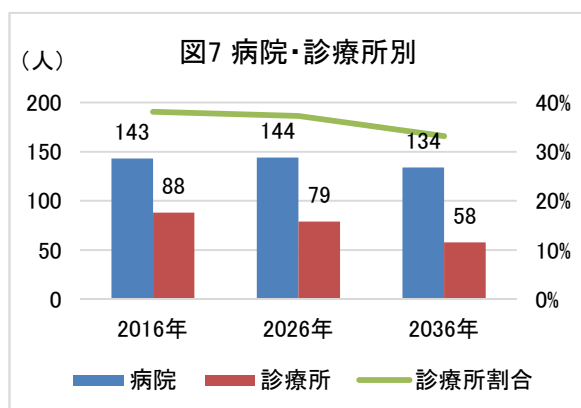
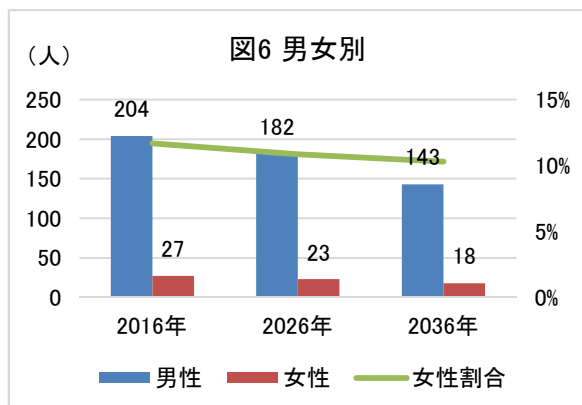
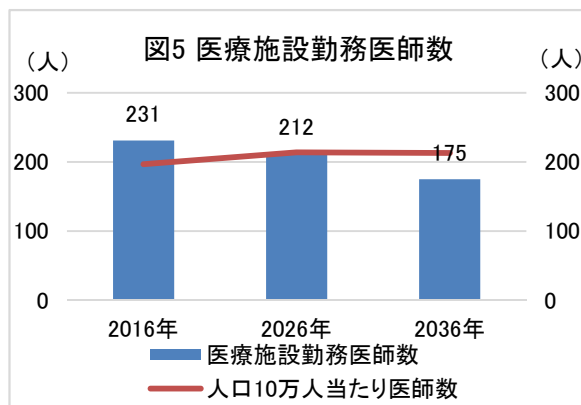
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて61人(-30%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(-33%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は10%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて9人(-6%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に30人(-34%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は33%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は29人(-62%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて37人(56%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年29%、2036年59%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



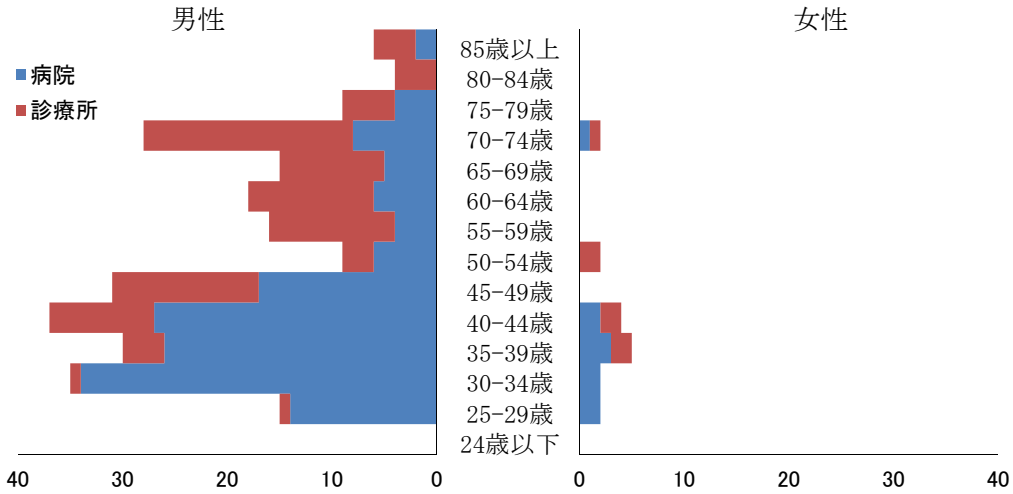
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

天草医療圏

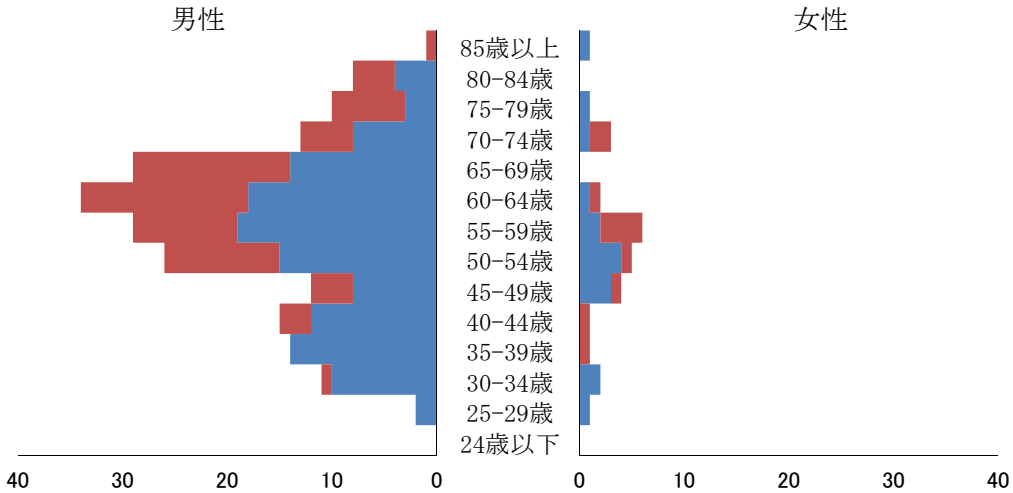
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

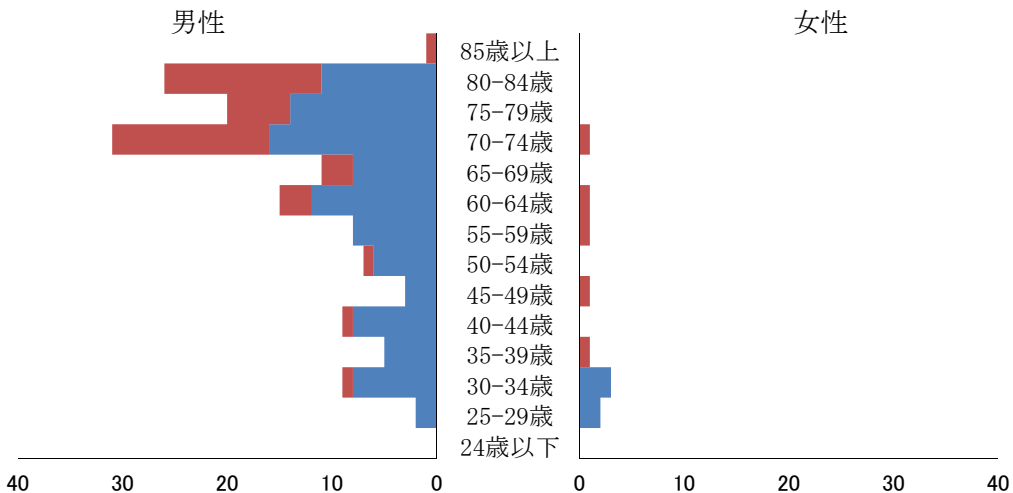
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

天草医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	117,484	98,972	82,083	-35,401	-30%	-18,512	-16%	-16,889	-17%	
医療施設勤務医師数	231	212	175	-56	-24%	-19	-8%	-37	-17%	
人口10万対	196.6	214.2	213.2	16.6	8%	17.6	9%	-1.0	0%	
男性医師数	204	182	143	-61	-30%	-22	-11%	-39	-21%	
人口10万対	173.6	183.9	174.2	0.6	0%	10.2	6%	-9.7	-5%	
女性医師数	27	23	18	-9	-33%	-4	-15%	-5	-22%	
人口10万対	23.0	23.2	21.9	-1.1	-5%	0.3	1%	-1.3	-6%	
病院勤務医師数	143	144	134	-9	-6%	1	1%	-10	-7%	
人口10万対	121.7	145.5	163.2	41.5	34%	23.8	20%	17.8	12%	
診療所勤務医師数	88	79	58	-30	-34%	-9	-10%	-21	-27%	
人口10万対	74.9	79.8	70.7	-4.2	-6%	4.9	7%	-9.2	-11%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	16	16	17	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	47	26	18	-29	-62%	-21	-45%	-8	-31%
	50-64歳	102	63	37	-65	-64%	-39	-38%	-26	-41%
	65歳以上	66	107	103	37	56%	41	62%	-4	-4%
	75歳以上(再掲)	21	33	53	32	152%	12	57%	20	61%
男性	24-34歳	13	13	11	-2	-15%	0	0%	-2	-15%
	35-49歳	41	25	16	-25	-61%	-16	-39%	-9	-36%
	50-64歳	89	51	33	-56	-63%	-38	-43%	-18	-35%
	65歳以上	61	93	83	22	36%	32	52%	-10	-11%
	75歳以上(再掲)	19	28	44	25	132%	9	47%	16	57%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	6	2	1	-5	-83%	-4	-67%	-1	-50%
	50-64歳	13	13	4	-9	-69%	0	0%	-9	-69%
	65歳以上	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	75歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
病院	24-34歳	15	15	16	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	37	22	18	-19	-51%	-15	-41%	-4	-18%
	50-64歳	59	46	29	-30	-51%	-13	-22%	-17	-37%
	65歳以上	32	61	71	39	122%	29	91%	10	16%
	75歳以上(再掲)	9	22	37	28	311%	13	144%	15	68%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	10	7	7	-3	-30%	-3	-30%	0	0%
	50-64歳	43	19	9	-34	-79%	-24	-56%	-10	-53%
	65歳以上	34	52	41	7	21%	18	53%	-11	-21%
	75歳以上(再掲)	12	15	23	11	92%	3	25%	8	53%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)